

4K ネットワークビデオレコーダ

IRV-HD9004 / IRV-HD9008 / IRV-HD9016 / IRV-HD9032 共通

設置・取扱説明書

Version:1.00



- この度は、4K ネットワークビデオレコーダをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前に、この設置・取扱説明書を最後まで読みいただき、製品の機能や操作法について、十分ご理解いただいた上で、正しく使用していただきますよう、お願い致します。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう、分かりやすい場所に保管してください。
- サードパーティー製のカメラ・モニター・警報装置およびコンピュータ等を接続する場合、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

目次

凡例	10
本書で使われる各種表記	10
用語の定義	10
梱包品の確認	11
I 各部の名称とはたらき	12
1 前面パネル	12
2 背面パネル	13
IRV-HD9004	13
IRV-HD9008 / IRV-HD9016	13
IRV-HD9032	13
II 利用開始にあたって	16
1 モニターの解像度について	16
2 管理者パスワードについて	16
3 ケーブル接続と本体のスイッチ	16
4 バーチャルキーパッド	17
III 起動とシャットダウン	18
1 起動	18
2 シャットダウン	19
IV 画面表示と基本操作	21
1 ライブモード	21
1 分割表示と1画面表示	21
2 アイコン	22
3 コントロールバー	22
4 ログインとログアウト	23
1. ログイン	23
2. ログアウト	25
2 再生モード	26
1 再生モードに入る方法	26
1. 前面パネルの PLAY ボタン	26
2. コントロールバーの 再生 ボタン	26
3. メニューの「検索」から	26
カレンダー検索	27

日時指定再生	30
最後から	31
最初から	32
前回の続きから	32
POS 検索	33
2 分割表示と 1 画面表示	33
3 アイコン	34
4 コントロールバー	34
5 再生モード中のメニュー	35
1. スマート検索	35
2. パノラマ再生	38
3. カレンダー検索	39
4. マルチ時間	40
5. マルチ日	41
6. イベント再生	41
7. 音声制御	42
8. バックアップ	43
9. スナップショット	43
10. ズーム	44
3 バックアップ	45
1 バックアップ	45
2 スナップショット	51
3 ログ保存	52
4 設定データ保存	57
V 設定と高度な機能	58
1 設定	58
1 時間	58
1. 時刻同期	59
2. 日時	60
3. タイムゾーン	61
4. 自動再起動	62
2 カメラ	63
1. カメラ	63
2. PTZ	64
3. POS	65
4. イベント	65
5. リレー	66
3 IP カメラ	67

1.	登録	67
	IPカメラをカメラチャンネルに登録する	68
	IPカメラの登録情報を変更する	70
	IPカメラの登録情報を削除する	71
	IPカメラの映像設定を変更する	71
	IPカメラの情報の表示する	72
	IPカメラを再起動する	72
	IPカメラの設定情報を初期化する	72
	IPカメラに割り当てるカメラチャンネルを変更する	72
2.	ストリーム	73
3.	共通	74
4	録画	75
1.	イベント	75
2.	録画	75
	計算	76
3.	アラーム	77
4.	保持時間	77
5.	ログ	78
6.	Push 通知	78
5	スケジュール	79
1.	スケジュールの編集	79
2.	休日設定	81
3.	休日の登録と削除	82
6	ストレージ	84
1.	「ハードディスク管理」表内の操作	84
	S.M.A.R.T.	84
	バックアップフォーマット	85
	録画フォーマット	86
	新規	86
7	ネットワーク	87
1.	Ethernet 1	87
2.	Ethernet 2	88
3.	DDNS	89
4.	メール	90
5.	帯域	91
6.	コールバック	92
7.	FTP	92
8.	RTSP	93
8	システム	94

1.	DVR 名	94
2.	システムコントロール ID	94
3.	ユーザー設定	94
	リモートアクセススケジュール	97
4.	アップグレード	98
	ファームウェア	99
	設定データ	100
	ロゴ	101
5.	工場出荷時設定	103
6.	アラーム動作	104
	アラーム動作	104
	アラームリスト	105
7.	アラーム保持期間	105
8.	自動ログアウト	105
9.	言語	105
10.	ビデオロス検知時間	106
11.	デュアル BNC 出力	106
12.	オペレーションタイプ (HVR-HD9032 のみ)	107
2	PTZ	108
3	ズーム	112
4	その他	113
1	DVR 情報	113
	2 ネットワークステータス	115
3	IP カメラ情報	116
4	QR コード (ネットワーク情報)	117
5	ログビューアー	118
6	その他のコントロール	119
	1. 音声出力	119
	2. リレー	120
	3. テキスト	120
	4. スポット	121
7	ディスプレイ設定	122
	1. スクリーンセーバー	123
	2. シーケンスの詳細設定	124
8	システムシャットダウン	125
VI	付録	126

1	RMS 形式バックアップデータの再生	126
1	<i>BackupPlayer</i> の画面構成	126
2	操作と機能	127
2	遠隔監視の接続方法と接続方法毎の注意点	128

免責事項

- この設置・取扱説明書に記載された情報は、発行時点のものです。仕様及び性能は予告なく変更される場合があります。また、これらの変更のために、より新しい設置・取扱説明書が発行される場合があります。
- ハイブリッドビデオレコーダ、ソフトウェア、ハードディスク、パソコン周辺機器等の操作ミスや故障及びサポート対象外の機器を接続したこと等による故障・損傷またはデータ消失によって、結果的に生じる損害を弊社は保障できません。
- 弊社は、本機を日本国内での使用を前提として輸入・販売しております。本機を海外でご使用になった場合の、故障や事故に関し、弊社は一切の責任を負わないものとします。

警告

- 本機の通気孔を塞がないでください。器具の過熱防止のため、通気孔の周囲は最低 5 cm 空けてください。
- 本機の中に金属部品を入れないでください。本機に回復不能な損害を与える恐れがあります。もし入れてしまった場合は、直ちに電源を切りコンセントから AC アダプターまたは電源プラグを抜いてください。そしてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機及び付属品の AC アダプター等の分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり、大変危険です。修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 煙・蒸気または異臭を感じた場合は、火災や感電を防止するため、直ちに機器の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、煙や蒸気が止まったことを必ず確認し、販売店にご相談ください。
- 本機やその付属品に重い物を落すなどしてケースやコードが変形・破損した場合は、直ちに使用を中止し、衝撃や振動を与えないようにしてください。次に、火災や感電を防止するため、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 本機や AC アダプターに水などの液体を入れないでください。HVR や AC アダプターは防水ではありません。液体がかかった場合や潮風で汚れた場合は、乾いた柔らかい吸水性の良い布で拭いてください。水または異物が入った場合には、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあり、危険ですので販売店にご相談ください。
- 火災の恐れがありますので、本機や AC アダプターのお手入れにアルコール・ベンゼン・シンナーなどの燃えやすい物質を使用しないでください。日常のお手入れは乾いた布で拭くようにしてください。また、埃・湿気・油の多い環境での使用は火災やショートのあるので避けてください。
- 電源コードに重い物を乗せたり切断したり傷つけたり改造したりしないでください。これらは火災・ショート・感電の原因になることがあります、大変危険です。
- 感電の恐れがありますので濡れた手で本機や本機の電源コードや AC アダプターに触れないでください。AC アダプターまたは電源プラグをコンセントから抜くときは、筐体またはプラグを持って抜いてください。火災・感電・故障などの恐れがありますので、コードを持って引き抜かないでください。

- 電源は、付属の AC アダプターをご使用ください。本機に他の電源を使用した場合、火災・感電・過熱・装置の変形等の恐れがあります。
- 本機の AC アダプターで、接地用口出し線の付いた電源コードが付属している製品では、万一の感電予防のため、必ず保護接地(アース)接続を実施してください。
保護接地接続の方法が分からない場合は、お近くの電気工事士の資格を持った電気工事店にご相談されることをお勧めいたします。

＜ 重 要 ＞

本機の設置工事・撤去工事業者の方は、お客様並びに作業者の万一の感電事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください。

- 本機のご使用に当たっては D 種接地工事(接地抵抗 100Ω 以下)が必要です。
- 本機の AC アダプターは、絶縁保護クラス I 機器ですが、付属の電源コードをご使用になる場合、接地用口出し線付の 2 ピンプラグを使用しておりますので、クラス 0 I 機器とみなされます。従いまして以下の注意事項をお守りください。
 1. 本機の設置工事をする場合は、安全確保のため、電源プラグをコンセントに差し込む前に保護接地接続を実施してください。
 2. 本機の撤去工事をする場合は、保護接地接続を外す前に電源プラグをコンセントから抜いてください。

なお、大掃除などで、お客様自身が電源コードの抜き差しを行う場合も、必ず上記の順序に従って作業していただきますようお願い致します。

- 液漏れ・火災・感電・破裂等により重症を負う恐れがありますので、電池を熱源の近くに置いたり、炎や熱に直接さらしたり、水中に沈めたりしないでください。
- 破裂の恐れがあり大変危険なので、電池の加熱や分解をしようとししないでください。電池の液が体（目や口に入った場合も）や衣類に付着した場合、すぐに流水で洗い流してください。また、液が目や口に入った場合は速やかに医師に相談してください。
- 電池に強い衝撃を与えることや落下させることは避けてください。液漏れや怪我の原因になることがあります。
- キーホルダーのような金属物で電池端子をショートさせないでください。過熱や火傷、その他の傷害の原因になることがあります。
- 付属の AC アダプターは、この HVR 専用に設計されています。火災などの恐れがありますので、他の製品や電池の充電等に使用しないでください。

注意

- 指定された温度・湿度または電源定格を超える状態で装置を運用しないでください。
温度：0～40℃ 湿度：90%以下(結露しないこと)
AC アダプターの定格電圧：AC100～240V 50/60Hz
- コンセントは装置の近くに設置し、容易に抜き差しできる状態にしてください。
- IP カメラを使用する場合、100Mbps 以上の LAN を使用し、異なるリンク速度が混在しないよう

に LAN を設計することをお勧めします。(2 ポートを含めてリンク速度を揃える事が望ましい)

- IP カメラを接続する場合及び遠隔監視機能を使用する場合には、必要な通信量のデータを LAN が確実に通せるようにするため、専門のネットワークエンジニアによる LAN 設計を実施してください。データ量の管理が不適切な場合、映像が途切れたりシステムが不安定になったりする場合があります。
- 本機は不正アクセスを防御することを目的とした機器ではありません。2 つの LAN ポートを持つモデルで複数のネットワークに接続する場合は、高度なセキュリティを要求されるネットワークと高度なセキュリティを要求されないネットワークの両方に接続して使用しないでください。
- 本機は、ETHERNET 2 ポートに接続した IP カメラに ETHERNET 1 側からアクセスするための中継機能を有しています。ETHERNET 2 ポートがインターネットに接続されていない場合でも、ETHERNET 2 側に接続された IP カメラのパスワードは必ず設定してください。
- 本機の録画用 HDD やバックアップ用 USB メモリー等の記憶装置を初期化する機能は、一般的な手法によりデータを読み出し不能にする機能です。データの痕跡まで抹消する機能ではありません。従って、技術的に高度な手法によってそのデータが復元される可能性があります。記憶装置の廃棄や譲渡等の際に、高い機密性が要求される場合にはパソコン等を使用してデータの痕跡まで完全に抹消するか、記憶装置自体を物理的に破壊してください。

故障を防ぐために

- 強い磁界を避けてください。電気モーターやブラウン管テレビの近くなど強い電磁界を発生する装置の近くに本機を置かないでください。強い磁界にさらされると、装置の故障や画像データが壊れることがあります。
- 結露を避けてください。急激な温度差のある環境に装置を移動すると装置の内部または外部に結露を生じることがあります。これを避けるには、予め装置をジッパー付のビニール袋に入れて密封しておき、その状態で移動した後、移動先の温度に馴染ませてから袋を外してください。
- ハイブリッドビデオレコーダ内部に結露を生じた場合は、直ちに装置の使用を止めてください。使用を続けると、故障の原因になることがあります。コンセントから AC アダプターまたは電源プラグを抜き、装置が完全に乾燥するのを待ってください。
- リモコン（オプション）の電池を交換される場合は、**単4形** 乾電池をご購入ください。

凡例

本書で使われる各種表記

表記の例	説明
< 情 報 >	知っておくと便利な機能や関連情報を記述します。
< 注 意 >	製品を正しくご使用いただくための注意事項を記述します。
< 重 要 >	誤った使い方をすると、製品事故や情報漏えいのような深刻な事態になる恐れがある事柄について記述します。
< 予定機能 >	現在開発中の機能や、日本以外の国で使用されることを前提とした機能、弊社で取り扱わないサードパーティー製オプション製品、等の理由によって取扱説明書発行時点で弊社が技術サポートをおこなわない機能に対して記述します。
参照 →12 ページ	関連事項に関する参照先のページを示します。
1, 5, 10 , 20	強調表示 は、初期設定値であることを示します。
「サーバー」 と 「サーバ」 のような表現	同じ意味のカタカナ語で「サーバー」と「サーバ」のように最後の長音符がある場合とない場合があります。正しい日本語では、本来最後の長音符は省略しないのが原則（工業文書を除く）ですが、本機の画面表示においては画面表示の表示幅等の制限から、長音符のある箇所とない箇所が混在する場合があります。 したがって、それらについて取り扱う部分では、最後の長音符がある用語とない用語を意図的に混在使用している場合があります。

用語の定義

この設置取扱説明書では、次表の用語を使用します。

用語	説明
ユーザー	管理者を含む本機に登録されたアクセス権を持つユーザーを示します。
管理者	本機の管理権限を持つ“admin”ユーザーを示します。
利用者	ユーザーを含む本機を利用する人の総称を示します。（ここには、メール通知やPush 通知を受け取る人なども含みます）
初期値（初期設定）	工場出荷時設定と弊社出荷時設定が同じ場合の初期設定値です。
工場出荷時設定	工場出荷時の初期設定値です。（システム設定メニューの「工場出荷時設定」によって戻る初期状態）
弊社出荷時設定	弊社出荷時の初期設定値です。（弊社が販売店に卸した時の状態） < 注 意 > お客様または販売店様のご希望で、弊社で特別な設定を施した場合は、この設定とは異なる設定で出荷する場合があります。
NTSC	NTSC (National Television System Committee) 規格の映像信号またはそれに対応する DVR の動作モードを示します。日本国内の防犯機器業界では類似の意味として「アナログ」「960H」「CVBS」「SD」等の言葉が使用される場合がありますが、いずれも話者により不明確な意味で使用されることが多いので、本書では可能な限りこれらの表記の使用は控えます。ただし「960H」については機器の GUI 表示に採用されていることから、一部で使用します。また「SD」も別の意味で使用します。
SD	標準解像度であることを示します。（特に説明がない場合には 480i） 映像信号について記述した箇所では「NTSC」と「PAL」の総称として使用場合があります。
HD	高解像度であることを示します。（特に説明がない場合には 1920×1080）

アナログコンポジット信号	「AHD」「TVI」「CVI」「NTSC」映像信号の総称。（本来の意味と異なりますが便宜上「PAL」は除外します。）
録画用 HDD	録画用としてフォーマットされている HDD を意味します。録画用としてフォーマットされていない新品の（「設定」メニューの「ストレージ」で「新規」タブにある）HDD は含みません。
タイムインデックス	本機は、内蔵時計の時刻を修正したことによって同じ時刻の録画映像が複数存在した場合に、重複した両方の映像を残すために時刻修正後に録画された映像を時刻修正前とは別のフォルダに録画します。このフォルダに付けられた識別番号のことをタイムインデックスと言います。

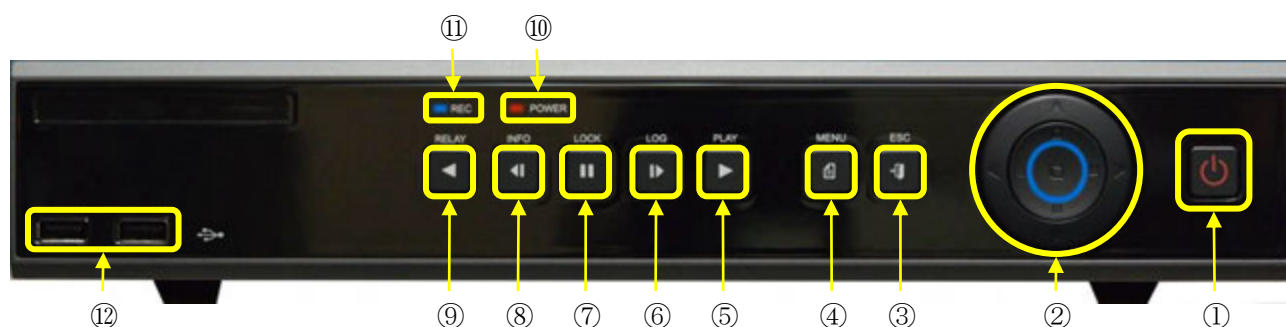
梱包品の確認

パッケージと中身に破損がないか確認してください。部品が足りない場合や破損している場合は、すぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。なお、梱包材は本機を再び輸送するとき（引越しや修理）のために、大切に保管してください。

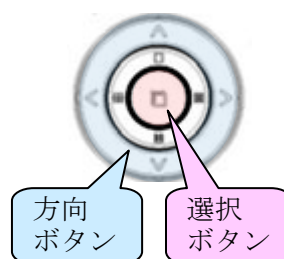
品名	数量			
	IRV-HV8004	IRV-HV8008	IRV-HV8016	IRV-HV8032
4K ネットワークビデオレコーダ	1 台			
クライアントソフトウェア CD	1 枚			
電源コード	2 本			1 本
AC アダプター	本体用電源 PoE 電源用	DC12V 5A DC48V 2A	1 個 1 個	なし
設置・取扱説明書	1 式 (CD-ROM 内収録を含む)			
マウス	1 個			
HDD 取付けネジ	空きスロット x 4 個			
S-ATA ケーブル	空きスロット x 1 本 (本体に内蔵している場合もある)			

I 各部の名称とはたらき

1 前面パネル



番号	名称	説明
①	電源ボタン	本機をシャットダウンして電源を切ることができる状態にします。本機をシャットダウンするには“admin”（管理者）でログインする必要があります。
②	方向／選択ボタン	方向ボタンは、ライブ及び再生モード中は表示モードを変更します。 上：1 画面表示に切り換え、押すたびに表示チャンネルが切り替わります。 左：4 分割表示に切り換え、押すたびに表示チャンネルが切り替わります。 下：8 及び 9 分割表示に切り換え、押すたびに表示チャンネルが切り替わります。^{※1} 右：10, 12, 16, 20, 24 分割表示に切り換え、押すたびに表示チャンネルが切り替わります。^{※2} メニュー内では項目を移動します。 選択ボタンはメニュー内で強調表示されている項目を選択します。
③	ESC ボタン	メニュー画面内で現在のメニューを抜けたり上（浅い階層）のメニューに移動したりします。 再生モード時にはライブモードに戻ります。
④	MENU ボタン	ライブ及び再生モード中にメニューを開きます。
⑤	再生ボタン	ライブモード中に押すと、再生モードに入り通常速度（×1）での再生を開始します。 通常再生中に押すと、早送り再生で速度が×2→×4→×8→×16→×32→×300[倍]の順に変化します。300 倍の次は通常再生（×1）に戻ります。
⑥	コマ送り／LOG ボタン	ライブモード中に押すと、ログを表示するためのウィンドウを開きます。 再生モード中に押すとコマ送りになります。
⑦	一時停止／LOCK ボタン	ライブモード中に押すとログウィンドウを表示します。 再生モード中に押すと、再生映像を一時停止します。
⑧	コマ戻し／INFO ボタン	ライブモード中に押すと、DVR 情報ウィンドウを開きます。 再生モード中に押すと、逆コマ送り（コマ戻し）になります。
⑨	逆再生／RELAY ボタン	ライブモード中に押すと、その他コントロールウィンドウのリレータブを開きます。 再生中に押すと、逆再生になり再生速度は×1→×2→×4→×8→×16→×32→×300[倍]に順に変化します。300 倍の次は通常速度の逆再生（×1）に戻ります。
⑩	POWER ランプ	通電中に赤色で点灯し、電源が入っていることを示します。
⑪	RECORD ランプ	録画中に青色で点滅し録画状態であることを示します。



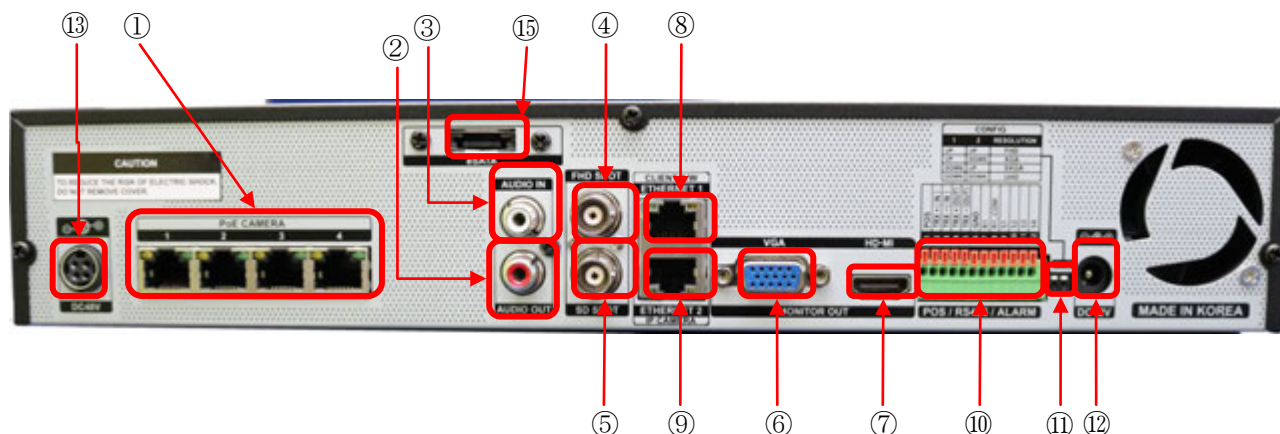
⑫	USB	USB マウスまたは USB メモリーを接続して使用します。
---	-----	--------------------------------

< 情 報 >

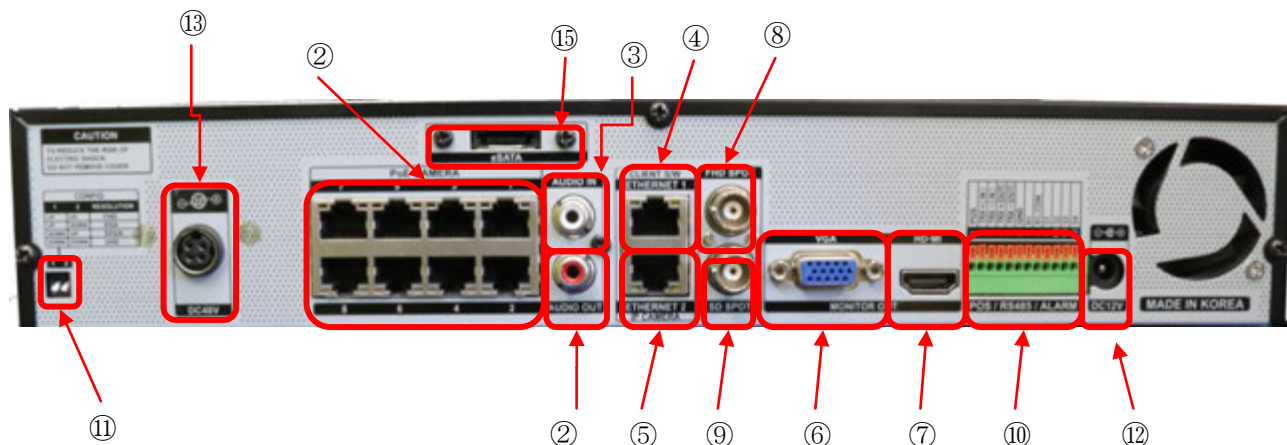
- ※1. IRV-HD9004 には、8 分割及び 9 分割表示はありません。
- ※2. IRV-HD9004 には、10, 12, 16, 20, 24 分割表示はありません。
IRV-HD9008 には、20, 24 分割表示はありません。
IRV-HD9016 には、12 分割表示はありません。

2 背面パネル

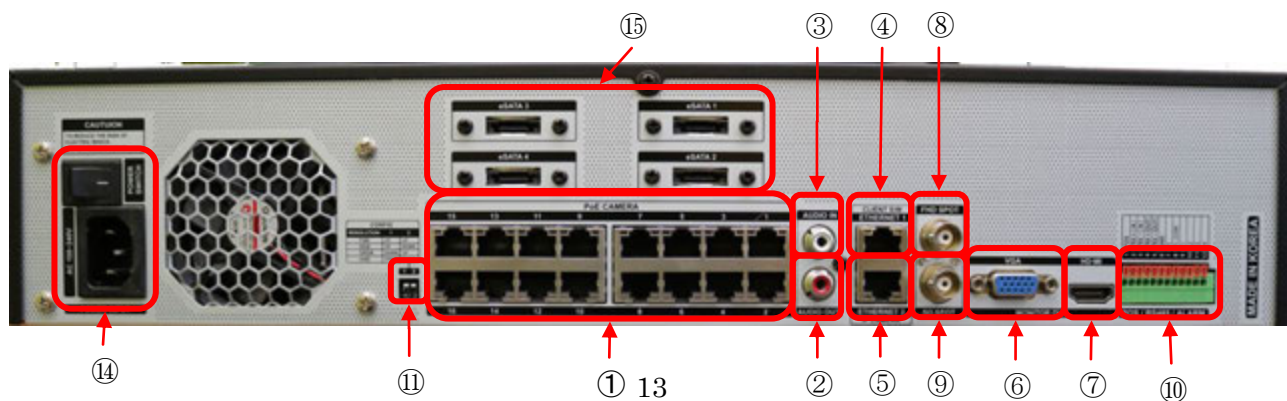
IRV-HD9004

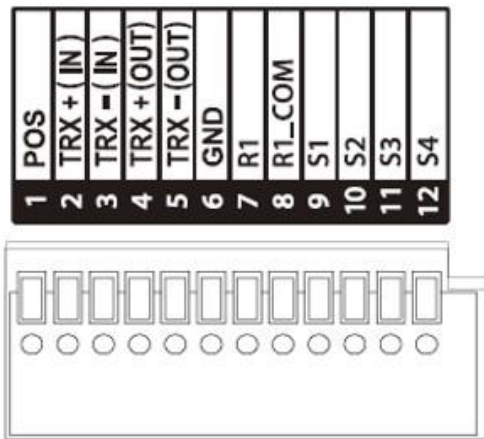


IRV-HD9008 / IRV-HD9016



IRV-HD9032



番号	名称		説明	タイプ																							
①	PoE ポート		IP カメラを接続するためのポート。PoE 出力	RJ45																							
②	AUDIO IN		マイクを接続するための音声入力です。音声レベルはラインレベルです。	RCA																							
③	AUDIO OUT		スピーカーを接続するための音声出力です。音声レベルはラインレベルです。	RCA																							
④	FHD SPOT		TVI（1080p）方式のモニターを接続するための映像出力です。名称は“SPOT”ですが、設定によりメインモニターとしての利用も可能です。	BNC																							
⑤	SD SPOT		NTSC 方式のモニターを接続するための映像出力です。名称は“SPOT”ですが、設定によりメインモニターとしての利用も可能です。※1	BNC																							
⑥	MONITOR OUT	VGA	アナログ RGB 方式のモニターを接続するための映像出力です。	D-Sub 15P																							
⑦		HD-MI	HDMI 方式のモニターを接続するための映像出力です。	HDMI Type-A																							
⑧	ETHERNET 1 CLIENT S/W		遠隔監視及び IP カメラを接続するための LAN ポートです。10 / 100 / 1000Mbps の LAN に対応しています。	RJ45																							
⑨	ETHERNET 2 IP CAMERA		IP カメラを接続するための LAN ポートです。10 / 100 / 1000Mbps の LAN に対応しています。	RJ45																							
⑩	POS / RS485 / ALARM		各種オプション機器を接続するための端子です。  <table><thead><tr><th>番号</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td rowspan="3">< 予定機能 > 何も接続しないでください。</td></tr><tr><td>2</td></tr><tr><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td rowspan="2">RS422 / 485 インターフェースによる PTZ カメラの制御に使用します。</td></tr><tr><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>センサー入力（接点入力）の共通グランド端子です。</td></tr><tr><td>7</td><td>アラーム出力用の無電圧接点出力です。</td></tr><tr><td>8</td><td>アラーム出力用の無電圧接点出力です。</td></tr><tr><td>9</td><td>CH 1 のセンサー入力です。</td></tr><tr><td>10</td><td>CH 2 のセンサー入力です。</td></tr><tr><td>11</td><td>CH 3 のセンサー入力です。</td></tr><tr><td>12</td><td>CH 4 のセンサー入力です。</td></tr></tbody></table>	番号	説明	1	< 予定機能 > 何も接続しないでください。	2	3	4	RS422 / 485 インターフェースによる PTZ カメラの制御に使用します。	5	6	センサー入力（接点入力）の共通グランド端子です。	7	アラーム出力用の無電圧接点出力です。	8	アラーム出力用の無電圧接点出力です。	9	CH 1 のセンサー入力です。	10	CH 2 のセンサー入力です。	11	CH 3 のセンサー入力です。	12	CH 4 のセンサー入力です。	ターミナル ブロック
番号	説明																										
1	< 予定機能 > 何も接続しないでください。																										
2																											
3																											
4	RS422 / 485 インターフェースによる PTZ カメラの制御に使用します。																										
5																											
6	センサー入力（接点入力）の共通グランド端子です。																										
7	アラーム出力用の無電圧接点出力です。																										
8	アラーム出力用の無電圧接点出力です。																										
9	CH 1 のセンサー入力です。																										
10	CH 2 のセンサー入力です。																										
11	CH 3 のセンサー入力です。																										
12	CH 4 のセンサー入力です。																										

⑪	CONFIG	VGA 及び HDMI 出力の解像度を設定します。		DIP スイッチ 	
		スイッチ			
		1	2		解像度
		上	上		Full HD (1920 × 1080) 1080p ※3
		上	下		XGA (1024 × 768)
		下	上		SXGA (1280 × 1024)
下	下	UHD (3840 × 2160) 4K			
⑫	DC12V 5A 入力	本体電源及び PoE 電源入力です。 <u>必ず付属の AC アダプターをご使用ください。付属以外の AC アダプターやカメラ用の電源装置を使用すると、感電・故障・誤作動等の原因になる場合があります。</u>		DC ジャック	
⑬	DC48V 2A 入力			4DIN	
⑭	AC100V 入力			AC	
⑮	eSATA	e-SATA 接続の HDD を接続することが出来ます。 ※2		e-SATA	

< 注 意 >

- ※1. “SD SPOT” をメインモニターとして使用する場合、SD モニターでは解像度が低いので、メニュー等の文字は視認できない場合があります。“SD SPOT” をメインモニターにする場合は、補助的な用途に限定して、本機を操作するためのメインモニターは別途 HDMI 出力または VGA 出力に接続したモニターをご使用ください。
- ※2. HDD を 2 台内蔵している製品については、e-SATA ポートは利用できません。

< 情 報 >

- ※3. 解像度を “Full HD” に設定した場合の垂直周波数は「ディスプレイ設定」で変更することが出来ます。

II 利用開始にあたって

1 モニターの解像度について

本機の HDMI 出力と VGA 出力は次表の解像度と垂直周波数の信号を出力することが出来ます。本機に接続するモニターは必ずこれらの解像度に対応している必要がありますので、モニターの購入時には十分にご注意ください。

解像度 名称	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]	CONFIG スイッチ		ディスプレイ設定 HD 周波数
				1	2	
XGA	1024×768	60	48.36	上	下	
SXGA	1280×1024	60	63.96	下	上	
FHD	1920×1080	50	56.25	上	上	50Hz
		60	67.5	上	上	60Hz
UHD	3640×2160	30	67.5	下	下	

2 管理者パスワードについて

本機を操作する場合、重要な操作の過程では管理者パスワードの入力が必要になる場合があります。工場出荷時の管理者パスワードは「**00000**」です。

< 重 要 >

管理者パスワードは本機を第三者に不正操作されないための大切な情報です。本機の設置を完了したら、必ず利用者自身の管理者パスワードを設定していただきますよう強くお願い致します。特に、遠隔監視のために本機をインターネットに接続する場合は、初期設定の管理者パスワードで使用されますと、世界中の第三者から不正アクセスされる事によって情報漏洩や、さらなる不正アクセスのための踏み台として利用されるなど、大きなリスクがあります。

3 ケーブル接続と本体のスイッチ

本機を初めて起動する前に、最低限次表のケーブルが接続されていることをご確認ください。

項目	説明
マウス	付属のマウスを本機の USB ポートに接続してください。
メインモニター	本機の HDMI または VGA 端子に、メインモニターとして使用するためのモニターを接続してください。※1 使用するモニターに入力切換えがある場合は適切な入力を選択しておいてください。（入力切換えの方法はモニターの取扱説明書をご覧ください）
CONFIG スイッチの設定	使用するメインモニターの対応解像度に合わせて背面パネルの“CONFIG”スイッチを及びディスプレイ設定の「HD 周波数」を正しく設定してください。
本機の電源	上記の接続が全て済んでから。 (1) 電源コードの接地用口出し線（緑と黄のストライプ）をコンセントのアース端子に接続します。 (2) 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込みます。

< 注 意 >

LAN ケーブルは、ネットワーク障害が起きる場合がありますので、適切なネットワーク設定を済ませるまで差し込まないでください。

※1. “HD SPOT” “SD SPOT” は初期設定ではスポットモニターとして動作しますので、初回起動時にはメインモニターとして使用することはできません。

4 バーチャルキーパッド

本機の操作で、文字の入力が必要になる場合には、画面上に「バーチャルキーパッド」が表示されます。バーチャルキーパッドは、マウス操作の場合、表示されたボタンを左クリックする事で、実際のキーボードと同じように利用できます。ボタン操作の場合は、**↑↓←→**（上下左右方向）ボタンで、入力する文字を選んでから **■**（選択）ボタンで1文字ずつ入力することが出来ます。



機能ボタンの役割を次表に示します。

機能ボタン	説明
 小文字(白色)  大文字(黄緑色)	文字入力用ボタンの大文字と小文字を切り換えます。
 バックスペース	入力内容表示部のカーソルの左側の文字を1文字削除します。
 スペース	空白を入力します。
 取消	入力内容を破棄してバーチャルキーパッドを開く前のウィンドウに戻ります。
 保存して終了	入力内容を保存してバーチャルキーパッドを開く前のウィンドウに戻ります。

III 起動とシャットダウン

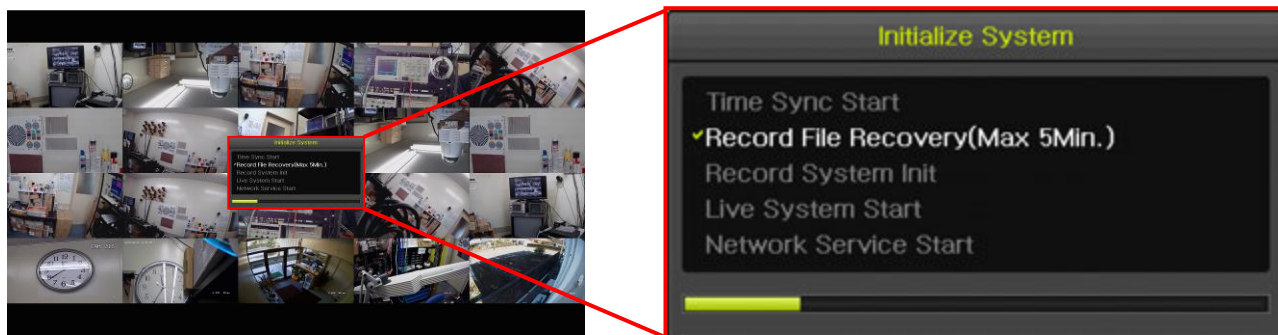
1 起動

本機は以下の手順で起動します。

- (1) 本機の AC アダプターの DC プラグを DVR 本体に差し込んでから、コンセントに接続済みの AC コードを AC アダプターのインレットに接続するだけで電源を入れることができます。電源を入れるためのスイッチはありません。
- (2) 本機に電源が入ると、約 10 秒で HDMI または VGA 接続されたメインモニターに次の図のような「Interluck」のロゴが表示されます。このロゴが 20 秒程度表示されます。



- (3) ライブ映像（カメラが接続され登録が完了している場合）に切り替わり画面中央に次の図のような自己診断画面が表示されます。自己診断画面は約 30 秒（通電時から約 1 分）で消えます。



自己診断画面が消えたら DVR が使用可能な状態になります。

< 注 意 >

- 起動時の「Interluck」のロゴは、背面パネルの CONFIG スイッチの状態に関係なく FHD 解像度で出力されます。ご使用のモニターが FHD (1920 × 1080 60Hz) 解像度に対応していない場合は表示されない場合があります。
- 本機をご購入後、初回起動時には必ずカレンダーと時計を合わせてください。

参照 → 60 ページ

2 シャットダウン

本機は、電源を切る前に装置の電源を切ることが出来る状態（シャットダウン）してから電源を切る必要があります。

本機をシャットダウンするには、以下の 2 つの方法で実行できます。

マウス操作

- (1) ライブモード中にマウスを右クリックすると、メニューが表示されます。
- (2) 「その他」→「システムシャットダウン」にマウスポインターを合わせ、左クリックします。
- (3) 「システムシャットダウン」と書かれたパスワード入力画面が表示されたら、画面のテンキーを左クリックしてパスワードを入力します。
- (4) **OK** ボタンを左クリックします。
- (5) 正しいパスワードが入力されると「システムをシャットダウンしますか？」と表示されます。
- (6) **はい** をクリックすると
- (7) 「シャットダウンを正常に完了しました。電源コードを取り外してください。」と表示されたら AC アダプターから電源コードを抜いてください。

前面パネル操作

- (1) ライブモード中に前面パネルの **電源** ボタンを押すと、「システムシャットダウン」と書かれたパスワード入力画面が表示されます。
- (2) 「システムシャットダウン」と書かれたパスワード入力画面が表示されたら、**▲**（上方向）ボタンを押してしてパスワード欄を選択（緑枠を合わせる）します。
- (3) **選択** ボタンを押すと、パスワード入力画面が表示されます。
- (4) パスワードは **▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンで、入力する文字を選んでから **選択** ボタンで 1 文字ずつ入力することが出来ます。
- (5) **保存して終了** ボタンに緑の枠を合わせて **選択** ボタンを押すと元の「システムシャットダウン」ウィンドウに戻ります。
- (6) **OK** ボタンに緑の枠を合わせて、**選択** ボタンを押します。
- (7) 正しいパスワードが入力されると「システムをシャットダウンしますか？」と表示されます。
- (8) **◀**（左方向）ボタンで緑の枠を **はい** ボタンに合わせてから **選択** ボタンを押します。
- (9) 「シャットダウンを正常に完了しました。電源コードを取り外してください。」と表示されたら AC アダプターから電源コードを抜いてください。



＜ 注 意 ＞

- 本機は、内部にハードディスク（HDD）と呼ばれる記憶装置を内蔵しております。HDD はデータを書き込んでいる最中に突然電源が断たれると、ある程度の確率で内部のデータが失われたり故障したりする可能性があります。従いまして、データの消失や故障を防止するため、本機の電源を切る前には、予め電源を切ることができる状態（シャットダウン状態）にしてからコンセントを抜いていただく必要があります。

IV 画面表示と基本操作

1 ライブモード

本機が起動処理を完了した時は、接続されているカメラの生の映像がメインモニターに表示される状態になっています。この状態のことを「ライブモード」または「リアルタイムモニタリングモード」といいます。この設置・取扱説明書では、以降「ライブモード」と記述します。



1 分割表示と1画面表示

ライブモードの画面は、カメラで撮影された映像を分割表示または1画面表示しリアルタイムで監視することが出来ます。画面の分割数はコントロールバーの次の図のアイコンをマウスで左クリックする、または前面パネルの **▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンを使って切り換えることが出来ます。



選択する アイコン	実際の分割数			
	IRV-HV8004	IRV-HV8008	IRV-HV8016	
			オペレーションタイプ 3MP 16CH + IPC 8CH	オペレーションタイプ 4MP 16CH + IPC 4CH
	1	1	1	1
	4	4	4	4
	6	9	9	9
		12	16	16
			20	25
25 選択されている分割方法は黄色の背景色で表示されます。				
25 選択されていない分割方法は黒色の背景色で表示されます。				

分割画面の状態、特定のチャンネルの画面をマウスの左ボタンでダブルクリックすると、1 画面表示に切り替わります。

2 アイコン

イベントを検知したことを示すアイコン

アイコン	説明
	このチャンネルでモーションを検知していることを示します。
	このチャンネルで音声を検知していることを示します。
	このチャンネルでセンサー入力のトリガーを検知していることを示します。

記録対象を示すアイコン

アイコン	説明
	このチャンネルの映像を録画中であることを示します。
	このチャンネルの音声を録音中であることを示します。

モニタリング状態を示すアイコン

アイコン	説明	
	このチャンネルの音声出力されていることを示します。	
	何らかの理由でカメラ映像を表示できない状態であることを示します。表示できない理由はアイコンの下に黄色の文字で表示されます。	
	理由	説明
	ビデオロス	カメラからの映像信号が途切れたことを示します。
	接続中	IP カメラへの接続を試行中であることを示します。

3 コントロールバー

画面下部にはコントロールバーがあります。コントロールバーには常時表示する必要がある情報がまとめて表示されています。また、一部の操作もサポートしています。

						2017/09/28 15:09:56	13928GB	再生
①	②	③	④	⑤	⑥			

番号	説明						
①	現在の画面分割の状態を示します。また、それぞれのアイコンをマウスで左クリックすることで、分割方法を切り換えます。詳細は「分割表示と 1 画面表示」をご覧ください。 参照→21 ページ						
②	シーケンス（画面自動切換え）の動作状態を示します。また、このアイコンをマウスで左クリックすることで、シーケンスの開始と停止をすることが出来ます。 <table border="1"> <tr> <th>状態</th><th>説明</th></tr> <tr> <td></td><td>シーケンス機能が停止状態であることを示します。</td></tr> <tr> <td></td><td>シーケンス機能が動作状態であることを示します。</td></tr> </table>	状態	説明		シーケンス機能が停止状態であることを示します。		シーケンス機能が動作状態であることを示します。
状態	説明						
	シーケンス機能が停止状態であることを示します。						
	シーケンス機能が動作状態であることを示します。						
③	このアイコンを左クリックすると、デジタルズーム（画面拡大）機能を開始します。 ^{※1} 参照→112 ページ						
③	現在の日時を表示します。本機に内蔵された時計が正しい日時を表示していることをご確認ください。						
⑤	録画用に割り当てられた HDD の状態を示します。 <table border="1"> <tr> <th>表示例</th><th>説明</th></tr> <tr> <td>6107GB</td><td>録画中で録画用 HDD に残容量がある場合。</td></tr> </table>	表示例	説明	6107GB	録画中で録画用 HDD に残容量がある場合。		
表示例	説明						
6107GB	録画中で録画用 HDD に残容量がある場合。						

	161GB	「上書録画」の設定が「オフ」のとき、録画中で録画用 HDD の残容量が少なくなった場合。(文字の色が赤)
	FULL	「上書録画」の設定が「オフ」に設定されている場合に、録画用 HDD の残容量がなくなった場合。(文字色が赤)
	上書き	録画用 HDD の残容量がなくなって、上書き録画が実行されている場合。
⑥	再生	をマウスで左クリックすると再生モードに入ります。

< 情 報 >

- ※1. デジタルズーム機能はマウスのホイールを回すことでも起動できます。分割画面の場合は拡大したいチャンネルの画面にマウスポインターを合わせてからホイールを回してください。1 画面表示の状態で拡大が実行されます。

4 ログインとログアウト

本機を操作するためには、適切な権限を持つユーザーでログインする必要があります。

ユーザーは 1 アカウントの管理者を含め、最大 15 アカウントまで設定することができます。管理者は無条件で全ての操作が許可されますが、その他のユーザーは操作できる機能を制限することができます。

< 注 意 >

- 再生モード中にはログイン及びログアウト操作はできません。ライブモードに戻ってから操作してください。
- 再生モードに入るためには、管理者または再生の権限があるユーザーでログインする必要があります。

1. ログイン

- (1) マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (MENU) ボタンを押すと、「メニュー」ウィンドウが表示されます。

起動後誰もログインしていない場合は左下のメニューが表示されます。

右下のようなメニューが表示される場合は既にログイン中です。そのまま操作を続けるか、一旦ログアウトして別のユーザーでログインしてください。

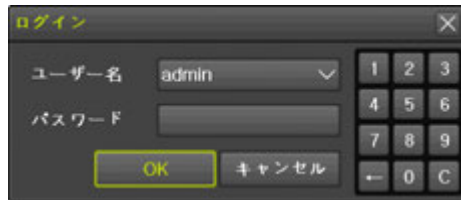


ログアウト状態のメニュー画面

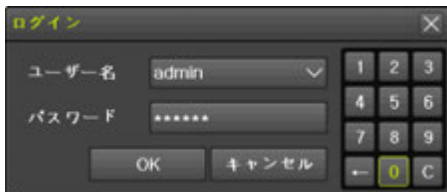


ログイン状態のメニュー画面

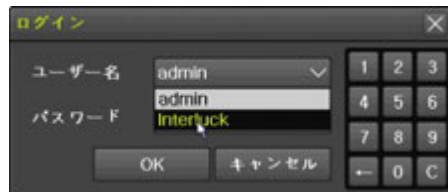
- (2) マウス操作の場合は「ログイン」をクリック、ボタン操作の場合は  (選択) ボタンを押すと、次の図のようなログインパスワード入力ダイアログが表示されます。



- (3) マウス操作の場合は直接数字ボタンを左クリックし、ボタン操作の場合は **↑↓←→** (上下左右方向) ボタンでカーソル (緑の枠) を移動させながら **□** (**選択**) ボタンで 1 桁ずつ入力します。また、ユーザーの選択も同様の操作でおこないます。



パスワード入力



ユーザー選択

< 情報 >

本機の工場出荷時に初期設定された管理者 ID とパスワードは以下の通りです。

管理者 ID **“admin”**

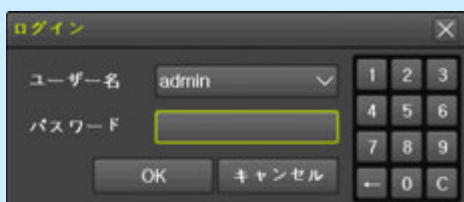
管理者パスワード **“00000” (ゼロゼロゼロゼロゼロ)**

- (4) マウス操作の場合は **OK** ボタンを左クリック、ボタン操作の場合はカーソルを画面の **OK** ボタンに合わせてから **□** (**選択**) ボタンを押します。
- (5) 画面表示でログインの成功または失敗を確認します。

表示	説明
	ログインに成功しました。この表示は約 1 秒間表示されてから消えます。
	ログインに失敗しました。この表示は約 1 秒間表示されてから消えます。 パスワードを間違えた場合、連続 3 回まで入力できます。3 回目で間違えると①の操作からやり直す必要があります。

< 情報 >

パスワードには、数字以外にアルファベットと一部の特殊記号が利用できます。数字以外の文字を入力するには、マウス操作の場合パスワードのテキストボックスを左クリック、ボタン操作の場合は **↑↓←→** (上下左右方向) ボタンでパスワードのテキストボックスにカーソルを合わせてから **□** (**選択**) ボタンを押すと、バーチャルキーパッドが表示されます。



＜ 重 要 ＞

管理者パスワードは本機を第三者に不正操作されないための大切な情報です。本機の設置を完了したら、必ず利用者自身の管理者パスワードを設定していただきますよう強くお願い致します。特に、遠隔監視のために本機をインターネットに接続する場合は、初期設定の管理者パスワードで使用されますと、世界中の第三者から不正アクセスされる事によって情報漏洩や、さらなる不正アクセスのための踏み台として利用されるなど、大きなリスクがあります。

2. ログアウト

- (1) マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (**MENU**) ボタンを押すと、メニューウィンドウが表示されます。

現在ログイン中の場合は左下のメニューが表示されます。

右下のようなメニューが表示される場合はログアウト状態ですので。ログアウト操作の必要はありません。

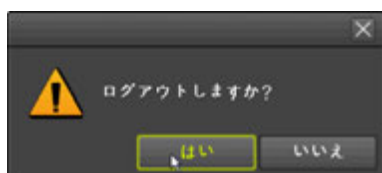


ログイン状態のメニュー画面



ログアウト状態のメニュー画面

- (2) マウス操作の場合は「ログイン」をクリック、ボタン操作の場合は  (**選択**) ボタンを押すと、次の図のようなログアウト確認ダイアログが表示されます。



マウス操作の場合は **はい** ボタンを左クリック、ボタン操作の場合は **はい** ボタンにカーソルがあることを確認して  (**選択**) ボタンを押すとログアウトします。 **いいえ** ボタンの場合はログアウトせずにライブモードに戻ります。

- (3) はいを選択してログアウトを完了すると以下のような表示が1秒程度表示されます。



2 再生モード

再生モードは、本機に内蔵された録画用 HDD に記録された映像を再生するためのモードです。

1 再生モードに入る方法

1. 前面パネルの **PLAY** ボタン



ライブモード中に前面パネルの **PLAY** ボタンを押すと、再生モードになります。

再生開始位置は次表のようになります。

条件	再生開始位置
起動後最初の再生	録画された最新の映像を 5 分前から
2 回目以降の再生	前回再生を止めた位置から再開

2. コントロールバーの **再生** ボタン



ライブモード中に表示されているコントロールバーの **再生** ボタンを押すと、再生モードになり現在時刻の 5 分前から再生を開始します。

3. メニューの「検索」から



「メニュー」ウィンドウの「検索」から検索方法を選んで再生開始位置を決めることができます。

それぞれの検索方法の違いは次表に示します。

検索方法	説明
カレンダー検索	カレンダーで日付を選択してから「時」→「分」の順にバーグラフを選択することで再生開始位置を決定します。
日時指定再生	「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を数値で指定する方法で再生開始位置を決定します。
最後から	最新の録画映像の 5 分前を再生開始位置に決定します。
最初から	最も古い録画映像を再生開始位置に決定します。

前回の続きから	前回の再生で再生を停止した位置を再生開始位置に決定します。 < 注 意 > ● HVR 起動後初回の再生では「最後から」と同じ動作になります。 ● HVR を再起動した場合、再起動前に最後に再生を停止した位置から再生を再開することはできません。「最後から」と同じ動作になります。 参照→31 ページ
POS 検索	< 予定機能 > 現在は使用しないでください。

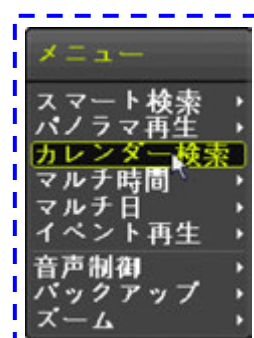
カレンダー検索

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は **■** (**MENU**) ボタンを押すと「メニュー」ウィンドウが表示されます。(再生モードから操作した場合は再生メニュー)

(2) 検索メニューでカレンダー検索を選択

マウス操作の場合はメニューの「検索」の上にマウスポインターを合わせると検索メニューが表示されますので、検索メニューの「カレンダー検索」を左クリックします。ボタン操作の場合は **▲▼** **◀▶** (上下左右方向) ボタンで「カレンダー検索」を強調表示 (黄緑色文字) にしてから **■** (**選択**) ボタンを押します。



再生モード時

再生モード時は右上の画像の再生メニューになります。

(3) 年月日を選択

年月の送り戻しは、マウス操作の場合は年月の両側の **◀▶** (左右方向) ボタンを左クリックします。ボタン操作の場合は **▲▼◀▶** (上下左右方向) ボタンでカーソルを年月に合わせてから **◀▶** (左右方向) ボタンで操作します。

日の選択はマウスの場合カレンダーの日付を直接ダブルクリックします。ボタン操作の場合 **▲▼◀▶** (上下左右方向) ボタンでカーソルをカレンダーの日付に合わせてから **■** (**選択**) ボタンを押します。



年月を選択



日を選択

(4) 時分を選択

時の選択はマウス操作の場合は時の数値をダブルクリックします。ボタン操作の場合は **▲▼◀▶** (上下左右方向) ボタンでカーソルを時の数値に合わせてから **□ (選択)** ボタンを押します。
 分の選択はマウス操作の場合は時の数値をダブルクリックします。ボタン操作の場合は **▲▼◀▶** (上下左右方向) ボタンでカーソルを時の数値に合わせてから **□ (選択)** ボタンを押します。



時を選択



分を選択

(5) 再生 ボタンを選択

再生を開始するにはマウス操作の場合 **再生** ボタンを左クリックします。ボタン操作の場合カーソルで「分」の数値を選択した状態で **□ (選択)** ボタンを押すか、**▲▼◀▶** (上下左右方向) ボタンでカーソルを 再生 ボタンに合わせてから **□ (選択)** ボタンを押します。

< 情報 >

カレンダー検索には次のようなオプションがあります。

● タイムインデックス

本機は、内蔵時計の時刻を修正したことによって同じ時刻の録画映像が複数存在した場合に、重複した両方の映像を残すために時刻修正後に録画された映像を時刻修正前とは別のフォルダに録画します。カレンダーで時刻の重複が発生した日付を選択した場合には、フォルダを選択するためのウィンドウが表示されます。



001 を選択
した場合

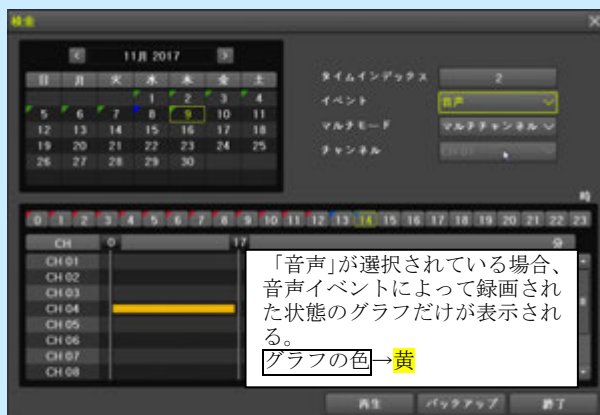


002 を選択
した場合



● イベント

検索対象とする録画イベントの種類を「全て」「モーション」「センサー」「音声」から選択します。イベントを選択してから再生する場合、選択された種類のイベントによる録画がおこなわれた時間帯だけの映像が再生されます。(分割表示の場合、対象時間帯の他のチャンネルに映像が録画されていればイベントの種類に関係なく同時に再生されます。)



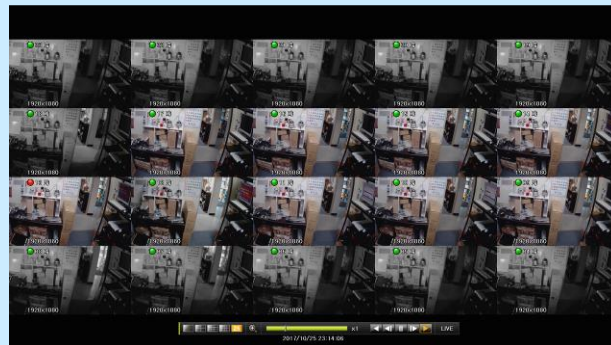
● マルチモード

一般的な DVR の検索および再生動作では、複数のチャンネルの同時刻の録画映像を同時に検索・再生するような動作（これを「マルチチャンネル」と言います）をしますが、「マルチ時間」及び「マルチ日」を選択すると、特定のチャンネルの複数の時間帯や特定のチャンネルの複数の日付の

録画映像を検索・再生することが出来ます。



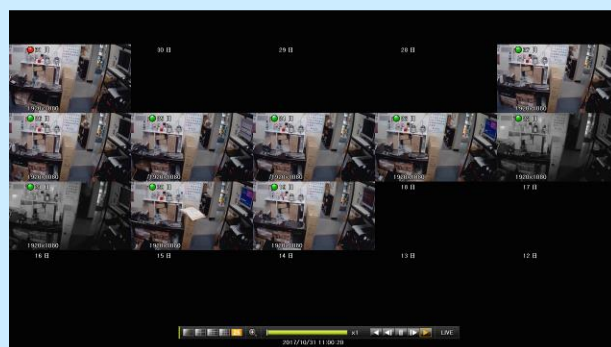
上図のマルチ時間検索の例では、2017年10月25日の毎時のCH 03の録画映像を検索しています。下のグラフ部分には7～14時台グラフが見えています。



上図のマルチ時間再生の例では1時間毎のCH 03の再生映像が表示されています。



上図のマルチ日検索の例では、2017年10月12～31日のCH 03の録画映像を検索しています。下のグラフ部分には20～27日のグラフが見えています。



上図のマルチ日再生の例では1日毎のCH 03の再生映像が表示されています。



チャンネル

マルチモードで「マルチ時間」及び「マルチ日」を選択した場合の検索及び再生チャンネルを選択します。

日時指定再生

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (MENU) ボタンを押すと、メニューウィンドウが表示されます。

(2) メニューで「日時指定再生」を選択

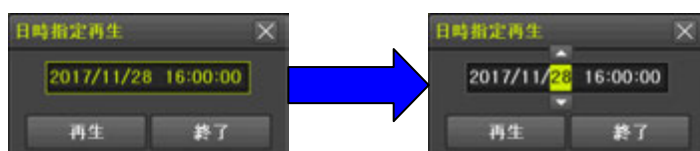
マウス操作の場合はメニューの「検索」の上にマウスポインターを合わせると検索メニューが表示されますので、検索メニューの「日時指定再生」を左クリックすると「日時指定再生」ウィンドウが表示されます。ボタン操作の場合は     (上下左右方向) ボタンで「日時指定再生」を強調表示(黄緑色文字)にしてから  (選択) ボタンを押します。



(3) 日時を入力

マウス操作の場合はウィンドウ内の日時表示の変更したい項目をダブルクリックして反転表示にしてから ▲ ▼ ボタンをクリックして数値を増減させます。

ボタン操作の場合は ▲ ▼ (上下方向) ボタンで日時にカーソルを合わせてから □ (選択) ボタンを押すと、右下の図のように ▲ ▼ ボタンが表示されます。この状態では ◀ ▶ (左右方向) ボタンで項目移動、▲ ▼ (上下方向) ボタンで値を増減出来るようになります。もう一度 □ (選択) ボタンを押すと左下の図の状態に戻ります。



(4) 再生ボタンを選択

マウス操作の場合は **再生** を左クリックすると再生モードで指定された日時から再生を開始します。

ボタン操作の場合は ▲ ▼ ◀ ▶ (上下左右方向) ボタンで **再生** ボタンにカーソルを合わせてから □ (選択) ボタンを押します。



最後から

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は ■ (MENU) ボタンを押すと、メニューウィンドウが表示されます。

(2) メニューで「最後から」を選択

マウス操作の場合はメニューの「検索」の上にマウスポインターを合わせると検索メニューが表示されますので、検索メニューの「最後から」を左クリックすると記録された映像の最後より約 5 分前から再生を開始します。ボタン操作の場合は ▲ ▼ ◀ ▶ (上下左右方向) ボタンで「最後から」を強調表示 (黄緑色文字) にしてから □ (選択) ボタンを押します。



最初から

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (**MENU**) ボタンを押すと、メニューウィンドウが表示されます。

(2) メニューで「最初から」を選択

マウス操作の場合はメニューの「検索」の上にマウスポインターを合わせると検索メニューが表示されますので、検索メニューの「最初から」を左クリックすると記録されたもっとも古い映像から再生を開始します。ボタン操作の場合は     (上下左右方向) ボタンで「最初から」を強調表示 (黄緑色文字) にしてから  (**選択**) ボタンを押します。



前回の続きから

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (**MENU**) ボタンを押すと、メニューウィンドウが表示されます。

(2) メニューで「前回の続きから」を選択

マウス操作の場合はメニューの「検索」の上にマウスポインターを合わせると検索メニューが表示されますので、検索メニューの「前回の続きから」を左クリックすると前回再生時に再生を停止した位置から再生を再開します。ボタン操作の場合は     (上下左右方向) ボタンで「前回の続きから」を強調表示 (黄緑色文字) にしてから  (**選択**) ボタンを押します。



< 注 意 >

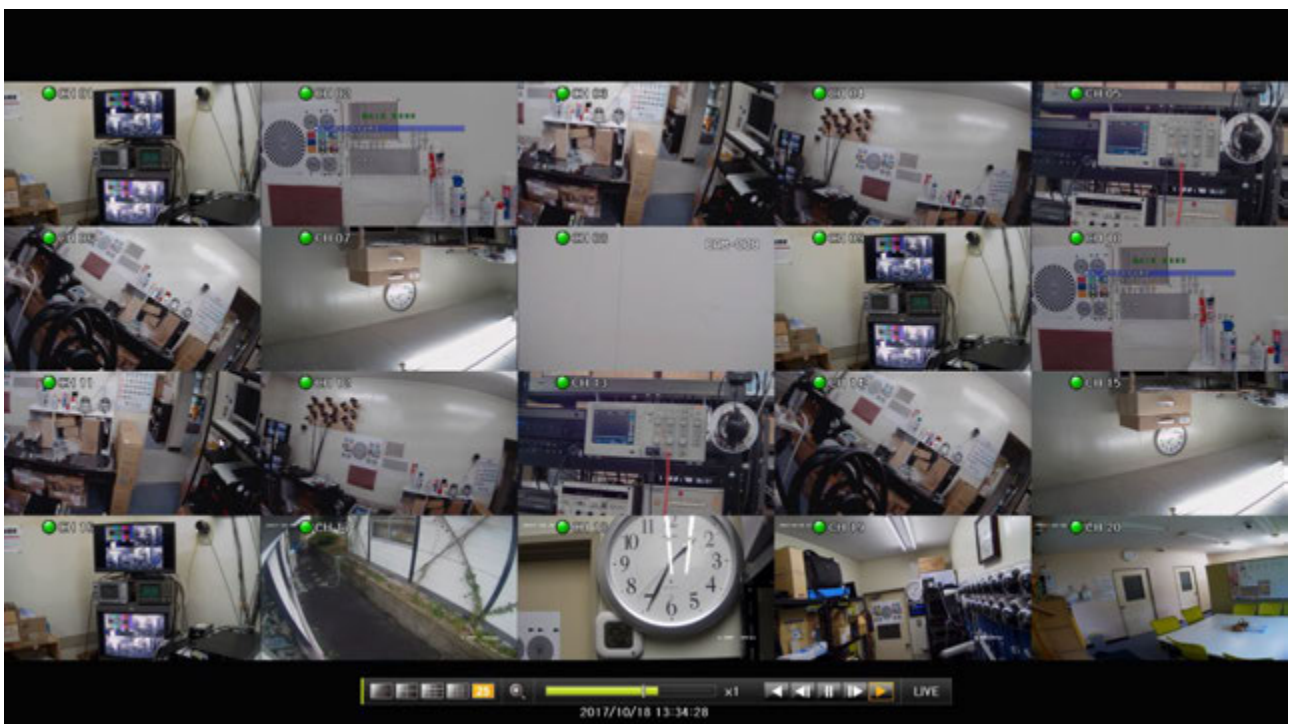
- DVR 起動後初回の再生では「最後から」と同じ動作になります。
- DVR を再起動した場合、再起動前に最後に再生を停止した位置から再生を再開することはできません。「最後から」と同じ動作になります。

参照→31 ページ

POS 検索

< 予定機能 > 現在のご利用いただけません。

2 分割表示と 1 画面表示



再生モードの画面は、本機に内蔵されている録画用 HDD に記録された映像を分割表示または 1 画面表示し複数のチャンネルを同時に確認することができます。画面の分割数はコントロールバーの次の図のアイコンをマウスで左クリックする、または前面パネルの **▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンを使って切り換えることができます。



選択する アイコン	実際の分割数			
	IRV-HV8004	IRV-HV8008	IRV-HV8016	
			Operation Type 3MP 16CH + IPC 8CH	Operation Type 4MP 16CH + IPC 4CH
	1	1	1	1
	4	4	4	4
	6	9	9	9
		12	16	16
			20	25
選択されている分割方法は黄色の背景色で表示されます。 選択されていない分割方法は黒色の背景色で表示されます。				

分割画面の状態で、特定のチャンネルの画面をマウスの左ボタンでダブルクリックすると、1 画面表示に切り替わります。

3 アイコン

録画理由を示すアイコン

アイコン	説明
	通常（連続）録画によって録画された範囲を再生していることを示します。
	モーション（動体検知）イベントによって録画された範囲を再生していることを示します。
	音声イベントによって録画された範囲を再生していることを示します。
	アラームセンサーイベントによって録画された範囲を再生していることを示します。

再生状態を示すアイコン

アイコン	説明
	このチャンネルの音声が出力されていることを示します。

4 コントロールバー



番号	説明
①	現在の画面分割の状態を示します。また、それぞれのアイコンをマウスで左クリックすることで、分割方法を切り換えます。詳細は「分割表示と 1 画面表示」をご覧ください。 参照→33 ページ
②	このアイコンを左クリックすると、デジタルズーム（画面拡大）機能を開始します。 ^{※1}
③	タイムバーは毎時の録画映像の状態と再生速度を示します。また、黄緑色の部分をマウスで左クリックすることで、おおよその再生開始位置を指定することが出来ます。

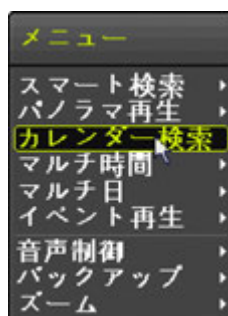
④	逆再生を実行します。再生速度はクリックする度に以下の順で変化します。 ×1→×2→×4→×8→×16→×32→×300→×1 [倍]
⑤	逆コマ送り（コマ戻し）再生を実行します。
⑥	再生を一時停止します。
⑦	コマ送り再生を実行します。
⑧	通常（順方向）再生を実行します。再生速度はクリックする度に以下の順で変化します。 ×1→×2→×4→×8→×16→×32→×300→×1 [倍]
⑨	ライブモードに戻ります。
④～⑧の再生コントロールボタンの色は再生中の状態を示します。  黄色の場合は現在適用されている再生状態を示します。  白色の場合は現在適用されていない再生状態を示します。	

＜ 情 報 ＞

※1. デジタルズーム機能はマウスのホイールを回転させることでも起動できます。分割画面の場合は拡大したいチャンネルの画面にマウスポインターを合わせてからホイールを回してください。1画面表示の状態に変化し拡大が実行されます。

5 再生モード中のメニュー

再生モード中にメニューを起動すると、次の図のような再生メニューが起動します。



1. スマート検索

スマート検索は録画された映像の特定のチャンネルの特定の範囲の中から映像に動きがある時間帯だけを検索することが出来ます。

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (MENU) ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) スマート検索→チャンネル選択

マウス操作の場合は、「スマート検索」の上にマウスポインターを合わせるとメニューの右側にチャンネルリストが表示されますので、このチャンネルリストの中から検索したいチャンネル番号の上にカーソルを合わせてから左クリックします。

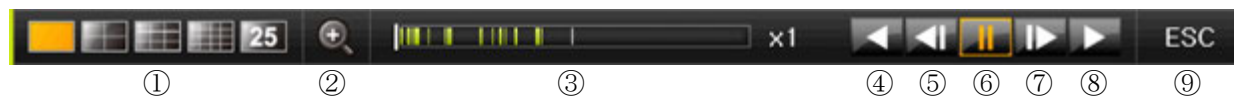
ボタン操作の場合は次の図のように「スマート検索」が強調表示（黄緑色）になっていることを確認してから （右方向）ボタンを押すとチャンネルリストが表示されますので、（上下方向）ボタンで検索したいチャンネルを強調表示にし、 (選択) ボタンを押します。

次の図は CH 03 を選択する場合の操作例です。

が完了すると一時停止状態の再生画面が表示されます。

スマート検索の再生画面では、コントロールバーの「LIVE」ボタンが「ESC」に変わります。

再生コントロールの基本操作は「LIVE」が「ESC」に代わる事以外は再生モードと同じです。



番号	説明
①	現在の画面分割の状態を示します。また、それぞれのアイコンをマウスで左クリックすることで、分割方法を切り換えます。詳細は「分割表示と1画面表示」をご覧ください。 参照→33 ページ
②	このアイコンを左クリックすると、デジタルズーム（画面拡大）機能を開始します。※1 参照→44 ページ
③	タイムバーは毎時の録画映像の状態と再生速度を示します。また、黄緑色の部分をマウスで左クリックすることで、おおよその再生開始位置を指定することが出来ます。 スマート検索時のタイムバーは検索条件に合致した時間帯だけが部分的に黄緑色で表示されます。 検索条件に合致している箇所は黄緑色 検索条件に合致していない箇所は録画されていてもダークグレー
④	逆再生を実行します。再生速度はクリックする度に以下の順で変化します。 ×1→×2→×4→×8→×16→×32→×300→×1 [倍]
⑤	逆コマ送り（コマ戻し）再生を実行します。
⑥	再生を一時停止します。
⑦	コマ送り再生を実行します。
⑧	通常（順方向）再生を実行します。再生速度はクリックする度に以下の順で変化します。 ×1→×2→×4→×8→×16→×32→×300→×1 [倍]
⑨	スマート検索を開始する前の通常の再生モードに戻ります。
④～⑧の再生コントロールボタンの色は再生中の状態を示します。 黄色の場合は現在適用されている再生状態を示します。 白色の場合は現在適用されていない再生状態を示します。	

< 注 意 >

スマート検索は現在再生中の1時間（毎時00分00秒～59分59秒）の範囲に対して実行されます。再生モードで、予め検索したい時間帯を再生状態にしてから実行してください。

＜ 情 報 ＞

スマート検索には以下のオプションがあります。

● サーチ方式

「クイックサーチ」は、動きの検知を 30 フレーム間隔でおこないますので、検索は高速ですが被写体の短時間の動きは見逃される場合があります。

「詳細サーチ」は、全てのフレームを使って動きの検知をおこないますので、被写体の短い時間の動きも検知できますが、検索に時間がかかります。



● 感度

動きの検知感度を 5 段階で設定することが出来ます。感度を上げるとより緩やかな動きまで検知できますが、カメラのノイズや被写体の僅かな揺れや振動による誤検知も増えますので、誤検知が少なく適正な感度になるように、被写体の状態やカメラの性能に合わせて設定してください。



● 最小

動きを検知した場合に「検知した」と見なすために最低限必要な同時に検知されなければならない検知エリアの数を選択します。この数値を大きく設定すると、結果的に大きな面積の被写体の動きしか検知できなくなります。



＜ 注 意 ＞

「最小」の値として選択した検知エリアの数より大きい値を選択するとエラーになります。

2. パノラマ再生

パノラマ再生は、ひとつのチャンネルの時間的に連続するフレームの映像を分割画面に並べて再生する機能です。

(1) メニューを開く

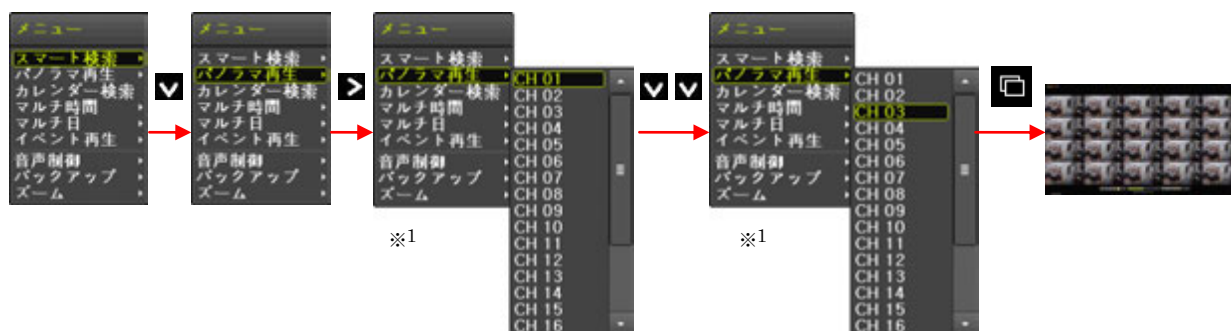
マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (MENU) ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) パノラマ再生→チャンネル選択

マウス操作の場合は、「パノラマ再生」の上にマウスポインターを合わせるとメニューの右側にチャンネルリストが表示されますので、このチャンネルリストの中から検索したいチャンネル番号の上にカーソルを合わせてから左クリックします。

ボタン操作の場合は次の図のように「スマート再生」が強調表示（黄緑色）になっていることを確認してから （下方向）ボタンを押すと「パノラマ再生」が強調表示（黄緑色）になります。 （右方向）ボタンを押すとチャンネルリストが表示されますので、 （上下方向）ボタンで検索したいチャンネルを強調表示にし、 (選択) ボタンを押します。

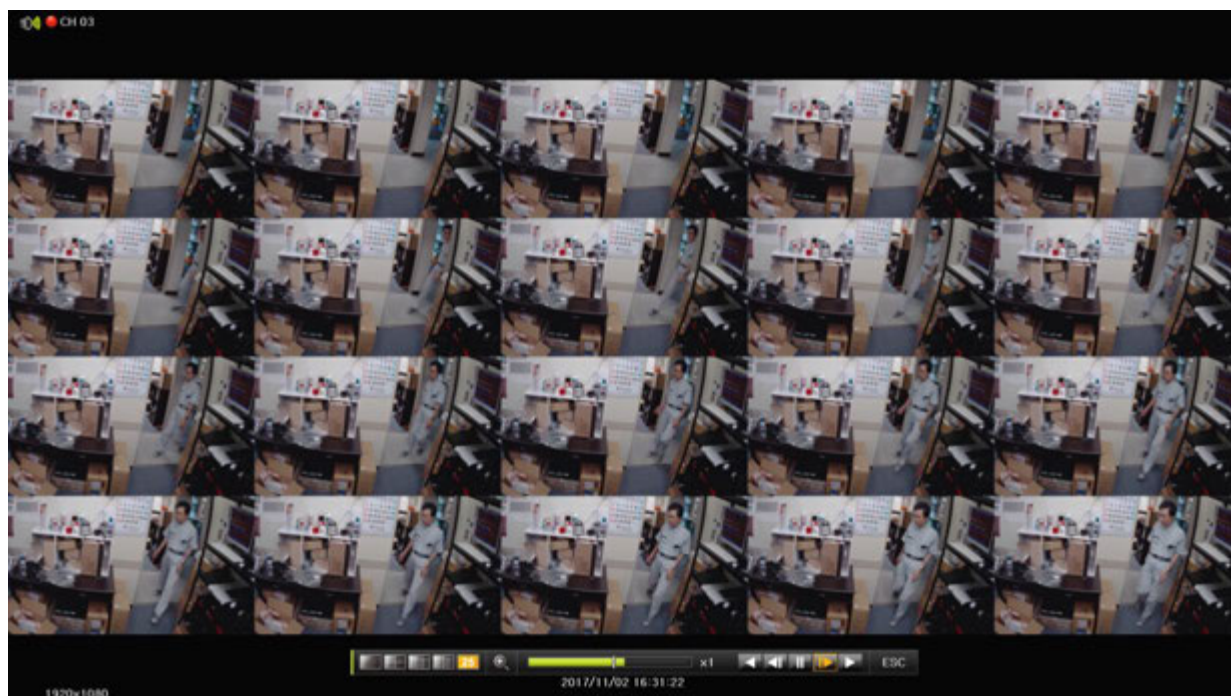
次の図は CH 03 を選択する場合の操作例です。



< 注 意 >

※1. 1 画面表示からパノラマ再生を実行した場合、チャンネル選択メニューは表示されず、現在表示しているチャンネルのパノラマ再生が実行されます。

(3) 再生



3. カレンダー検索

再生メニューからのカレンダー検索は、メニューの開始方法以外はライブモードからのカレンダー検索と同じです。

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は **4** (**MENU**) ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) カレンダー検索を選択

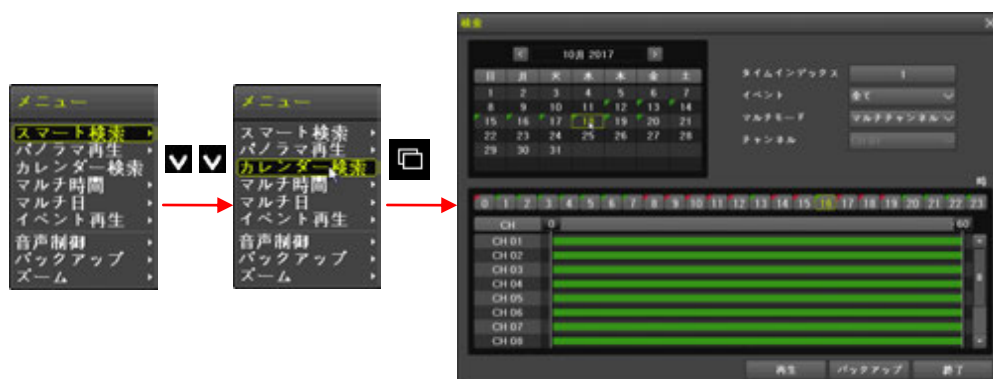
マウス操作の場合は、「カレンダー検索」を左クリックします。

ボタン操作の場合は次の図のように「スマート再生」が強調表示（黄緑色）になっていることを確認してから **▲▼**（上下方向）ボタンで「カレンダー検索」を強調表示にし、**■** (**選択**) ボタンを

押します。

「カレンダー検索」のウィンドウが開いたら、(3)以降の操作はメインメニューからのカレンダー検索と同じです。

参照→27ページ



4. マルチ時間

再生方法をマルチ時間再生に切り換えます。マルチ時間再生とは、分割画面で特定のチャンネルの1時間毎の映像を再生するものです。

再生メニューでマルチ時間再生に切り換えるには、以下の手順で操作します。

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は **4** (**MENU**) ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) マルチ時間を選択

マウス操作の場合は、メニューの「マルチ時間」にマウスポインターを合わせると、その右にチャンネル番号が表示されるので、チャンネル番号を左クリックします。

ボタン操作の場合は次の図のように「スマート再生」が強調表示（黄緑色）になっていることを確認してから **▲▼**（上下方向） ボタンで「マルチ時間」を強調表示にし **▶**（右方向） ボタンを押すとチャンネルリストが表示されますので、**▲▼**（上下方向） ボタンで検索したいチャンネルを強調表示にし、**□** (**選択**) ボタンを押すと、マルチ時間再生を開始します。

次の図は CH 03 を選択する場合の操作例です。



< 注 意 >

※1. 1 画面表示からマルチモードを「マルチ時間」に変更する場合、チャンネル選択メニューは表示されず、現在表示しているチャンネルのマルチ時間再生が実行されます。

● 日付及びタイムインデックスをまたぐマルチ時間再生はできません。

5. マルチ日

再生方法をマルチ日再生に切り換えます。マルチ日再生とは、分割画面で特定のチャンネルの1日毎の映像を再生するものです。

再生メニューでマルチ日再生に切り換えるには、以下の手順で操作します。

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は **4** (**MENU**) ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) マルチ日を選択

マウス操作の場合は、メニューの「マルチ日」にマウスポインターを合わせると、その右にチャンネル番号が表示されるので、チャンネル番号を左クリックします。

ボタン操作の場合は次の図のように「スマート再生」が強調表示（黄緑色）になっていることを確認してから **▲▼**（上下方向） ボタンで「マルチ日」を強調表示にし **▶**（右方向） ボタンを押すとチャンネルリストが表示されますので、**▲▼**（上下方向） ボタンで検索したいチャンネルを強調表示にし、**□** (**選択**) ボタンを押すと、マルチ日再生を開始します。

次の図は CH 03 を選択する場合の操作例です。



< 注 意 >

※1. 1 画面表示からマルチモードを「マルチ日」に変更する場合、チャンネル選択メニューは表示されず、現在表示しているチャンネルのマルチ日再生が実行されます。

● 月及びタイムインデックスをまったくマルチ日再生はできません。

6. イベント再生

再生メニューのイベント再生機能は、現在再生中の映像から、イベント録画された時間帯だけを抽出し再生する機能です。

イベント再生は以下の手順で操作します。

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は **4** (**MENU**) ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) イベント再生から特定のイベントの種類を選択する

マウス操作の場合は、メニューの「イベント再生」にマウスポインターを合わせると、その右にイベントの種類が表示されるので、希望するイベントの種類を左クリックします。

ボタン操作の場合は次の図のように「スマート再生」が強調表示（黄緑色）になっていることを確

認してから **▲▼**（上下方向） ボタンで「イベント再生」を強調表示にし **▶**（右方向） ボタンを押すとイベントの種類が表示されますので、**▲▼**（上下方向） ボタンで再生したいイベントの種類を強調表示にし、**□**（**選択**） ボタンを押すと、選択したイベントの種類でイベント再生を開始します。

次の図はモーションを選択する場合の操作例です。



< 情報 >

- イベント再生を選択すると、タイムバーにもイベント録画の発生した時間帯だけが表示されるようになります。



x1

イベント未選択



x1

イベント選択後

- イベントの種類として「全て」を選択するとイベント録画ではない通常の録画を含む全ての映像を選択したことになります。（イベント再生の解除）

7. 音声制御

再生時の音声出力を以下の手順で消音することが出来ます。また、同じ操作を再度繰り返すことで消音を解除できます。

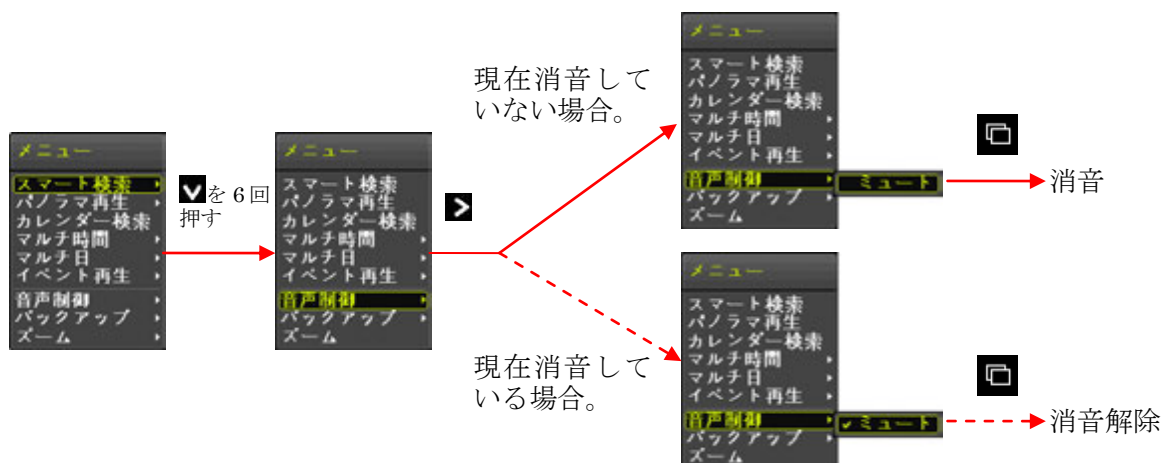
(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は **■**（**MENU**） ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) 音声制御からミュートを選択する

マウス操作の場合は、メニューの「音声制御」にマウスポインターを合わせると、その右に「ミュート」が表示されるので、これを左クリックします。

ボタン操作の場合は次の図のように「スマート再生」が強調表示（黄緑色）になっていることを確認してから **▲▼**（上下方向） ボタンで「音声制御」を強調表示にし **▶**（右方向） ボタンを押すと「ミュート」が表示されますので、**□**（**選択**） ボタンを押すと、消音します。（現在消音中の場合は消音を解除します）



＜ 情 報 ＞

現在の消音状態は画面上のアイコンでも確認できます。

	現在消音していない状態であることを示します。
	現在消音している状態であることを示します。

8. バックアップ

再生メニューのバックアップ機能は、録画用 HDD に記録された映像を動画で USB メモリーに保存することが出来ます。

バックアップ時刻の範囲は現在再生中の時刻の直前 5 分間が初期状態として入力されますが、適宜変更することが出来ます。

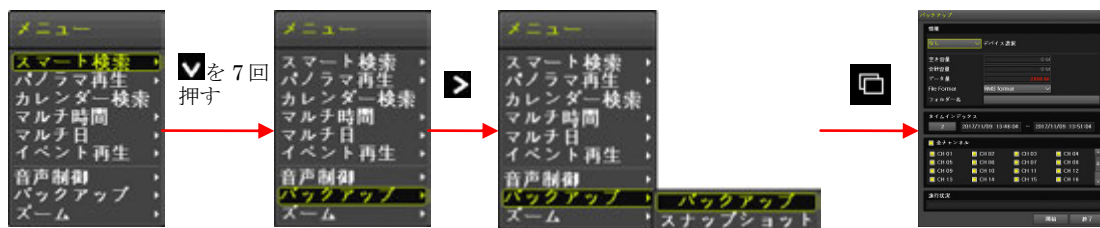
バックアップは以下の手順で操作します。

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (**MENU**) ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) バックアップから「バックアップ」を選択する

マウス操作の場合は、メニューの「バックアップ」にマウスポインターを合わせると、その右に「バックアップ」と「スナップショット」が表示されるので、「バックアップ」を左クリックします。ボタン操作の場合は次の図のように「スマート再生」が強調表示（黄緑色）になっていることを確認してから  （上下方向） ボタンで「バックアップ」を強調表示にし （右方向） ボタンを押すと「バックアップ」と「スナップショット」が表示され「バックアップ」が選択された状態になりますので、 (**選択**) ボタンを押すと、「バックアップ」ウィンドウが開きます。



バックアップウィンドウ内の操作については、「バックアップ」メニューの「バックアップ」を参照してください。

参照 → 45 ページ

9. スナップショット

再生メニューのスナップショット機能は、現在再生中の画像を静止画で USB メモリーに保存することが出来ます。

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (**MENU**) ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) バックアップからスナップショットを選択する

マウス操作の場合は、メニューの「バックアップ」にマウスポインターを合わせると、その右に「バックアップ」と「スナップショット」が表示されるので、「スナップショット」を左クリックしま

す。

ボタン操作の場合は次の図のように「スマート再生」が強調表示（黄緑色）になっていることを確認してから **▲▼**（上下方向） ボタンで「バックアップ」を強調表示にし **▶**（右方向） ボタンを押すと「バックアップ」と「スナップショット」が表示されたら **▲▼**（上下方向） ボタンで「スナップショット」を強調表示にし、**■**（**選択**） ボタンを押すと、「デバイス情報」ウィンドウが開きます。



デバイス情報ウィンドウでは接続されている USB メモリーが 1 つの場合は「デバイス 1」を左クリックするか「デバイス 1」を強調表示にして **■**（**選択**） ボタンを押すことでスナップショットの保存が実行されます。（USB メモリーが 2 つ接続されている場合は **▲▼**（上下方向） ボタンで選択してください）

10. ズーム

再生メニューのズーム機能は、現在再生中の映像の中から、特定チャンネルの映像を拡大表示します。

(1) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は **■**（**MENU**） ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

(2) ズームからチャンネルを選択

マウス操作の場合は、メニューの「ズーム」にマウスポインターを合わせると、その右にチャンネル番号が表示されるので、チャンネル番号を左クリックします。

ボタン操作の場合は次の図のように「スマート再生」が強調表示（黄緑色）になっていることを確認してから **▲▼**（上下方向） ボタンで「ズーム」を強調表示にし **▶**（右方向） ボタンを押すとチャンネルリストが表示されますので、**▲▼**（上下方向） ボタンで検索したいチャンネルを強調表示にし、**■**（**選択**） ボタンを押すと、ズームを開始します。

次の図は CH 03 を選択する場合の操作例です。



＜ 注 意 ＞

※1. 1画面表示から再生メニューのズームに入る場合、チャンネル選択メニューは表示されず、現在表示しているチャンネルのズーム再生が実行されます。

● ズーム機能動作中の表示

ズーム機能動作中は次の図のように画面右下に画面全体を縮小したプレビューウィンドウが表示され、画面のどの位置を拡大表示しているのかを黄色の枠で表示します。



×1

×1.33

×2

×4

● ズーム機能動作中の操作

ズーム機能動作中の操作は次表のような動作になります。

マウス	ボタン	動作説明
黄色い枠をドラック＆ドロップ	▲▼◀▶ (上下左右方向)	画面上の拡大範囲を上下左右に移動します。
ホイール（左右ボタンの間にあるダイヤル）を回す	⏏ (選択)	ズーム倍率を「×2→×4→×1→×1.33→×2…」の順で切り換えます。
右クリック	⏏ (ESC)	ズーム機能を終了します。

＜ 情 報 ＞

- ズーム機能動作中でも、再生コントロール（再生方向や再生速度の制御）の方法は通常再生時と同じです。
- ズーム機能動作中は再生チャンネルの変更は出来ません。一旦ズーム機能を終了してから、希望するチャンネルで再度ズーム機能を開始してください。
- 分割画面のままでのズームはできません。

3 バックアップ

「バックアップ」メニューでは、録画された映像情報・ログ情報・設定情報を USB メモリーに保存することが出来ます。

1 バックアップ

「バックアップ」サブメニューでは、録画された映像情報を動画で USB メモリーに保存することが出来ます。

(1) USB メモリーを接続する

本機の前面パネル左側にある USB コネクタに USB メモリーを差し込みます。コネクタは二つあり、どちらでも利用できます。

(2) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は ■ (MENU) ボタンを押すと、「メニュー」

ウィンドウが表示されます。

(3) バックアップを選択する

マウス操作の場合は、メニュー左上の「バックアップ」にマウスポインターを合わせるとバックアップメニューが表示されますので、その中から「バックアップ」を左クリックします。

ボタン操作の場合は **< >** (左右方向) ボタンで「バックアップ」を強調表示にしてから **[選択]** ボタンを押すと、「バックアップ」ウィンドウが開きます。



(4) デバイスを選択する

デバイス選択は「デバイス 1」または「デバイス 2」を選択します。

マウス操作の場合、「デバイス選択」の左側の枠内を左クリックして選択肢を表示させてから「デバイス 1」または「デバイス 2」を左クリックします。

ボタン操作の場合、**↑ ↓ < >** (上下左右方向) ボタンで「デバイス選択」の左側の枠を強調表示にしてから **[選択]** ボタンを押すと、選択肢が表示されますので、選択肢から **↑ ↓** (上下方向) ボタンで「デバイス 1」または「デバイス 2」を選択してから **[選択]** ボタンで決定します。

次の図の例では USB メモリーを 1 つ接続した状態で「デバイス 1」を選択しています。



< 注 意 >

- USB ポートに USB メモリーを差し込んでいない場合は「なし」しか選択できません。
- USB ポートに USB メモリーが 1 つだけの場合は「デバイス 2」は選択できません。
- USB メモリーがフォーマットされていない場合や FAT32 以外のファイルシステムでフォーマットされている場合、フォーマットを促す表示が出ますので、表示の指示に従ってフォーマットしてからバックアップを開始してください。
- USB メモリーをフォーマットすると USB メモリー内の既存のデータは全て失われますので消えては困るデータがある場合は、作業を中止してください。

(5) ファイル形式を選択する

USB メモリーに保存する動画ファイルの形式を選択できます。

マウス操作の場合、「ファイル形式」の右側の枠内を左クリックして選択肢を表示させてから「RMS

形式」または「AVI 形式」を左クリックします。

ボタン操作の場合、**▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンで「ファイル形式」の右側の枠を強調表示にしてから **□**（**選択**）ボタンを押すと、選択肢が表示されますので、選択肢から **▲▼**（上下方向）ボタンで「RMS 形式」または「AVI 形式」を選択してから **□**（**選択**）ボタンで決定します。

次の図の例では RMS 形式から AVI 形式に変更しています。

最初に表示された状態で変更の必要がなければ、この設定の操作は必要ありません。



(6) 必要な場合はフォルダ名を入力する

バックアップした動画ファイルを保存するフォルダ名を入力できます。通常、フォルダ名はバックアップ範囲の日時とタイムインデックスから自動的に生成されますので、特に必要がある場合以外は入力の必要はありません。

マウス操作の場合、「フォルダ名」の右側の枠内を左クリックすると、フォルダ名を入力するためのウィンドウが表示されますので、表示されているボタンを左クリックする方法で入力後、**保存して終了**を左クリックします。

ボタン操作の場合、**▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンで「フォルダ名」の右側の枠を強調表示にしてから **□**（**選択**）ボタンを押すと、フォルダ名を入力するためのウィンドウが表示されますので、**▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンと **□**（**選択**）ボタンを使ってフォルダ名を入力します。



文字入力の方法は「バーチャルキーパッド」を参照してください。

参照→17 ページ

(7) 必要な場合はタイムインデックスを選択する

時計合わせをして日時が重複したデータある場合、タイムインデックスを選択することで時計合わせの前後の録画データを選択することが出来ます。「タイムインデックス」については「用語の定義」をご覧ください。

参照→10 ページ

マウス操作の場合、「タイムインデックス」の下側の枠内を左クリックすると、タイムインデック

スを選択するためのウィンドウが表示されますので、表示されたタイムインデックスの中から、バックアップしたいタイムインデックスの行を左クリックします。

ボタン操作の場合、**▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンで「タイムインデックス」の下側の枠を強調表示にしてから **☐** (**選択**) ボタンを押すと、タイムインデックスを選択するためのウィンドウが表示されますので、**▲▼**（上下方向）ボタンと **☐** (**選択**) ボタンを使ってタイムインデックスを選択します。



(8) バックアップ範囲の日時を選択する

バックアップ範囲の日時は左側が開始日時、右側が終了日時です。

マウス操作の場合、「タイムインデックス」の右下にある二つの日時のどちらかを左クリックして開始日時または終了日時を選択してから年・月・日・時・分・秒のいずれかを左クリックすると、その数値の上下に **▲▼**（増減）ボタンが現れるので、それを左クリックして数値を増減させる方法で開始および終了日時を変更してください。

ボタン操作の場合、**▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンで、「タイムインデックス」の右下にある二つの日時のいずれかの日時を強調表示にしてから **☐** (**選択**) ボタンを押すと「年」の上下に **▲▼**（増減）ボタンが現れるので、**▲▼**（上下方向）ボタンで数値を変更してください。年・月・日・時・分・秒の移動には **◀▶**（左右方向）ボタンを使います。



開始日時を選択した状態

終了日時を選択した状態

(9) バックアップ対象のチャンネルを選択する

バックアップ対象に含めるチャンネルを選択します。

マウス操作の場合は、切り換えたいチャンネル番号を左クリックします。

ボタン操作の場合は、**↑↓←→**（上下左右方向）ボタンで、切り換えたいチャンネル番号を強調表示にしてから **□** (**選択**) ボタンを押します。



ボタン操作で CH 07 を強調表示にした例

「全チャンネル」を左クリックまたは「全チャンネル」で **□** (**選択**) ボタンを押すと、全てのチャンネルの選択または解除が出来ます。

(10) データ量を確認する

全ての項目の設定が済んだら、データ量を確認します。「データ量」が「空き容量」より大きい場合、データ量の数値は**赤色**で表示され、空き容量が足りないことを警告します。バックアップ範囲の時間を短縮するかチャンネル数を減らしてバックアップ可能な容量に調整してください。

(11) バックアップを開始する

マウス操作の場合は、**開始** ボタンを左クリックすると、「バックアップしますか？」の確認画面が出ますので、**はい** を左クリックするとバックアップが始まります。

ボタン操作の場合は、**↑↓←→**（上下左右方向）ボタンで、**開始** ボタンを強調表示にしてから **□** (**選択**) ボタンを押すと「バックアップしますか？」の確認画面が出ますので、**□** (**選択**) ボタンを押すとバックアップが始まります。



なお、確認画面の「いいえ」または「キャンセル」を選んだ場合は確認画面を閉じてバックアップウィンドウに戻ります。

(12) バックアップを終了する

バックアップが終わると、バックアップウィンドウが消え、「バックアップ終了」の表示が出ます。

この表示を消すには、マウス操作の場合は **OK** ボタンを左クリックします。ボタン操作の場合は **[選択]** ボタンを押します。



< 情 報 >

RMS 形式と AVI 形式には、それぞれに特徴がありますので、適切なファイル形式を選択してご利用ください。

ファイル形式	特徴
RMS 形式	● 本機専用の動画ファイル形式です。 ● 録画された日時表示と一緒に複数のチャンネルの映像を同時に見ることが出来ます。 ● 録画映像の再生には Windows 用の専用ソフトウェア「BackupPlayer.exe」が必要です。「BackupPlayer.exe」はバックアップ時に USB メモリーに同時にインストールされます。 ● Windows 以外の OS での再生はサポートされていません。
AVI 形式	● 一般に広く普及した汎用の動画ファイル形式です。 ● 録画された日時を表示することや複数のチャンネルの映像を同時に見ることが出来ません。 ● 録画映像の再生には汎用の H.264(x264)コーデックの AVI ファイルを再生可能な動画再生ソフトが利用できます。「BackupPlayer.exe」もバックアップ時に USB メモリーに同時にインストールされますが、AVI 形式のファイルを再生することは出来ません。 ● Windows 以外の OS であっても、H.264 (x264) コーデックの AVI ファイルを再生可能な動画再生ソフトがあれば再生できる場合があります。

＜ 注 意 ＞

- バックアップを開始したら「バックアップ終了」の表示が出るまで USB メモリーを抜かないでください。バックアップ中に USB メモリーを抜くと、データの消失や機器の誤作動、最悪の場合は機器の故障に繋がる恐れがあります。
- USB ポートに USB メモリーを差し込んでいない場合は「デバイス選択」で「なし」しか選択できません。
- USB ポートに USB メモリーが 1 つだけの場合は「デバイス選択」で「デバイス 2」は選択できません。
- USB メモリーがフォーマットされていない場合や FAT32 以外のファイルシステムでフォーマットされている場合、フォーマットを促す表示が出ますので、表示の指示に従ってフォーマットしてからバックアップを開始してください。
- USB メモリーをフォーマットすると USB メモリー内の既存のデータは全て失われますので消えては困るデータがある場合は、作業を中止してください。
- 本機でバックアップされた AVI ファイルを Windows のパソコンで再生する場合、Windows 7 以降の OS をご利用ください。H.264 再生用コーデックを持っていない古い Windows では再生できない場合があります。
- AVI ファイルの再生に使用する汎用動画再生ソフトを選定する場合、2560×1440 以上の解像度に対応しているソフトをご使用ください。
- 開始日時と終了日時は、単一のタイムインデックス内の日時でなければなりません。複数のタイムインデックスにまたがった日時を指定することはできません。
- 開始日時として、現在表示されている終了日時より新しい日時を選択することはできません。そのような設定をしたい場合は終了日時から先に選択してください。
- 終了日時として、現在表示されている開始日時より古い日時を選択することはできません。そのような設定をしたい場合は開始日時から先に選択してください。

2 スナップショット

「スナップショット」サブメニューでは、ライブ映像を静止画で USB メモリーに保存できます。

録画された映像のスナップショットを保存する場合は、再生メニューのスナップショット機能をご利用ください。

参照→43 ページ

(1) USB メモリーを接続する

本機の前面パネル左側にある USB コネクタに USB メモリーを差し込みます。コネクタは二つあり、どちらでも利用できます。

(2) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は **■** (**MENU**) ボタンを押すと、メニューウィンドウが表示されます。

(3) スナップショットを選択する

マウス操作の場合は、メニュー左上の「バックアップ」にマウスポインターを合わせるとバックアップメニューが表示されますので、その中から「スナップショット」を左クリックします。

ボタン操作の場合は◀▶（左右方向） ボタンでバックアップメニューを表示させ▲▼（上下方向） ボタンで「スナップショット」を強調表示にしてから☐（選択） ボタンを押します。
「スナップショット作成中」表示の後に「デバイス情報」ウィンドウが開きます。



(4) デバイスを選択する

「デバイス情報」ウィンドウでは接続されている USB メモリーが 1 つの場合は「デバイス 1」を左クリックするか「デバイス 1」を強調表示にして☐（選択） ボタンを押すことでスナップショットの保存が実行されます。（USB メモリーが 2 つ接続されている場合は▲▼（上下方向） ボタンで選択してください）



< 注 意 >

- USB メモリーが差し込まれていない状態では、スナップショットの作成はできません。

3 ログ保存

「ログ保存」サブメニューでは、本機の動作状態を記録したログを USB メモリーに保存できます。

(1) USB メモリーを接続する

本機の前面パネル左側にある USB コネクタに USB メモリーを差し込みます。コネクタは二つあり、どちらでも利用できます。

(2) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は■（MENU） ボタンを押すと、メニューウィンドウが表示されます。

(3) ログ保存を選択する

マウス操作の場合は、メニュー左上の「バックアップ」にマウスポインターを合わせるとバックアップメニューが表示されますので、その中から「ログ保存」を左クリックします。

ボタン操作の場合は◀▶（左右方向） ボタンでバックアップメニューを表示させ▲▼（上下方向） ボタンで「ログ保存」を強調表示にしてから☐（選択） ボタンを押します。



(4) デバイスを選択する

デバイス選択は「デバイス 1」または「デバイス 2」を選択します。

マウス操作の場合、「デバイス選択」の左側の枠内を左クリックして選択肢を表示させてから「デバイス 1」または「デバイス 2」を左クリックします。

ボタン操作の場合、**▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンで「デバイス選択」の左側の枠を強調表示にしてから **□** (**選択**) ボタンを押すと、選択肢が表示されますので、選択肢から **▲▼**（上下方向）ボタンで「デバイス 1」または「デバイス 2」を選択してから **□** (**選択**) ボタンで決定します。

次の図の例では USB メモリーを 1 つ接続した状態で「デバイス 1」を選択しています。



< 注 意 >

- USB ポートに USB メモリーを差し込んでいない場合は「なし」しか選択できません。
- USB ポートに USB メモリーが 1 つだけの場合は「デバイス 2」は選択できません。
- USB メモリーがフォーマットされていない場合や FAT32 以外のファイルシステムでフォーマットされている場合、フォーマットを促す表示が出ますので、表示の指示に従ってフォーマットしてからバックアップを開始してください。
- USB メモリーをフォーマットすると USB メモリー内の既存のデータは全て失われますので消えては困るデータがある場合は、作業を中止してください。

(5) 必要な場合はタイムインデックスを選択する

時計合わせをして日時が重複したデータある場合、タイムインデックスを選択することで時計合わせの前後の録画データを選択することが出来ます。タイムインデックスの詳細については「用語の定義」のページを参照してください。

参照→10 ページ

マウス操作の場合、「タイムインデックス」の下側の枠内を左クリックすると、タイムインデックスを選択するためのウィンドウが表示されますので、表示されたタイムインデックスの中から、バックアップしたいタイムインデックスの行を左クリックします。

ボタン操作の場合、**▲▼◀▶**（上下左右方向）ボタンで「タイムインデックス」の下側の枠を強調表示にしてから **□** (**選択**) ボタンを押すと、タイムインデックスを選択するためのウィンドウが表示されますので、**▲▼**（上下方向）ボタンと **□** (**選択**) ボタンを使ってタイムインデックスを選択します。



(6) ログ保存範囲の日付を選択する

ログ保存範囲の日時は左側が開始日、右側が終了日です。

マウス操作の場合、「タイムインデックス」の右下にある二つの日付のどちらかを左クリックして開始日または終了日を選択してから年・月・日のいずれかを左クリックすると、その数値の上下に ▲ ▼ (増減) ボタンが現れるので、それを左クリックして数値を増減させる方法で開始および終了日を変更してください。

ボタン操作の場合、▲▼◀▶ (上下左右方向) ボタンで、「タイムインデックス」の右下にある二つの日付のいずれかの日付を強調表示にしてから □ (選択) ボタンを押すと「年」の上下に ▲ ▼ (増減) ボタンが現れるので、▲▼ (上下方向) ボタンで数値を変更してください。年・月・日の移動には ◀▶ (左右方向) ボタンを使います。



開始日を選択した状態



終了日を選択した状態



増減ボタン

(7) イベントの種別を選択する

ログ保存対象に含めるイベントの種別を選択します。

マウス操作の場合は、切り換えたいイベントの種別を左クリックします。

ボタン操作の場合は、▲▼◀▶ (上下左右方向) ボタンで、切り換えたいイベントの種別を強調表示にしてから □ (選択) ボタンを押します。



ボタン操作で「通信」を強調表示にした例

「全イベント」を左クリックまたは「全イベント」で  (選択) ボタンを押すと、全てのイベントの選択または解除が出来ます。

イベントの種別は次表に示します。

種別	説明
エラー	ビデオロス・ネットワーク接続失敗等をシステムの動作異常に関するログ。
通信	ネットワークログイン・ネットワークログアウト及びネットワークライブ等のネットワーク動作に関するログ。
録画	モーション検知・センサー検知及び音声検知等の録画に関するログ。
ノーマル	電源オン／オフ・バックアップ・設定変更・再生等の通常動作に関するログ ビデオオン（ビデオロスからの復旧）も含まれます。
全て	上記全てのログ

(8) データ量を確認する

全ての項目の設定が済んだら、データ量を確認します。「データ量」が「空き容量」より大きい場合、データ量の数値は**赤色**で表示され、空き容量が足りないことを警告します。バックアップ範囲の時間を短縮するかチャンネル数を減らしてバックアップ可能な容量に調整してください。

(9) ログ保存を開始する

マウス操作の場合は、 ボタンを左クリックすると、「バックアップしますか？」の確認画面が出ますので、 を左クリックするとログ保存が始まります。

ボタン操作の場合は、 (上下左右方向) ボタンで、 ボタンを強調表示にしてから  (選択) ボタンを押すと「バックアップしますか？」の確認画面が出ますので、 ボタンを押すとバックアップが始まります。

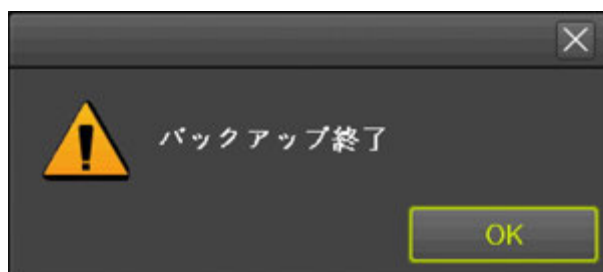


なお、確認画面の「いいえ」または「キャンセル」を選んだ場合は確認画面を閉じてバックアップウィンドウに戻ります。

(10) ログ保存を終了する

ログ保存が終わると「ログ保存」ウィンドウが消え、「バックアップ終了」の表示が出ます。

この表示を消すには、マウス操作の場合は **OK** ボタンを左クリックします。ボタン操作の場合は  (**選択**) ボタンを押します。



< 注 意 >

- ログ保存を開始したら「バックアップ終了」の表示が出るまで USB メモリーを抜かないでください。バックアップ中に USB メモリーを抜くと、データの消失や機器の誤作動、最悪の場合は機器の故障に繋がる恐れがあります。
- USB ポートに USB メモリーを差し込んでいない場合は「デバイス選択」で「なし」しか選択できません。
- USB ポートに USB メモリーが 1 つだけの場合は「デバイス選択」で「デバイス 2」は選択できません。
- USB メモリーがフォーマットされていない場合や FAT32 以外のファイルシステムでフォーマットされている場合、フォーマットを促す表示が出ますので、表示の指示に従ってフォーマットしてからバックアップを開始してください。
- USB メモリーをフォーマットすると USB メモリー内の既存のデータは全て失われますので消えては困るデータがある場合は、作業を中止してください。
- 開始日と終了日は、単一のタイムインデックス内の日時でなければなりません。複数のタイムインデックスにまたがった日付を指定することはできません。
- 開始日として、現在表示されている終了日より新しい日付を選択することはできません。そのような設定をしたい場合は終了日から先に選択してください。
- 終了日として、現在表示されている開始日より古い日付を選択することはできません。そのような設定をしたい場合は開始日から先に選択してください。

4 設定データ保存

「設定データ保存」サブメニューでは、本機の設定情報を USB メモリーに保存できます。

(1) USB メモリーを接続する

本機の前面パネル左側にある USB コネクタに USB メモリーを差し込みます。コネクタは二つあり、どちらでも利用できます。

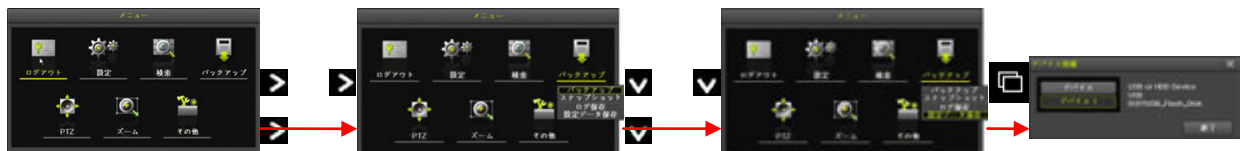
(2) メニューを開く

マウス操作の場合は右クリック、ボタン操作の場合は  (**MENU**) ボタンを押すと、メニューウィンドウが表示されます。

(3) 設定データ保存を選択する

マウス操作の場合は、メニュー左上の「バックアップ」にマウスポインターを合わせるとバックアップメニューが表示されますので、その中から「設定データ保存」を左クリックします。

ボタン操作の場合は   (左右方向) ボタンでバックアップメニューを表示させ   (上下方向) ボタンで「設定データ保存」を強調表示にしてから  (**選択**) ボタンを押すと「デバイス情報」ウィンドウが開きます。



(4) デバイスを選択する

「デバイス情報」ウィンドウでは接続されている USB メモリーが 1 つの場合は「デバイス 1」を左クリックするか「デバイス 1」を強調表示にして  (**選択**) ボタンを押すことでスナップショットの保存が実行されます。(USB メモリーが 2 つ接続されている場合は   (上下方向) ボタンで選択してください)



< 注 意 >

- 設定データ保存機能では、ネットワーク情報等一部保存されない設定項目があります。

V 設定と高度な機能

< 注 意 >

この章で取り扱う内容は、設置業者や情報機器に関する習熟度の高いユーザーを対象としております。また、内容量も非常に多くなっております。従いまして、紙面の都合上マウス操作やボタン操作の基本など、本機の基本的な操作法に関する説明は可能な限り省いて記述しております。

1 設定

設定メニューは本機と周辺機器に関する環境設定をすることが出来ます。



設定メニューの下部には、一部を除き以下の共通操作ボタンがあります。



ボタン	説明
リセット	現在表示している設定項目を工場出荷時の状態に戻します。
保存	現在編集集中の状態を保存して適用します。
終了	設定メニューを終了します。

1 時間

「時間」設定メニューでは、本機に内蔵された時計に関する設定及び本機を自動的に再起動させるための設定をすることが出来ます。

1. 時刻同期

時刻同期機能は TCP/IP ネットワーク上にある NTP サーバーと呼ばれる時刻源を利用して各国（または地域）の標準時に本機に内蔵された時計を自動で合わせる機能です。



項目		説明
1	時刻同期	時刻同期機能を使用するかしないかを選択します。 オフ：時刻同期機能を利用しません。本機の内蔵時計は自律的に動作します。 NTP：NTP サーバを利用して本機の内蔵時計を定期的に合わせます。
2	NTP	
	サーバータイプ	利用する NTP サーバーのタイプを選択します。 N T P ：インターネット上にある本機の製造元が指定した NTP サーバーを利用します。 ユーザー設定：「サーバーアドレス」に入力された NTP サーバーを利用します。
	サーバーアドレス	「サーバータイプ」で「ユーザー設定」を選択した場合に利用する NTP サーバーのアドレスを入力します。
3	修正[回/日]	1 日の間に本機が NTP サーバーに時刻を問い合わせる回数を 1, 2, 4, 6, 24 [回] から選択できます。

< 注 意 >

- 時刻同期機能を利用するためには、本機の「ETHERNET 1」ポートがインターネットを含む NTP サーバーを利用可能な TCP/IP ネットワークに接続され、適切なネットワーク設定が施されていなければなりません。
- NTP サーバーに接続できない環境では時刻同期機能を利用しないでください。「オフ」の場合より時計のズレが大きくなる場合があります。

2. 日時

「日時」タブでは本機に内蔵された時計を手動で合わせることが出来ます。



項目	説明
1 日時	修正する日時を選択します。
2 日付表示形式	日付の表示形式を「日/月/年」「月/日/年」「 <u>年/月/日</u> 」から選択できます。

< 注 意 >

- 時刻同期が「NTP」に設定されている場合、手作業で日時を修正することはできません。

3. タイムゾーン

「タイムゾーン」は本機を使用する国または地域の標準時と協定世界時（旧グリニッジ標準時）との時差を設定する機能です。この設定は設置時に設定すれば、異なる国や地域に移設しない限り基本的には変更の必要はありません。



項目	説明
1 タイムゾーン	タイムゾーンを本機を設置する国または地域に合わせて使用します。 日本の場合は「 (GMT+09:00) 東京、大阪、札幌 」を選択します。
2 サマータイム	夏時間調整を実施するかどうかを選択します。 オフ ：夏時間調整を実施しません。 オン：夏時間調整を実施します。 日本の場合は「 オフ 」を選択します。
開始日時	夏時間調整の適用を開始する日時を選択します。
終了日時	夏時間調整の適用を終了する日時を選択します。

< 注 意 >

- サマータイムに関する機能は、日本では使用しないため本機を輸入販売するにあたって一切の動作検証を実施しておりません。必ず「オフ」の状態でご使用ください。
- 弊社では、本機を日本国内で使用ことを前提に検査・販売しております。サマータイム機能に関する一切のお問い合わせには応じておりません。

4. 自動再起動

「自動再起動」機能は、本機が起動後に長い期間が経過することによって、システムの動作が不安定になることを回避するために、定期的にシステムの再起動を実行する機能です。



項目	説明
1 自動再起動	自動再起動機能を動作させるかどうかを選択します。 オフ ：自動再起動機能を動作させません。 オン ：自動再起動機能を動作させます。
再起動時刻	自動再起動を実行する時刻を 0～23 時の範囲から 1 時間刻みで一つだけ選択できます。工場出荷時の初期値は「 00:00 」です。
繰り返し	自動再起動を実行する周期を「 毎日 」「毎週日曜日」「毎週月曜日」「毎週火曜日」「毎週水曜日」「毎週木曜日」「毎週金曜日」「毎週土曜日」から選択できます。

< 注 意 >

- 自動再起動は正時（指定された時刻の 00 分 00 秒）に実行されます。
- 自動再起動が実行されると、1 分から長い場合は数分程度、録画を含む全ての動作が一時的に中断します。
- 自動再起動が設定されているかどうかに関わらず、本機の自己診断機能によってシステムの異常が検知された場合は、検知された時点で再起動が実行される場合があります。

2 カメラ

「カメラ」設定では本機に接続されるカメラ入力に関する設定が出来ます。

1. カメラ

「カメラ」タブでは接続されるカメラに関する基本的な情報を設定します。



項目	説明
カメラ	入力チャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません)
接続	カメラ入力を使用するかどうかを選択します。 オフ：カメラ入力を使用しません。(映像は表示も録画も遠隔監視も出来なくなります) オン ：カメラ入力を使用します。
名称	カメラ名称を半角 50 文字以内で登録できます。 Web 設定を利用すると、全角 25 文字以内の日本語も登録できます。

2. PTZ

「PTZ」タブでは、PTZ カメラを接続する場合の制御に関する初期設定をすることが出来ます。また、UTC 制御対応カメラを使用する場合、UTC 制御の設定も、ここでおこないます。



項目	説明
カメラ	入力チャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません)
プロトコル	本機が PTZ カメラを制御するためのプロトコル (通信手順) を選択します。また、UTC 制御用のプロトコルが選択された場合には、出力先変更も自動的におこなわれます。
カメラ ID	PTZ 制御に使用する RS422 / 485 アドレスを指定します。(初期値はカメラのチャンネル番号と同じです。)
ボーレート	RS422 / 485 で使用する通信速度を「2400」「4800」「 9600 」「19200」「38400」から選択できます。
アドレス	UTC 機能を持つ TVI 方式のカメラで、アドレスを設定する機能がある場合は、カメラのアドレスと同じアドレスを設定してください。
停止時間	ツアー時の停止時間を「 5 秒 」「10 秒」「15 秒」「20 秒」「ユーザー設定 5～60 秒」から選択できます。ユーザー設定で指定できる時間は 5 秒刻みです。
ツアー	それぞれの PTZ カメラに対して、カメラに登録されているプリセット位置を利用して 2 セットまでのツアーを作成することが出来ます。1 セットのツアーに利用できるプリセット番号は最大 8 箇所です。 ツアーの開始/停止操作は PTZ メニューから実行してください。 参照 →108 ページ

プロトコルの選択肢は 2 階層になっており、選択可能なプロトコルは以下の通りです。

第 1 階層	第 2 階層
なし	
A.D.	SENSOMATIC
COHU	COHU
DONGYANG	D_MAX
	DY-255
DYNACOLOR	GANZ
ERNITEC	ERNA
EYE VIEW	EYEVUEW
FINE SYSTEM	CRR-1600i/s
GE	GE_KALATEL
GSP	CYBERSCAN_I
HITRON	FASTRAX2
HONEYWELL	HSDN-251
I-TECH	PTC-400C
	PTC-400C_OSD
JANEX	PELCO_D_JANEX
LG	LG_MUL_TIX
	LG_OLD

LILIN	LILIN
MIKAMI	MIKAMI
ORIENTAL	ORX-1000
PANASONIC	WVCS854
PELCO	PELCO_D
	PELCO_P
PHILIPS	PHILIPS
PROLINE	PROLINE_UK
LIFATRON	LIFATRON
	SAMMYUNG
SAMSUNG	SCC641
	SPD-1600
SUNGJIN	SUNGJIN
VICON	VICON
VISION_HI_TECH	VISION_HI_TECH
YOKO	YOKO
COAX_PTZ	PELCO_C
COAX_OSD	COAX_OSD

3. POS

< 予定機能 >

< 注 意 >

弊社では POS 機能についてはサポートしておりません。

念のため、不慮の不具合を防止する観点から、設定値は変更しないようにお願いします。



4. イベント

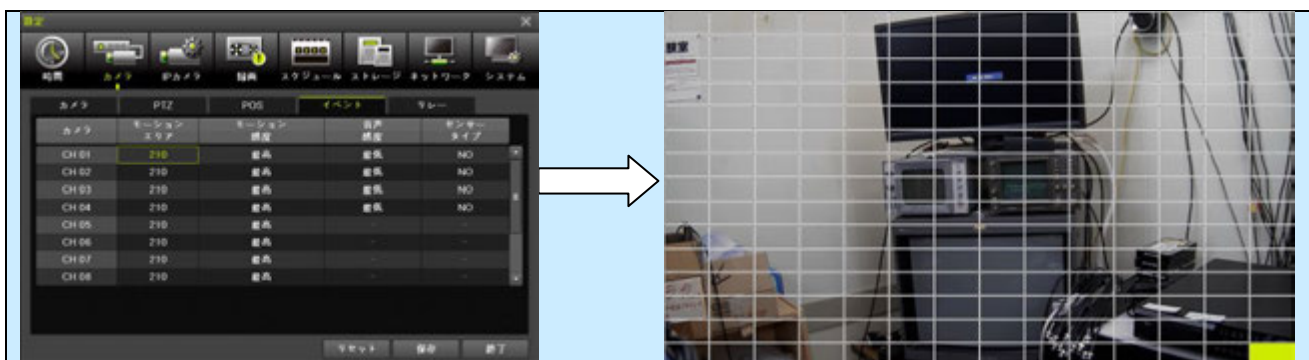
「イベント」タブでは、カメラの各チャンネルに関連したイベントの設定をすることが出来ます。



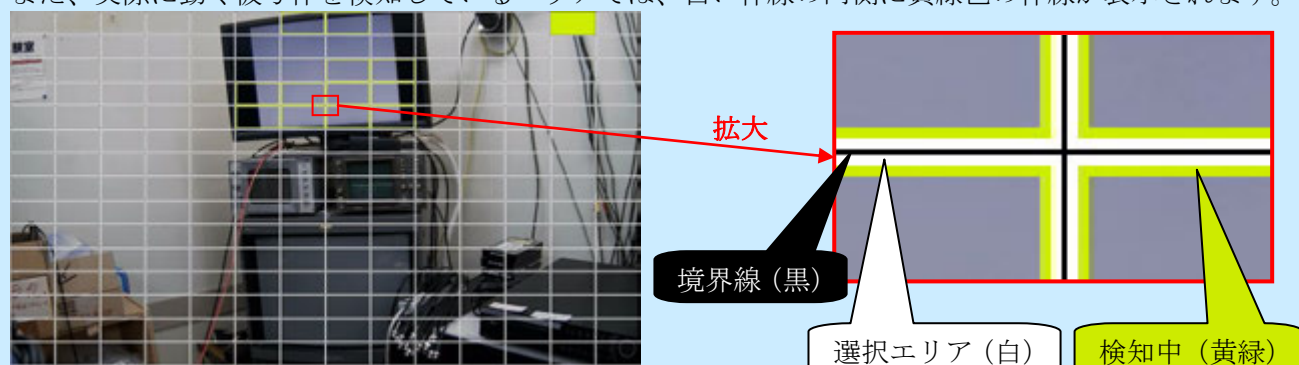
項目	説明
カメラ	入力チャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません)
モーションエリア	モーション検知によるイベントを実行するための検知エリアを変更できます。表内の数値は、そのチャンネルで選択されている検知エリアの升目の数を示します。
モーション感度	モーション検知の感度を「最低」「低」「中」「高」「 最高 」から選択できます。
センサータイプ	アラームセンサーのタイプを「 NO 」「NC」選択できます。 使用するセンサーの取扱説明書の記述に従って正しく設定してください。

< 情 報 >

モーションエリア設定は次のようにモーションエリア列の該当するチャンネル行を選択することで開きます。



範囲の指定は升目を左クリックすることで升目毎に検知エリアの指定と除外を切り換えることができます。選択されている検知エリアは升目の黒い境界線の内側に白い枠線が表示されます。また、実際に動く被写体を検知しているエリアでは、白い枠線の内側に黄緑色の枠線が表示されます。



モーションエリアは、PZ マスクとは異なり、エリアの形状は長方形以外も可能で、選択エリアの数にも制限はありません。PZ マスクと同じように長方形のエリアを指定または解除することもできます。

5. リレー

「リレー」タブではアラームリレーの動作に関する設定をすることができます。



項目	説明
カメラ	リレー出力のチャンネル番号を示します。本機のリレー出力は 1 系統だけですので「リレー 01」と表示されています。
タイプ	このリレー出力の動作モードを「 NO 」「NC」から選択できます。

< 注 意 >

- この「リレー」タブは、カメラメニュー内にあり、項目名にも「カメラ」であることから、カメラのチャンネル番号と関連性があるように見えますが、実際にはカメラのチャンネル番号との関連性はありません。リレー出力のチャンネル番号です。

3 IP カメラ

「IP カメラ」設定では IP カメラ（本機に LAN ケーブルで接続されるカメラ）入力に関する設定が出来ます。本機に IP カメラを接続する場合、遠隔監視等に使用する ETHERNET 1 ポートを利用する方法と、IP カメラ専用の ETHERNET 2 ポートを利用する方法があります。

1. 登録

「登録」タブでは、IP カメラを本機のカメラチャンネルに割り当てます。



項目	説明
カメラ	IP カメラ用に割り当てることが出来るチャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません。)
機種名	チャンネルに登録されている IP カメラの機種名を表示します。
IP	チャンネルに登録されている IP カメラの IP アドレスを表示します。
ポート	チャンネルに登録されている IP カメラのポート番号を表示します。
プロトコル	チャンネルに登録されている IP カメラのストリーミングプロトコルを表示します。
アップグレード	< 予定機能 > IP カメラの F/W アップグレードを実行するための機能です。現在のところ、弊社で取り扱う IP カメラでこの機能に対応した製品はありません。
DHCP IPC リスト	ETHERNET 2 ポートに接続された機器に対して本機の DHCP サーバが IP アドレスを割り当てた MAC アドレスとホスト名のリストを別のウィンドウで表示します。 < 注 意 > ● ホスト名は表示されない場合があります。
検索	本機の ETHERNET 1 及び ETHERNET 2 のネットワークに接続されている IP カメラを検索して、そのリストを別ウィンドウで表示し、カメラチャンネルへの登録を実行できます。

IP カメラをカメラチャンネルに登録する

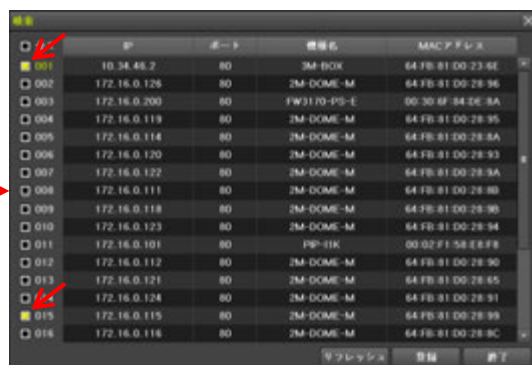
(1) 検索ウィンドウを開く

検索 ボタンで「検索」ウィンドウを開きます。



(2) 表示されたリストの中から登録する IP カメラをチェックする

チェックボックスは複数選択することが出来ます。



(3) 「登録」ウィンドウを開く

右下の「登録」ボタンで「登録」ウィンドウを開きます。



(4) 必要な情報を入力し登録する

登録ウィンドウに次表の項目を選択及び入力します。



項目	説明
チャンネル	選択した IP カメラを割り当てるカメラチャンネルを選択します。
IP	登録しようとしている IP カメラの IP アドレスを表示します。複数のカメラを同時に選択して登録しようとする場合は、この IP アドレスでカメラを識別してください。
ポート	選択した IP カメラのポート番号を指定します。
ID / PW List	IP カメラの初期設定値として比較的多く使用されている ID とパスワードをリスト化したものから ID とパスワードを選択することで、登録作業を簡略化できる機能です。リストを確認して、利用可能な選択肢があれば適宜利用してください。 < 注 意 > インターネットにアクセス可能なネットワーク内で、機器に初期設定されたパスワードを利用することは、ネットワークセキュリティの観点から推薦されません。
ユーザー名	選択した IP カメラの ID を入力します。
PW	選択した IP カメラのパスワードを入力します。
RTSP	IP カメラからの映像転送に使用するトランスポートプロトコルを「TCP」または「UDP」から選択できます。 システム構成に適したプロトコルを選択してください。
プロトコル	< 予定機能 > IP カメラにアクセスするアプリケーションプロトコルを選択するための機能ですが、現在のところ選択可能な選択肢は「ONVIF」のみです。
全て	現在設定中の内容を同時に選択した全ての IP カメラに対して適用します。 このチェックボックスは複数の IP カメラを選択した場合にだけ表示されます。
登録	登録内容を保存してウィンドウを閉じます。
終了	登録内容を保存せずにウィンドウを閉じます。

(5) 映像を確認する

1 画面表示と分割画面表示を切り換えて、登録したチャンネルの映像が正しく表示されるかどうかを確認します。

< 注 意 > ● 1 画面表示と分割画面表示を切り換えながら、動きのある映像が動いて見える（静止画になっていない）ことを必ず確認してください。 ● カメラ設置工事などの際は、秒が読める時計のような、動きを確認できる被写体を用意してください。 ● 動く被写体を用意できない場合は、IP カメラの日時表示機能が利用できることもあります。（使用する IP カメラのマニュアル参照）	
---	--

IP カメラの登録情報を変更する

行を選択して表示されたメニューから「変更」を選択すると、「登録」メニューが表示されます。入力方法は登録の場合と同じです。



IP カメラの登録情報を削除する

行を選択して表示されたメニューから「削除」を選択すると、「削除しますか？」警告が表示されます。「はい」を選択すると削除されます、「いいえ」を選択すると削除を中止します。



IP カメラの映像設定を変更する

行を選択して表示されたメニューから「映像設定」を選択すると、IP カメラの画質を調整するためのメニューが表示されます。



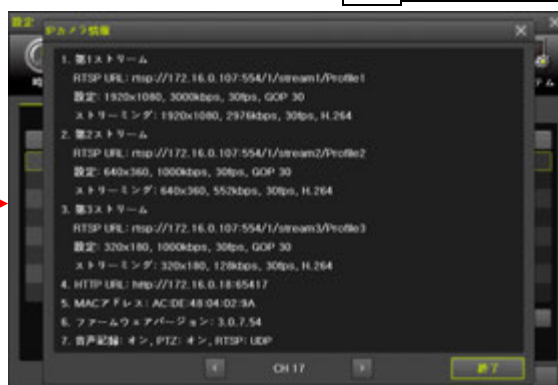
< 注 意 >

- この設定は、IP カメラの持つ設定項目を本機から遠隔操作する機能です。従って、この設定を変更することは、同じ IP カメラに接続している他の装置にも影響を与えます。
- 映像設定は、本機と IP カメラの間で共通する項目だけが操作可能です。IP カメラの全ての映像設定項目を操作できるものではありません。

IP カメラの情報の表示する

行を選択して表示されたメニューから「IP カメラ情報」を選択すると、「IP カメラ情報」ウィンドウが表示されます。このウィンドウは「その他」メニューで表示される「IP カメラ情報」と同じ内容です。

参照→116 ページ



IP カメラを再起動する

行を選択して表示されたメニューから「再起動」を選択すると、「再起動しますか？」ダイアログが表示されます。「はい」を選択すると IP カメラを再起動します。



IP カメラの設定情報を初期化する

行を選択して表示されたメニューから「工場出荷時設定」を選択すると、「工場出荷時設定に戻しますか？」ダイアログが表示されます。「はい」を選択すると IP カメラを工場出荷時設定に戻します。



< 注 意 >

- ネットワーク情報等一部の項目は、この操作では初期化されません。

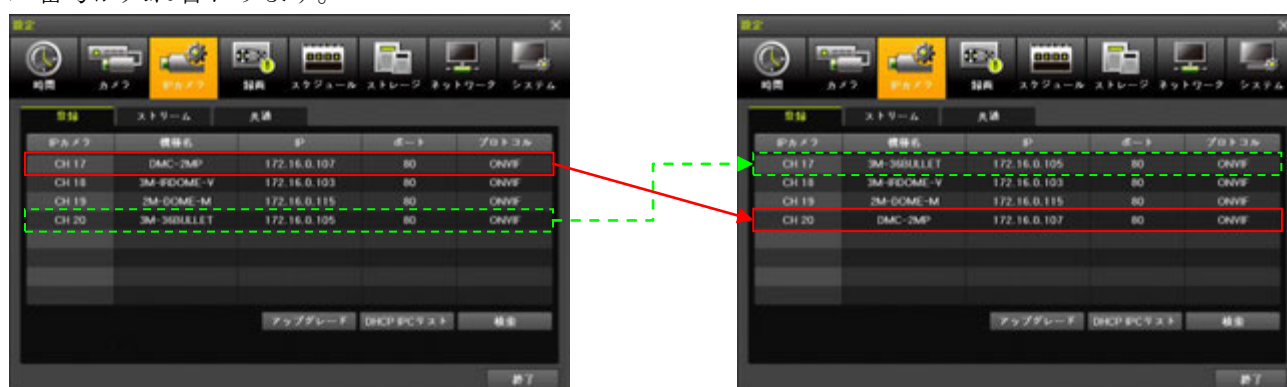
IP カメラに割り当てるカメラチャンネルを変更する

行を選択して表示されたメニューから「CH 変更」を選択してから、変更するチャンネルを選択すると、

「変更しますか？」ダイアログが表示されます。「はい」を選択すると IP カメラを割り当てるカメラチャンネルが変更されます。



変更先のチャンネル番号が既に別の IP カメラに割り当てられている場合は、その IP カメラとチャンネル番号が入れ替わります。



変更前

変更後

2. ストリーム

「ストリーム」タブでは、IP カメラのビデオストリームに関する設定を、本機からおこなうことができます。



項目		説明
第1ストリーム	解像度	第1ストリームの解像度を選択できます。選択肢は接続された IP カメラに依存します。
	ビットレート	第1ストリームのビットレートを選擇できます。単位は[Kbps]です。選択肢は接続された IP カメラに依存します。
	フレームレート	第1ストリームのフレームレートを選擇できます。選択肢は接続された IP カメラに依存します。

第 2 ストリーム	解像度	第 2 ストリームの解像度を選択できます。選択肢は接続された IP カメラに依存します。
	ビットレート	第 2 ストリームのビットレートを選擇できます。単位は[Kbps]です。選択肢は接続された IP カメラに依存します。
	フレームレート	第 2 ストリームのフレームレートを選擇できます。選択肢は接続された IP カメラに依存します。
第 3 ストリーム	解像度	第 3 ストリームの解像度を選択できます。選択肢は接続された IP カメラに依存します。
	ビットレート	第 3 ストリームのビットレートを選擇できます。単位は[Kbps]です。選択肢は接続された IP カメラに依存します。
	フレームレート	第 3 ストリームのフレームレートを選擇できます。選択肢は接続された IP カメラに依存します。

第 1 ～ 3 のそれぞれのストリームは次表のように利用されます。

ストリーム	用途
第 1	● 1 画面表示のライブ表示 ● 「設定」→「録画」→「録画」→「解像度」で、そのチャンネルの「第 1 ストリーム」が選択されている場合の録画（初期設定） ● 「設定」→「ネットワーク」→「帯域」→「IPC ストリーム透過」で「第 1 ストリーム」が選択されている場合の遠隔監視
第 2	● 分割画面表示のライブ表示 ● 「設定」→「録画」→「録画」→「解像度」で、そのチャンネルの「第 2 ストリーム」が選択されている場合の録画 ● 「設定」→「ネットワーク」→「帯域」→「IPC ストリーム透過」で「第 2 ストリーム」が選択されている場合の遠隔監視
第 3	● 「設定」→「録画」→「録画」→「解像度」で、そのチャンネルの「第 3 ストリーム」が選択されている場合の録画

3. 共通

<予定機能>

現在のところ「共通」タブで利用可能な機能はありません。



4 録画

「録画」設定では、録画に関する設定と、アラームイベントに関する設定を「録画設定 1」～「録画設定 4」までの 4 セットまで設定できます。

この 4 セットは「スケジュール」設定を使って曜日と時刻によって必要な録画設定を選択して使用します。**「スケジュール」設定が初期（工場出荷時）設定の場合「録画設定 1」が全ての時間帯に適用されます。**スケジュールの設定については「スケジュール」設定を参照してください。

参照 → 79 ページ

1. イベント

「イベント」タブでは、各録画設定のイベント録画及びアラームイベントを起動するために必要となるイベントを選択します。



項目	説明
カメラ	入力チャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません)
モーション	モーション検知の オン と オフ を選択します。
センサー	センサー検知の オン と オフ を選択します。
音声検知	音声検知の オン と オフ を選択します。
テキスト入力	<予定機能> この機能は利用できません。

2. 録画

「録画」タブでは、HDD に記録する映像や音声等の品質や有無について設定できます。



項目	説明
カメラ	入力チャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません)
解像度	チャンネルの録画解像度を「4MP」「3MP」「1080P」「720P」「960H」「D1」「2CIF」

	「CIF」から選択できます。(初期設定値は接続されるカメラによって変化します)
画質	画質(映像圧縮の程度)を「最低」「低」「中」「 高 」「最高」から選択できます。
通常記録レート	通常記録(連続録画)のフレームレートを1～30[FPS]から選択できます。接続されるカメラの組み合わせによって16以上は選択できなくなる場合があります。
イベント記録レート	イベント記録(録画)のフレームレートを1～30[FPS]から選択できます。接続されるカメラの組み合わせによって16以上は選択できなくなる場合があります。
音声記録	音声録音のオンとオフを切り換えます。
テキスト	<予定機能>現在では利用できません。

計算

「計算」ボタンでは、現在編集集中の録画設定で現在の録画用 HDD に録画可能な期間の目安を表示します。



< 情 報 >

- この計算は、上書き録画によって古い映像が削除されるまでの期間の目安を計算するものです。
- 既に使用中の録画用 HDD に対して新しい録画設定を適用した場合、古い映像が上書き録画によって削除されるまでの日数は、徐々に変化して設定値に達することになります。

< 注 意 >

- イベント記録の発生確率は予測不可能であることから、この設定では通常記録とイベント記録のデータ量が多くなる方の設定で連続的に録画された場合を想定して計算しています。従って、数値を変更しても結果に反映されないケースがあります。
- この計算は、単独の録画設定に対して実行されます。従ってスケジュール設定をして複数の録画設定を利用する場合には、正しい結果は得られません。
- ストレージ設定で画像保存制限の期間が設定されている場合、HDD の容量に余裕があったとしても、その期間で削除が実行されますので、計算結果に満たない期間で削除される場合があります。

3. アラーム

「アラーム」タブでは、イベントによる各種アラーム出力のオンとオフ並びに一部のデータ値を指定できます。



項目	説明
カメラ	入力チャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません)
ブザー	イベントによるブザー鳴動のオンと オフ を切り換えます。
PTZ プリセット	イベントによって PTZ カメラに 1 ～15 の範囲のプリセット番号の中から 1 つを送信することが出来ます。(初期設定: オフ)
メール	イベントによるメール送信のオンと オフ を切り換えます。
リレー	イベントによるアラームリレー動作のオンと オフ を切り換えます。
スポット	イベントによるスポットモニターのポップアップ表示 (イベント発生チャンネルの 1 画面表示) 機能のオンと オフ を切り換えます。
モニター	イベントによるメインモニターのポップアップ表示 (イベント発生チャンネルの 1 画面表示) 機能のオンと オフ を切り換えます。
コールバック	< 予定機能 > 現在は利用できません。
FTP	イベントによる静止画の FTP 送信機能のオンと オフ を切り換えます。

4. 保持時間

「保持時間」タブでは、イベント前後のアラームの継続時間に関する設定が出来ます。



項目	説明
カメラ	設定を適用するチャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません)
プリアラーム	録画に適用する事前録画のオン (5 秒固定) と オフ を切り換えます。
ポストアラーム	録画に適用する事後録画とアラーム出力の延長時間を「5 秒」「 10 秒 」「15 秒」「20 秒」「60 秒」「150 秒」「300 秒」から選択できます。

5. ログ

「ログ」タブでは、イベントの種類毎に、それをログに記録するか記録しないかを、チャンネル毎にオンとオフで切り換えることができます。



項目	説明
カメラ	設定を適用するチャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません)
モーション	モーション検知によるイベントをログに記録するかどうかを <u>オン</u> とオフから選択できます。
センサー	センサー検知によるイベントをログに記録するかを <u>オン</u> とオフから選択できます。
テキスト入力	<予定機能>現在では利用できません。

6. Push 通知

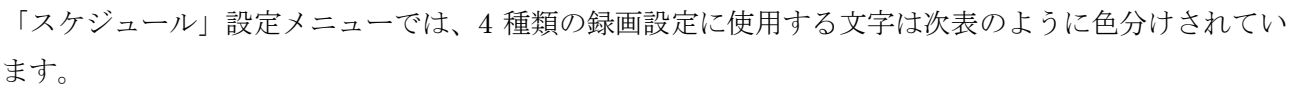
「Push 通知」タブでは Push 通知を送信するイベントの種類をチャンネル毎に選択する事が出来ます。Push 通知を受けるには、iOS 端末 (iPhone/iPad など) または Android 端末に専用の App (Smart Eyes PRO) がインストールされ、目的の IRV-HV8000 または IRV-HD9000 シリーズが登録され、Push 通知が ON (受け取る) になっており、端末の Smart Eyes PRO の通知を受け取る設定になっている必要があります。



項目	説明
カメラ	設定を適用するチャンネル番号を示します。(値の変更は出来ません)
モーション	モーション検知による Push 通知を送信するかどうかをオンと <u>オフ</u> から選択できます。
センサー	センサー検知による Push 通知を送信するかどうかをオンと <u>オフ</u> から選択できます。
テキスト入力	<予定機能>現在では利用できません。

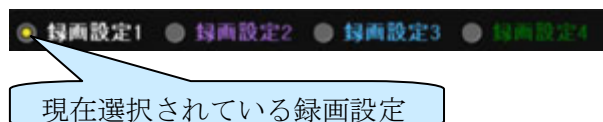
「スケジュール」設定メニューでは1週間を1時間毎に区切って、「録画設定 1」～「録画設定 4」のどの録画設定を適用するかを選択することができます。

また、年間 50 回までの休日設定も可能です。



- (1) 表に反映する録画設定を選択する
- 「録画設定 1」「録画設定 2」「録画設定 3」「録画設定 4」から、これから(2)の表に反映したい録画

設定を選択します。

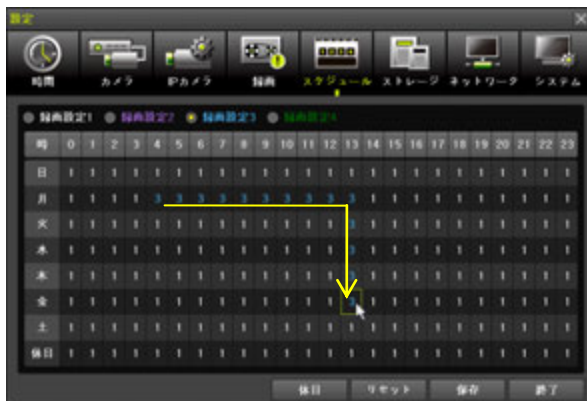


(2) 録画設定を反映する曜日と時間帯を選択する

録画設定は次のような方法で曜日と時間帯に反映出来ます。

① 指定した曜日の指定した時間帯に反映させる方法

表内の任意の部分を左クリックします。また、クリックしたままドラッグするとマウスポインターの軌跡に従って選択した録画設定が表に反映されます。



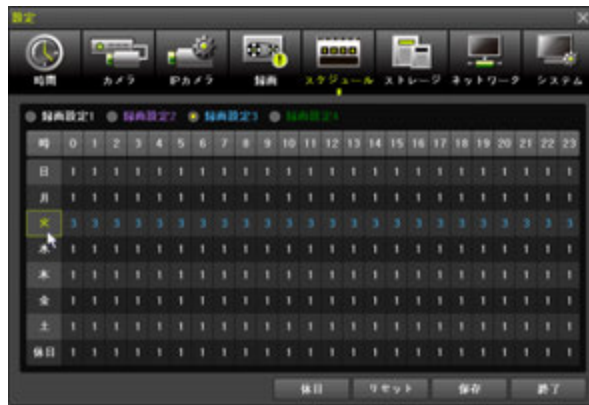
② 全ての曜日の一部の時間帯に反映させる方法

表内の最上段の「時」を示す部分の数字を左クリックします。

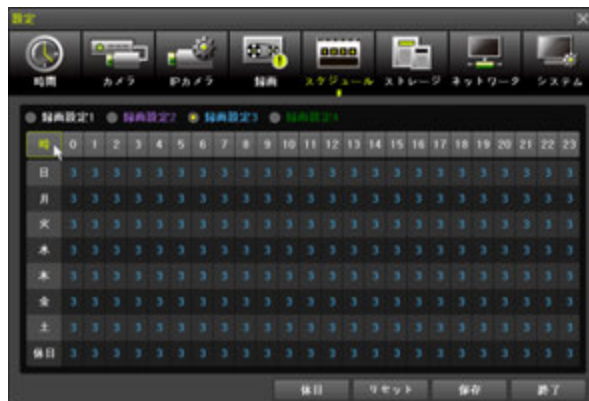


③ 一部の曜日の全ての時間帯に反映させる方法

表内の最も左側の列の「日」～「土」の曜日を示す部分あるいは「休日」を左クリックします。



- ④ 全ての曜日の一部の時間帯に反映させる方法
表の左上の「時」を左クリックします。



- (3) スケジュールを保存する
ウィンドウ下部の「保存」ボタンをクリックします。

2. 休日設定

曜日のスケジュールとは異なるスケジュールを年間最大 50 回まで指定して表最下段の「休日」で指定したスケジュールを適用することが出来ます。

休日の登録は「スケジュール」設定下部の「休日」ボタンをクリックして「休日登録」ウィンドウを開いておこないます。



3. 休日の登録と削除

休日登録と削除は次の手順でおこないます。

(1) 年月を選択

カレンダー上部の年月表示の左右にある ◀ ▶ ボタンで年月を移動できます。



(2) 日と休日の種類を選択

カレンダーの日付を左クリックすると黄緑色の枠が移動し、ダブルクリックすると休日の種類を選択するための選択肢が表示されます。



それぞれの選択肢は次表の意味になります。

選択肢	説明
毎年〇月×	曜日に関係なく、毎年〇月×日に休日設定を適用します。
第◇ 最終 △曜日〇月	毎年〇月の第◇（または最終）△曜日に休日設定を適用します。

次の図は、毎年 12 月 29 日を休日に設定する設定例です。



次の図は、毎年 12 月の最終金曜日を休日に設定する設定例です。



次の図は、毎年 12 月の最終金曜日を休日に設定する設定例です。



(3) 保存または削除

休日リストに表示されている内容を保存するには、**保存** を左クリックします。

休日リストで現在選択中の行を削除するには **削除** を左クリックします。

休日リストを全ての削除する場合は **リセット** を左クリックします。

休日登録ウィンドウの下部のボタンは下表のように機能します。

ボタン	説明
リセット	休日リストをクリアします。
削除	休日リストまたはカレンダーで現在選択中の休日をリストから削除します。
保存	現在表示されている休日リストを保存します。
終了	休日登録ウィンドウを閉じます。(保存されない)

(4) 終了

最後に **終了** ボタンを左クリックして「休日登録」ウィンドウを閉じます。

< 注 意 >

- 休日リストを編集した後、そのまま **終了** ボタンをクリックした場合には、変更は保存されません。変更を保存したい場合は必ず **保存** → **終了** と操作してください。

6 ストレージ

「ストレージ」設定メニューでは、HDD や USB メモリーのような記憶装置に関する設定をすることが出来ます。



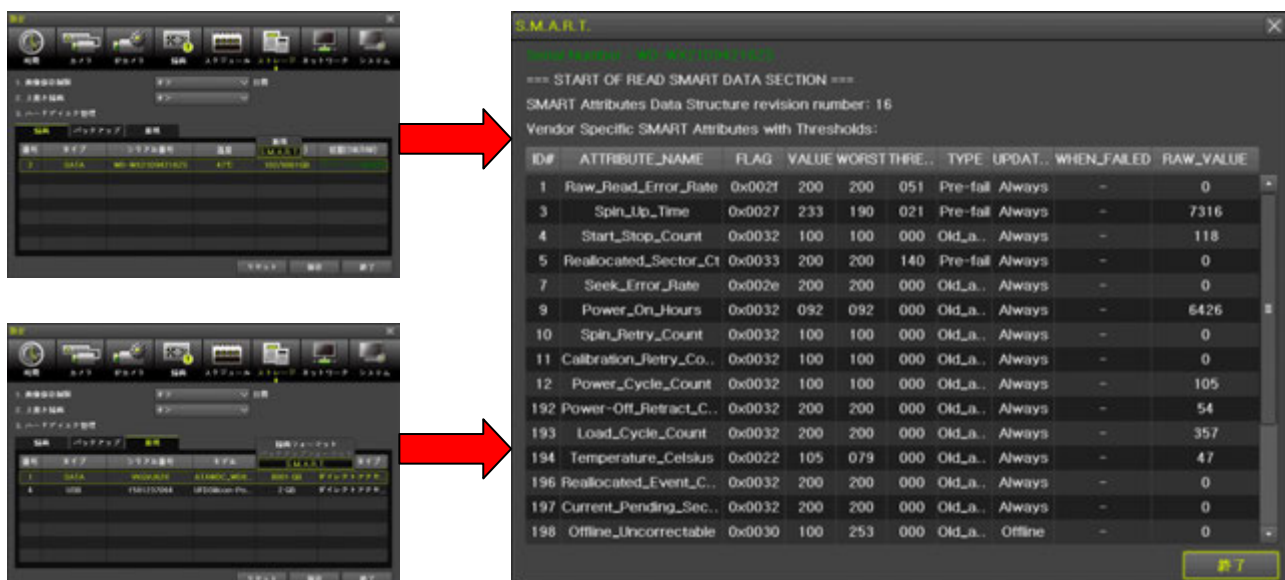
項目	説明
画像保存制限	録画用に割り当てた HDD に録画された映像を保存する日数を「<u>オフ</u>」「1」「7」「30」「ユーザー設定 (1 ~ 99)」から選択できます。 < 注 意 > 録画保存制限が設定されている場合でも、その期間内に録画用 HDD の空き容量がなくなった場合には、上書き録画によって期間内の古い映像から消失します。
上書き録画	録画用 HDD の空き容量がなくなった場合の本機の動作を選択できます。 <u>オン</u>：録画用 HDD に空き容量がなくなった場合、最も古い映像を削除しながら録画を継続します。 <u>オフ</u>：録画用 HDD に空き容量がなくなった場合、録画を停止します。
ハードディスク管理	HDD 及び USB メモリーの用途表示及び初期化を実行できます。 この項目は次の 3 つのタブで構成されており、表内に表示されたデバイスをダブルクリックして表示されたメニューから、それぞれの処理を実行できます。 「録画」タブ 録画用としてフォーマットされた HDD がこの表に表示されます。 「バックアップ」タブ バックアップ用としてフォーマットされた HDD または USB メモリーがこの表に表示されます。 「新規」タブ フォーマットされていないまたは本機で認識できないフォーマットの HDD や USB メモリーが表示されます。

1. 「ハードディスク管理」表内の操作

「ハードディスク管理」の表内ではその行をダブルクリックすることで、次の操作が出来ます。

S.M.A.R.T.

選択された HDD の S.M.A.R.T.情報 (HDD 自体の自己診断機能に基づく健全性情報) を表示することができます。



S.M.A.R.T.情報は、「録画」タブと「新規」タブのHDDに対して参照することが出来、お客様ではなくサービスエンジニアによる使用を前提としておりますので、値の読解にはHDDに関する専門的な知識が必要となります。

< 注意 >

USBメモリーに対しても「S.M.A.R.T.」メニューは表示されますが、値は表示されません。

バックアップフォーマット

「新規」タブで選択されたUSBメモリーをバックアップ用にFAT32ファイルシステムでフォーマットできます。



< 注意 >

- 弊社では、128ギガバイトまでのUSBメモリーが利用可能であることを確認しております。
- USBメモリーを録画用に利用することは出来ません。
- USB HDDは利用できません。
- USBメモリーをバックアップ用にフォーマットすると、それまでUSBメモリーに記録されていたデータは全て失われます。重要なデータがある場合はフォーマット前にバックアップしてください。

録画フォーマット

「新規」タブで選択された HDD を録画用にフォーマットできます。



< 注 意 >

- HDD を録画用にフォーマットすると、それまで HDD に記録されていたデータは全て失われます。重要なデータがある場合はフォーマット前にバックアップしてください。

新規

「録画」及び「バックアップ」タブで「新規」を選択すると、HDD または USB メモリーを初期化して録画用にもバックアップ用にも割り当てられていない状態にします。



< 注 意 >

- HDD や USB メモリーを「新しいタイプ」にフォーマットすると、それまで記録されていたデータは全て失われます。重要なデータがある場合はフォーマット前にバックアップしてください。

7 ネットワーク

「ネットワーク」設定メニューでは、本機を TCP/IP ネットワークに接続して遠隔監視をしたり IP カメラを利用したりするための基本的な設定をすることができます。

1. Ethernet 1

「Ethernet 1」タブでは、本機の Ethernet 1 側の LAN ポートをネットワークに接続する場合の基本的な IP 情報等を設定できます。

Ethernet 1 ポートは、遠隔監視・時刻同期・アラーム通知・IP カメラ等、本機が利用可能なネットワークサービス全てが利用できるポートです。



項目	説明
DHCP	IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイの割り当て方法を切り換えます。 有効 ：本機が接続されたネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に割り当てます。 無効：手動で入力します。
IP アドレス	DHCP を無効に設定した場合に IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	DHCP を無効に設定した場合にサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	DHCP を無効に設定した場合にデフォルトゲートウェイを入力します。
DNS	本機が使用する DNS サーバーを割り当てる方法を選択します。 有効 ：本機が接続されたネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に割り当てます。 無効：手動で入力します。 < 注 意 > ● このチェックボックスは「DHCP」のチェックボックスが無効に設定されている場合には有効化できません。
DNS1	DNS を無効に設定した場合に本機が優先的に使用する DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
DNS2	DNS を無効に設定した場合に DNS1 サーバーが利用できない場合に使用する予備の DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
クライアントポート	遠隔監視アクセスのための TCP サービスポート番号を指定できます。
Web サーバーポート	Web ブラウザでアクセスするための TCP サービスポート番号を指定できます。

	< 注 意 > ● Web ブラウザから遠隔監視機能を利用する場合は、クライアントポートも同時に利用されます。
HTTPS 有効	< 予定機能 > この機能は利用できません、無効の状態でご使用ください。
UpnP(自動 Port)	本機がデフォルトゲートウェイとして利用しているルーターが UpnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能をサポートしている場合には、ポートフォワーディング（別名：ポート開放／ポート転送等）を自動化することが出来ます。 有効：UPnP を有効にします。 無効：UpnP を無効にします。 < 注 意 > ● UPnP による自動ポート機能で開いたポートは、ルーターの再起動等、不慮のトラブルによって突然閉じてしまい、遠隔接続が出来なくなる場合があります。 ● UPnP による自動ポート機能は、本来は一時的にルーターのポートを開くための機能です。遠隔監視のように恒久的にルーターのポートを開く必要がある場合には、ルーターの設定を直接操作する方法でポートを開いていただく事をおすすめします。 ● UPnP 機能はユーザー認証を経ずにルーターの設定を一時的に変更する機能ですので、ルーターの UPnP 機能を有効にすると、ゲートウェイとしてのセキュリティは脆弱になります。

2. Ethernet 2

「Ethernet 2」タブでは、本機の Ethernet 2 側の LAN ポートをネットワークに接続する場合の基本的な IP 情報等を設定できます。

Ethernet 2 ポートは、IP カメラ専用です。他の用途には利用できません。



項目	説明
DHCP サーバ有効	本機を DHCP サーバーとして利用するかどうかを選択できます。 有効：本機の DHCP サーバー機能を有効にします。 無効：本機の DHCP サーバー機能を無効にします。

IP アドレス	「DHCP サーバ有効」を無効に設定した場合に、IP アドレスを指定できます。
サブネットマスク	「DHCP サーバ有効」を無効に設定した場合に、サブネットマスクを指定できます。
デフォルトゲートウェイ	「DHCP サーバ有効」を無効に設定した場合に、デフォルトゲートウェイを指定できます。

＜ 注 意 ＞

- 本機の Ethernet 2 ポートでは、IP カメラに IP アドレスを割り当てるため、初期設定で DHCP サーバー機能が「有効」に設定されています。誤って、ルーター等で管理される既存のネットワークに接続すると **DHCP 競合によるネットワーク障害が発生する場合があります**ので、特にご注意ください。
- Ethernet 2 ポートは、IP カメラ専用のポートです。遠隔監視・時刻同期・メール通知・Push 通知等の IP カメラ以外のネットワークサービスはサポートしていません。

3. DDNS

「DDNS」タブではダイナミック DNS を利用するための設定をすることができます。

DDNS 機能は、本機を動的 IP アドレスによるインターネット接続環境で利用する場合に、遠隔監視機能の接続先として特定のホスト名での接続を可能にする機能です。



項目	説明
DDNS	利用する DDNS サイトを選択できます。 オフ : DDNS を利用しません。 Power DDNS : Power DDNS（無料）を利用します。 D y n D N S : DynDNS（有料）を利用します。
ドメイン名	Power DDNS を利用する場合に、本機に割り当てるホスト名を指定できます。 初期値は本機の MAC アドレス です。
DDNS ホスト	DynDNS を利用する場合に、本機に割り当てるホスト名の指定とドメイン名の選択が出来ます。 初期値はホスト名が未入力、ドメイン名が“dyndns.org” です。
DDNS ID	DynDNS サイトにログインするための ID を指定できます。
DDNS パスワード	DynDNS サイトにログインするためのパスワードを指定できます。
テスト	DDNS の更新テストを実行できます。

＜ 注 意 ＞

- 有料の DynDNS サイトを利用するには、サイトへの利用登録が必要です。また、利用登録は、Web ブラウザを利用して英語でおこなう必要があります。
- 有料の DynDNS サイトを利用するには、課金のためにクレジットカード情報を登録する必要があります。また、米ドルで課金されるため、円建ての口座に課金される金額は為替相場の影響を受けて、その都度課金額が変化します。十分に余裕のある残高を維持してください。
- 弊社では、ダイナミック DNS サイトへの登録や契約については一切サポートしておりません。お客様の責任においてお客様自身で登録や契約をおこなっていただきますようお願いいたします。
- DDNS サイトのサービス内容は、DDNS サイト運営者の都合によって、変更や終了がおこなわれる場合があります。

4. メール

「メール」タブでは、イベントが発生した場合に電子メールでイベント通知を送信する機能に関する設定をすることができます。



項目	説明
メール送信	イベントによるメール通知機能のオンとオフを切り換えます。 オフ ：イベントによる通知メールを送信しません。 オン ：イベントによる通知メールを送信します。
SMTP サーバー	通知メールの送信時に使用する発信元メールサービスを選択できます。 Default ：メーカーが提供する送信メールサーバーを利用します。細かな設定を必要としないので、最も簡単に利用できます。 G m a i l ：Google の Gmail サービスを利用します。 Hotmail ：MSN の Hotmail サービスを利用します。 Y a h o o ：米国 Yahoo の Yahoo mail サービスを利用します。 カスタム ：指定した SMTP サーバーを利用します。「カスタム」が選択されるとバーチャルキーパッドが自動的に開きますので、利用する SMTP サーバーのアドレスを入力してください。
SMTP ポート	利用する SMTP サーバーのサービスポート番号を指定します。
送信者メールアドレス	本機が電子メールの送信に利用するユーザーアカウントを入力できま

	す。
パスワード	本機が電子メールの送信に利用するユーザパスワードを入力出来ます。
メールアドレス 1	本機が電子メールを送信する宛先メールアドレスを最大 4 件まで入力できます。
メールアドレス 2	
メールアドレス 3	
メールアドレス 4	
異常時のみ送信するアドレス	本機に異常が発生した場合に電子メールを送信するための専用の宛先を入力できます。
静止画添付	イベントによる通知メールにイベントの発生時の画像を添付して送信することが出来ます。

＜ 注 意 ＞

- イベントによる電子メール通知機能を利用するには、本機の Ethernet1 ポートがインターネットを利用可能なネットワークに接続され、適切なネットワーク設定が施されていなければなりません。
- 画像添付機能を利用するには、指定されたイベントによってイベント録画が実行されている必要があります。
- 本機が利用する Yahoo! のメールサービスは米国のサービスです。日本の Yahoo とは別のサービスですのでご注意ください。

5. 帯域

「帯域」タブでは、本機が利用するネットワークの帯域に関する設定が出来ます。



項目	説明
1 画像設定	
画像サイズ	遠隔監視用にネットワークに送信する映像の解像度を「 CIF 」「2CIF」「D1」「960H」「720P」「1080P」「3MP」「4MP」から選択できます。
画質	遠隔監視用にネットワークに送信する映像の画質を「低」「 中 」「高」から選択できます。
2 帯域制限	本機が使用するネットワーク帯域幅を「 制限なし 」「128Kbps」「256Kbps」「512Kbps」「1Mbps」「2Mbps」「4Mbps」「8Mbps」から選択できます。
3 送信コーデック	本機がネットワークに送信する動画のコーデックを「JPEG」「 H.264 」から選択できます。
4 IPC ストリーム透過	本機に接続された IP カメラの映像をネットワークに再送信する場合のス

	トリームに関する設定を次の選択肢から選択できます。 オフ：上の「画像設定」と「送信コーデック」の設定に従って再圧縮された映像を送信します。 第1ストリーム：IPカメラの第1ストリームの映像をそのまま送信します。 第2ストリーム：IPカメラの第2ストリームの映像をそのまま送信します。
--	--

6. コールバック

< 予定機能 >

この機能は利用できません。



7. FTP

「FTP」タブは、イベント発生時の静止画像ファイルを指定した 2 箇所までの FTP サーバーに転送する機能に関する設定ができます。



項目		説明
1	FTP	下の項目を編集する FTP 設定を「FTP1」「FTP2」から選択できます。
	FTP サーバ有効	「FTP1」または「FTP2」へのファイル転送機能の「有効」「無効」を選択できます。
	サーバ IP アドレス	「FTP1」または「FTP2」のサーバーの IP アドレスまたは URL を入力できます。
	ポート	「FTP1」または「FTP2」のサーバーのポート番号を指定できます。
	ユーザ ID	「FTP1」または「FTP2」のサーバーにログインするためのユーザーID を指定できます。

4	ユーザパスワード	「FTP1」または「FTP2」のサーバーにログインするためのパスワードを指定できます。
5	FTP ディレクトリ	ファイルの転送先ディレクトリを指定できます。 < 注 意 > この機能には、ディレクトリが存在しない場合にディレクトリを新規作成する機能はありません。存在しないディレクトリ名を指定した場合には転送に失敗します。

8. RTSP

< 予定機能 >

この機能は利用できません。



8 システム

「システム」メニューでは、本機のシステムに関する基本的な設定ができます。



1. DVR 名

個別の DVR に識別用の名前を付けることができます。入力にはバーチャルキーパッドを利用します。



使用可能な文字は 20 文字までの半角英数及び一部の半角特殊記号です。全角文字及び半角カナは使用できません。工場出荷時には Ethernet1 ポートの MAC アドレスが初期設定されています。

2. システムコントロール ID

<予定機能>

この機能は利用できません。

3. ユーザー設定

本機は、「admin」（管理者）と「user1」～「user14」までの最大 15 件のユーザーを追加・削除・編集することができ、それぞれのユーザーに個別の ID とパスワード並びに操作範囲の制限（以降「権限」と記述します）を設定することができます。



「user1」～「user14」はユーザーの権限を制限することができます。「admin」は管理者なのでユーザーの権限を制限することはできません。



項目	説明
ユーザー名	初期設定された「user1」～「user14」のユーザー名を変更することができます。ただし、「admin」のユーザー名は変更できません。
パスワード (入力フィールド)	「admin」を含む全てのユーザーのユーザー名を変更することができます。確認のためパスワードの入力は2回必要です。

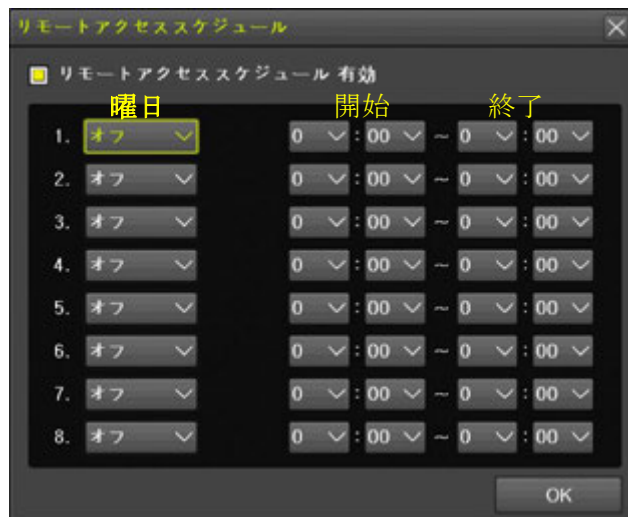
	< 重 要 > ● 本機は工場出荷時に「00000」のパスワードが初期設定されています。 ● 本機を設置したら「admin」のパスワードを必ずお客様ご自身の独自のパスワードに変更してください。また変更した新しいパスワードは他人に見られない場所に書き留めるなどして忘れないように保管してください。 初期パスワードのまま使用されますと、本機を他人に不正使用されたりネットワーク経由で不正アクセスされたりする事によって情報漏えいやサイバー犯罪に悪用される等の恐れがあります。
ネットワークライブ表示	選択したユーザーが、ネットワーク経由でライブ映像を利用できるかどうかを選択できます。 オフ (■) : 選択したユーザーがネットワーク経由でライブ映像を見ることができません。 オン (■) : 選択したユーザーがネットワーク経由でライブ映像を見ることができます。
再生	選択したユーザーが、録画用 HDD に録画された映像を再生できるかどうかを選択できます。 オフ (■) : 選択したユーザーが録画用 HDD に録画された映像を再生できません。 オン (■) : 選択したユーザーが録画用 HDD に録画された映像を再生できます。
バックアップ	選択したユーザーが、バックアップ機能を利用できるかどうかを選択できます。 オフ (■) : 選択したユーザーがバックアップ機能を利用できません。 オン (■) : 選択したユーザーがバックアップ機能を利用できます。
設定	選択したユーザーが、設定メニューを利用できるかどうかを選択できます。 オフ (■) : 選択したユーザーが設定メニューを利用できません。 オン (■) : 選択したユーザーが設定メニューを利用できます。
PTZ	選択したユーザーが、PTZ 操作 (UTC 操作を含む) を利用できるかどうかを選択できます。 オフ (■) : 選択したユーザーが PTZ 操作を利用できません。 オン (■) : 選択したユーザーが PTZ 操作を利用できます。
リモートアップグレード	選択したユーザーが、遠隔操作で本機のファームウェア (F/W) を更新する機能を利用できるかどうかを選択できます。 オフ (■) : 選択したユーザーが本機の F/W を更新できません。 オン (■) : 選択したユーザーが本機の F/W を更新できます。
パスワード (チェックボックス)	選択したユーザーが、本機にログインする場合にパスワードの入力を必要とするかどうかを選択します。 オフ (■) : 選択したユーザーが本機にログインする場合にパスワードの入力を必要としません。 オン (■) : 選択したユーザーが本機にログインする場合にパスワードの入力を必要とします。

	< 重 要 > ● この設定も、他のチェックボックスと同様に遠隔接続に対しても適用されます。従って、このチェックボックスをオフに設定したユーザーに関しては、たとえネットワーク経由の接続であってもパスワード認証なしでアクセス可能になります。不用意にオフにしないでください。
リモートアクセススケジュール	選択したユーザーが、遠隔接続することができる時間帯を制限するかどうかを選択することができます。 オフ：選択したユーザーが遠隔接続することができる時間帯を制限しません オン：選択したユーザーが遠隔接続することができる時間帯を制限します。 ボタンをクリックすると「リモートアクセススケジュール」ウィンドウが開きます。(ウィンドウ内の操作については、この表の枠外に記述します)
カメラ表示	選択したユーザーが、見ることができるチャンネルとできないチャンネルを設定することができます。 オフ (■)：選択したユーザーが、そのチャンネルを見ることができません。 オン (■)：選択したユーザーが、そのチャンネルを見ることができます。 < 情 報 > ● この設定はライブと再生の両方に適用されます。 ● 「全て」のチェックボックスを左クリックすることで、全チャンネルを同時にオン／オフできます。 ● この設定の変更をした場合、変更後の結果は変更前に録画された映像の再生とバックアップに対しても適用されます。 < 注 意 > ● この設定はバックアップに対しても適用されます。バックアップを実行するユーザーにアクセス権のないチャンネルはバックアップをすることもできません。

リモートアクセススケジュール

「リモートアクセススケジュール」では、選択したユーザーが遠隔接続することができる時間帯を制限することができます。

制限する場合のアクセス可能なスケジュールは8つまで指定できます。



項目	説明
リモートアクセススケジュール有効	選択したユーザーの遠隔接続できる時間帯を制限できるようにするかどうかを選択します。 オフ (■) : 選択したユーザーの遠隔接続できる時間帯を制限できるようにしません。 オン (■) : 選択したユーザーの遠隔接続できる時間帯を制限できるようにします。
曜日	「リモートアクセススケジュール有効」が「オン」の場合に、アクセスを許可する曜日を「オフ」「日」「月」「火」「水」「木」「金」「土」「平日」「休日」「全て」から選択できます。 < 情 報 > ● 「平日」とは休日設定されていない日を意味します。 ● 「休日」とは休日設定されている日を意味します。
開始	「リモートアクセススケジュール有効」が「オン」の場合に、上の項目でアクセスを許可した曜日のアクセス許可を開始する時刻を 15 分刻みで選択できます。
終了	「リモートアクセススケジュール有効」が「オン」の場合に、上の項目でアクセスを許可した曜日のアクセス許可を終了する時刻を 15 分刻みで選択できます。

4. アップグレード

「アップグレード」機能は本機のファームウェアのアップデート及び設定データとロゴ画像の読込ができます。



ファームウェア

「ファームウェア」とは、本機を動作させるためのプログラムのことです。ファームウェアは、性能の向上、不具合の改善、新機能の追加等のために、不定期に新しいバージョンを公開する場合があります。新しいバージョンのファイルは、弊社より販売店に提供致しますので、USB メモリーにコピーしてご使用ください。(USB メモリー内では DVR から読めなくなるのでフォルダや圧縮ファイル内には入れないでください)

アップデートは次の手順でおこなってください。

(1) ファームウェアファイルを手入手する

最新のファームウェアのアップデート情報は弊社ホームページにて公表いたしますので、お客様自身でダウンロードしていただくか、お買い求めの販売店アップデートをご依頼ください。

(2) ファームウェアファイルを USB メモリーにコピーする

ファームウェアファイルを手入手したら、ファイルを USB メモリーにコピーしてください。

(圧縮ファイルの場合は必要に応じて解凍してください)

USB メモリー内では、DVR から読めなくなるので、ファームウェアファイルをフォルダや圧縮ファイル内には入れないでください。

(3) USB メモリーを本機の USB ポートに差し込む

USB メモリーを前面パネルの USB ポートに差し込みます。左右どちらのポートでも利用できます。

(4) 「設定」メニューの「システム」を開く



(5) 「ファームウェアアップグレード」ウィンドウを開く



(6) ファイル名とファイル情報を確認し、ファイル名を左クリックする



(7) バージョンを確認して **はい** を左クリック

はい を左クリックすると、アップグレードが開始されます。



アップグレードが完了すると自動的に再起動されます。



< 注 意 >

- ファームウェアのアップグレード中は絶対に電源を抜かないでください。この作業は中断すると二度と装置を起動できなくなる場合があります。
- ファームウェアアップグレード中に誤って電源を抜いた事等不適切な操作によって起動できなくなった場合、弊社にて預かり修理となり有償修理扱いとさせていただきます場合があります。

設定データ

「設定データ」のアップグレード機能は、USB メモリーに保存された設定データを本機に読み込んで反映させる機能です。この機能を利用するためには、予め USB メモリーに保存された設定データが必要です。現在の設定データを USB メモリーに保存するには「バックアップ」メニューの「設定データ保存」を利用してください。

参照→57 ページ

設定データのアップグレードは次の手順でおこないます。

(1) USB メモリーを接続する

(2) 「システム」設定メニューを開く



(3) 「アップグレード」の「設定データ」ボタンを左クリックする



(4) ファイルを選択する



「アップグレード成功」を確認し **OK** を左クリックします。

< 注 意 >

- 設定の保存及びアップグレードの機能では、ネットワーク設定「Ethernet1」タブの内容は保存及び復元の対象とされません。

ロゴ

「ロゴ」アップグレード機能は本機の起動時にメインモニターに表示される起動ロゴマークを変更することができます。



弊社出荷時設定の起動ロゴマーク

使用するロゴマークは次の基準に適合する画像ファイルをご使用ください。

項目	説明
解像度	720(横)×480(縦) [単位:Pixel]
ファイル形式	JPEG
ファイルシステム	FAT32
ファイル名文字種	半角文字(アルファベット、数字、特殊記号)

アップグレードは次の手順で実行してください。

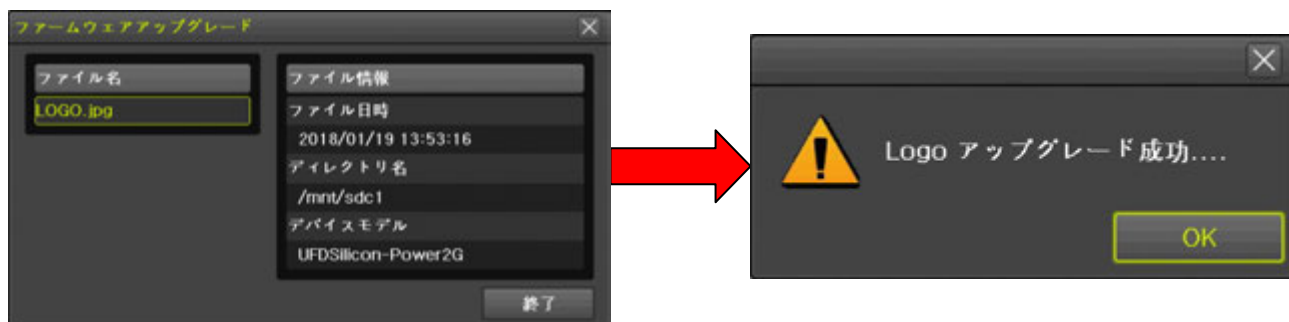
- (1) USB メモリーを本機に接続する
- (2) 「システム」設定メニューを開く



- (3) 「アップグレード」の **Logo** ボタンを左クリックする



- (4) ファイル名とファイル情報を確認し、ファイル名を左クリックする



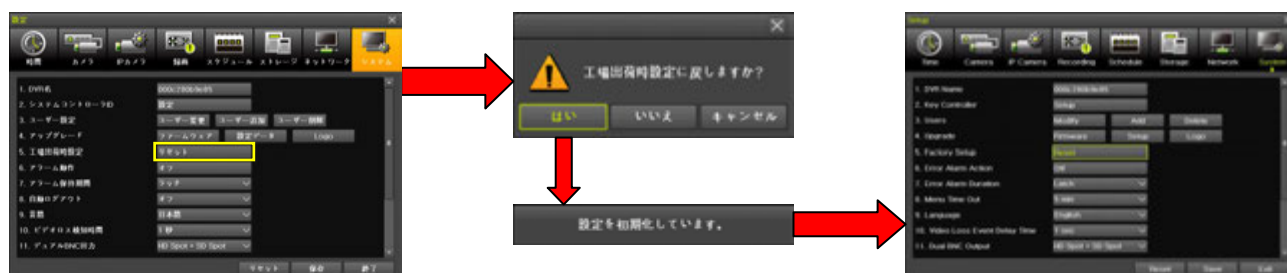
「Logo アップグレード成功」を確認し **OK** を左クリックします。

< 注 意 >

- 起動ロゴは HDMI 及び VGA 出力にだけ出力されます。HD SPOT 及び SD SPOT にはメインモニターとして設定した場合も含めて起動ロゴは出力されません。
- 起動ロゴ用に使用する画像ファイルはパソコン等でお客ご自身で作図してください。
- モニターを公衆に見える位置に設置する場合、起動ロゴに使用する画像に著作権侵害がないことをご確認ください。
- 起動ロゴは一旦変更すると「工場出荷時設定」ボタンでも元に戻すことはできません。
- 本機の起動プロセスでロゴを表示する段階では、本機の解像度設定に関係なく 1920×1080 (FHD) の解像度で出力されます。ご使用のモニターが 1920×1080 の解像度に未対応の場合は起動ロゴが表示されない場合があります。
- 起動ロゴは約 15 秒間出力されますが、使用するモニターの性能によってこの表示される時間は短くなる場合があります。
- 起動ロゴは画面中央に画面の広さの約 6 分の 1 の面積で表示されます。大きさの変更はできません。
- 信号が入力された直後にシステムメッセージを表示するタイプのモニターを接続した場合、起動ロゴがシステムメッセージの裏に隠れてその一部または全部が見えなくなる可能性があります。

5. 工場出荷時設定

「工場出荷時設定」の **リセット** ボタンは、本機の設定を工場出荷の初期状態に戻します。



＜ 重 要 ＞

- この操作では、本機の現在の設定情報が全て失われ、元に戻すことはできなくなります。作業前に設定情報を保存してから実行するようにしてください。
- 工場出荷時設定は弊社の出荷時設定とは異なります。
- 工場出荷時設定に戻すと、画面表示の文字は全て英語になります。英語が読めない場合は、みだりに実行しないでください。（英語が読めないと日本語に戻せなくなる可能性があります）
- 工場出荷時設定に戻しても、カレンダーと時計及びタイムゾーンはそのまま維持されます。
- HDMI または VGA 出力にモニターが接続されていない状態でこの操作をおこなわないでください。設定が初期化されると HD-SPOT と SD SPOT の両方にスポットモニター用の信号が送られるようになるので、操作画面が表示されなくなります。

6. アラーム動作

「アラーム動作」は本機のシステムアラームを利用者に通知する方法と通知するシステムアラームの種類を選択することができます。

機能の選択はボタンをクリックした後のメニューで選択します。

アラーム動作



項目	説明
オフ	「ブザー」「メール」「リレー」「ポップアップ表示」「Push」全てのチェックを外します。
ブザー	チェックを入れると、システムアラーム発生時にブザーで利用者に通知することができます。
メール	チェックを入れると、システムアラーム発生時に電子メールで利用者に通知することができます。
リレー	チェックを入れると、システムアラーム発生時に本機の R1 出力を作動させます。作動した場合にオンになるかオフになるかは「設定」メニューの「カメラ」→「リレー」の設定に依存します。 参照→66 ページ
ポップアップ表示	チェックを入れるとシステムアラーム発生時にメインモニターポップアップ画面を表示して利用者に通知することができます。
Push	チェックを入れるとシステムアラーム発生時に Push 通知で利用者に通知することができます。

アラームリスト



項目	説明
<u>ビデオロス</u>	チェックされている場合、ビデオロスを検知したときに利用者に通知します。
<u>HDD 満杯</u>	チェックされている場合、HDD 満杯を検知したときに利用者に通知します。
<u>HDD 未検出</u>	チェックされている場合、HDD を認識できないときに利用者に通知します。
<u>ファン異常</u>	チェックされている場合、ファン故障が検知されたときに利用者に通知します。
<u>HDD 異常</u>	HDD に、読み書きできないような深刻な異常が起きた時に通知します。
<u>HDD 警告</u>	HDD に、温度異常のような即座に読み書きできなくなるわけではないが、後にダメージを与える恐れのあるような一時的な異常が起きた場合に通知します。

7. アラーム保持期間

一旦作動したリレー出力を、原因が解消されてから作動を解除するまでの時間を選択できます。

選択肢	説明
<u>ラッチ</u>	原則として手動で解除操作をするまで解除されません。解除操作は「その他」メニューの「その他のコントロール」から「リレー」タブを選択し 解除 ボタンをクリックして解除します。 参照 →120 ページ
5 秒	5 秒後に自動的に解除します。
10 秒	10 秒後に自動的に解除します。
15 秒	15 秒後に自動的に解除します。
カスタム設定(5-60)	自動的に解除する時間を 5 ～ 60 秒の範囲で 1 秒刻みで設定できます。

8. 自動ログアウト

本機にログインした状態のライブモードで、何も操作しない状態で放置した場合に、自動的にログアウトするまでの時間を指定できます。

選択肢	説明
オフ	本機を再起動する（自動再起動を含む）か手動でログアウトするまでログアウトしません。
1 分	1 分後に自動的にログアウトします。
2 分	2 分後に自動的にログアウトします。
3 分	3 分後に自動的にログアウトします。
カスタム設定(1-60)	自動的にログアウトするまでの時間を 1 ～ 60 分の範囲で 1 分刻みで設定できます。

9. 言語

本機の画面表示に使用する言語を、日本語を含む 23 言語の中から選択できます。

＜ 注 意 ＞

- ユーザーが理解できない言語に切り換ええないでください。設定を元に戻せなくなる場合があります。
- この設定は基本的に全ての画面表示に適用されますが、一部の新機能に関しては稀に英語で表示される場合があります。
- この設定は、カメラ名称に対しては適用されません。カメラ名称は言語設定に関係なくお客様が Web 登録時に入力した言語で表示されます。
- 本機の弊社出荷時設定は「日本語」です。
- 本機の工場出荷時設定は「English」（英語）です。

10. ビデオロス検知時間

カメラのビデオロス（映像信号の中断）を検知する検知時間を 1 ～ 5 秒の範囲で 1 秒刻みで選択できます。初期値は **1 秒** です。

誤警告が出る場合は長めの時間を選択してください。特に、IP カメラを使用する場合はカメラや IP ネットワークの特性に応じて設置後に適切に調整してください。

11. デュアル BNC 出力

本機の HD SPOT 及び SD SPOT に送る出力映像を選択できます。

選択肢	説明
HD SPOT + SD SPOT	HD SPOT 及び SD SPOT 両方の画面にスポットモニター用の映像を出力します。
HD SPOT + SD MAIN	HD SPOT にはスポットモニター用の映像を出力し、SD SPOT にはメインモニター用の映像を出力します。
HD MAIN + SD SPOT	HD SPOT にはメインモニター用の映像を出力し、SD SPOT にはスポットモニター用の映像を出力します。

＜ 注 意 ＞

- SD SPOT にメインモニター用の映像を出力した場合、画面に表示される文字が小さすぎと読めない場合があります。
- HD SPOT 及び SD SPOT には起動ロゴは表示されません。
- この切替操作は HDMI または VGA 出力に繋いだ状態でモニターを見ながらおこなってください。HD SPOT や SD SPOT に繋いだモニターだけしかない状態の場合「HD SPOT + SD SPOT」を選択してしまうと、設定画面が表示されなくなるので操作を継続できなくなります。

12. オペレーションタイプ (HVR-HD9032 のみ)

本機のオペレーションタイプを選択します。オペレーションタイプの選択により利用可能なカメラの解像度及び録画の解像度と利用可能な IP カメラの台数が変わります。

弊社の出荷時初期設定では「4MP IPC 32CH」に設定されています。

4MP IPC 32CH	4.0MegaPixel の IP カメラを 32 台接続できます
5MP IPC 24CH	5.0MegaPixel の IP カメラを 24 台接続できます
4K IPC 16CH	8.0MegaPixel (4K) の IP カメラを 16 台接続できます

< 注 意 >

- こり機能で選択したオペレーションタイプに対応していない高解像度の映像信号（カメラの種類を問わず）が入力された場合、ライブ表示や録画／再生に異常が発生します。その場合、必ずしも範囲外の信号を入力したチャンネルで不具合が発生するとは限りません。
- 本機には範囲外の解像度の映像信号が入力された場合に、それを警告する機能はありません。



2 PTZ

「PTZ」メニューでは PTZ (Pan / Tilt / Zoom) カメラの操作をするためのモードに入ります。また、この機能では UTC (Up The Coax) 機能に対応したカメラのメニュー操作もおこなうことができます。

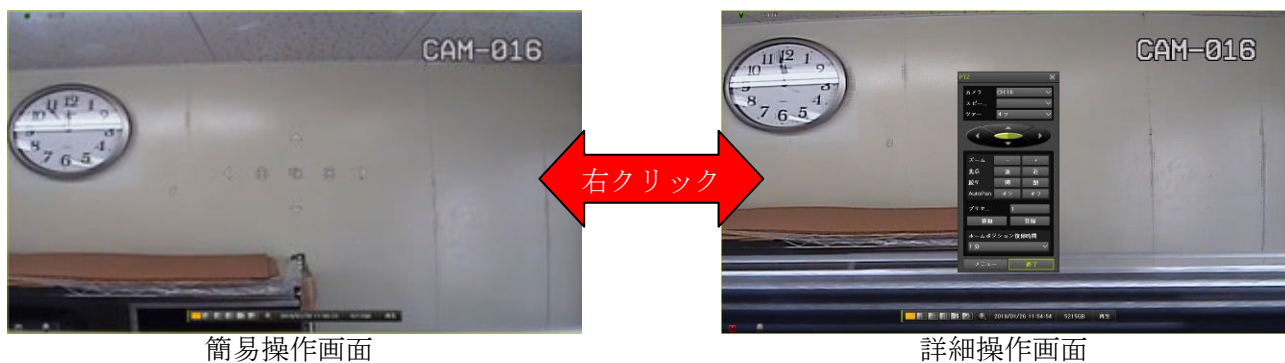
<注意>

- この機能は、正しく設定しても一部の機能が正常に動作しない場合があります。これは、本機の製造元と、PTZ 及び UTC カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保つことが困難なためです。従いまして、PTZ 及び UTC 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上でご使用いただきますようお願い致します。
- ここで説明する UTC (Up The Coax) 機能とは、カメラの設定メニューの操作や PTZ 操作をカメラの映像伝送用同軸ケーブルを利用して実行する機能の事です。協定世界時の UTC (Coordinated Universal Time) の事ではありませんのでご注意ください。

PTZ モードに入るには、メニューから PTZ を選択します。

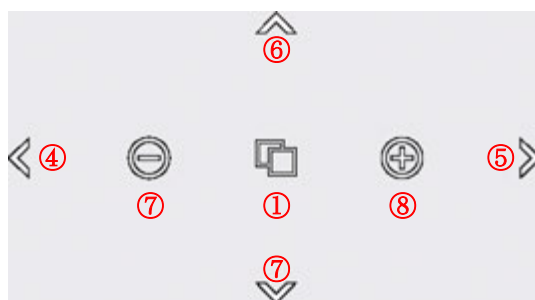


PTZ モードでは 2 種類の操作画面があり、最初に起動したときには簡易操作画面が開きます。簡易操作画面の状態ではマウスを右クリックすると詳細操作画面に切り換えることができます。また、詳細操作画面の状態ではマウスを右クリックすると簡易操作画面に戻ります。



簡易操作画面では、PTZ カメラの基本的な操作は出来ませんが、高度な操作や UTC カメラのメニュー操作はできません。PTZ モードを終了する場合は、一旦詳細操作画面に切り換えてから **終了** ボタンをクリックする必要があります。

各操作画面のボタンの機能は次表の通りです。



簡易操作画面



詳細操作画面

番号	名称	説明
①	CH 切替	PTZ または UTC 設定されているチャンネルの間でチャンネルを切り換えます。 簡易操作画面では左クリックする毎に昇順で切り替わります。 詳細操作画面では左クリックすると、目的のチャンネル番号をドロップダウンリストで選択できます。
②	スピード	PTZ カメラがパン・チルト（左右・上下移動）する速さを 01 ～ 64 の範囲で調整できます。（初期値：32）
③	ツアー	予めツアーが設定されている場合は「ツアー1」または「ツアー2」を選択してツアー機能を実行できます。 < 注 意 > これは、一定時間毎に PTZ カメラにプリセット番号を送る方法で本機が実行するツアー機能を起動するものです。PTZ カメラが持つツアー機能を起動するものではありません。
④	左 (LEFT)	PTZ カメラの向きを左に移動します。UTC 制御によるカメラメニュー内では LEFT ボタンに相当します。
⑤	右 (RIGHT)	PTZ カメラの向きを右に移動します。UTC 制御によるカメラメニュー内では RIGHT ボタンに相当します。
⑥	上 (UP)	PTZ カメラの向きを上移動します。UTC 制御によるカメラメニュー内では UP ボタンに相当します。
⑦	下 (DOWN)	PTZ カメラの向きを下に移動します。UTC 制御によるカメラメニュー内では DOWN ボタンに相当します。
⑧	ズーム (－)	PTZ 及び 2 モーターカメラのズームレンズの倍率を下げます。（広角）
⑨	ズーム (＋)	PTZ 及び 2 モーターカメラのズームレンズの倍率を上げます。（望遠）
⑩	焦点 (遠)	PTZ 及び 2 モーターカメラのフォーカス（焦点、ピント）をより遠くに合わせます。★
⑪	焦点 (近)	PTZ 及び 2 モーターカメラのフォーカス（焦点、ピント）をより近くに合わせます。★
⑫	絞り (開)	PTZ カメラの絞り（アイリス）をより開きます。（映像は明るくなる）★ UTC 制御によるカメラメニュー内では SET または ENTER ボタンに相当

		します。
⑬	絞り（閉）	PTZ カメラの絞り（アイリス）をより閉じます。（映像は暗くなる）★
⑭	AutoPan（オン）	＜予定機能＞カメラの機能と制御プロトコルの両方が対応する場合に、オートパンをオンにします。
⑮	AutoPan（オフ）	＜予定機能＞カメラの機能と制御プロトコルの両方が対応する場合に、オートパンをオフにします。
⑯	プリセット	プリセット番号を入力します。
⑰	移動	「プリセット」で指定したプリセット番号の位置に PTZ カメラの向きとズーム等を合わせます。 ＜ 注 意 ＞ ● 位置が登録されていないプリセット番号を指定した場合は、エラーになります。 ● 位置が登録されていないプリセット番号を指定した場合のエラー表示方法は、PTZ カメラのメーカーや機種毎に異なります。
⑱	登録	「プリセット」で指定したプリセット番号に現在の PTZ カメラの向きとズーム等の状態を記憶させます。
⑲	ホームポジション 復帰時間	PTZ カメラに対して何も操作をしない時間が一定時間続いた場合に、自動的にプリセット番号の 001 番にカメラを向けることができます。 設定可能な時間は「オフ」「1 分」「5 分」「10 分」「カスタム設定(1-60)」です。 ＜ 注 意 ＞ ● プリセット番号 001 番に位置が登録されていない場合はエラーになります。 ● プリセット番号 001 番に位置が登録されていない場合のエラーの表示方法は、PTZ カメラのメーカーや機種毎に異なります。 ● この機能は PTZ カメラ自体が持つホームポジション機能とは無関係です。
⑳	メニュー	PTZ カメラのメニューを開きます。 ＜ 注 意 ＞ ● PTZ カメラメニューの表示方法や操作方法は PTZ カメラのメーカーや機種毎に異なります。ので、PTZ カメラの取扱説明書でご確認ください。 ● UTC 制御によるカメラメニューを開く事はできません。
(21)	終了	PTZ 操作を終了します。 ＜ 注 意 ＞ ● 簡易操作画面からの終了はできません。一旦詳細操作画面に切り換えてから、詳細操作画面の 終了 ボタンで終了してください。

★ これらの項目は、カメラの機種によりサポートされていない場合や設定変更が必要になる場合が多く見られますので、PTZ カメラに習熟した技術者による助言やサポートを受けてください。

＜ 注 意 ＞

- PTZ カメラのプリセット位置情報は、本機ではなく PTZ カメラ側に記憶されています。従って PTZ カメラを別のカメラに取り換えた場合には、位置情報の再登録が必要です。
- UTC 制御方式のカメラのメニュー及び決定の役割をする **SET** または **ENTER** ボタンは、カメラのメーカーや機種によって異なる場合があります。

3 ズーム

「ズーム」メニューでは、特定のチャンネルのライブ映像を拡大する機能を起動できます。マウス操作の場合はこのメニューを使わなくてもスクロールホイールを回すだけでズーム機能を起動できます。ライブモード中にズーム機能を開始するには、マウスのスクロールホイールを回転させるか、メインメニューから「ズーム」を選択します。



ズーム機能が起動されると、画面右下にプレビューウィンドウが表示され、現在画面全体のどの位置を拡大しているのかが黄色い枠で表示されます。



ズーム機能動作中の操作は次表のような動作になります。

マウス	ボタン	動作説明
黄色い枠をドラック&ドロップ	(上下左右方向)	画面上の拡大範囲を上下左右に移動します。
ホイール（左右ボタンの間にあるダイヤル）を回す	(選択)	ズーム倍率を「×2→×4→×1→×1.33→×2…」の順で切り換えます。
右クリック	(ESC)	ズーム機能を終了します。

< 情報 >

- ズーム機能動作中はチャンネルの変更は出来ません。一旦ズーム機能を終了してから、再度希望するチャンネルでズーム機能を開始してください。
- 分割画面のままでのズームはできません。
- 再生モード中のズームについては「再生モード中のメニュー」内の「ズーム」をご覧ください。

参照 → 44 ページ

4 その他

「その他」メニューでは、メニュー内の他の項目に含まれない機能や電源を切る前に実行しなければならぬシャットダウン操作等を実行することができます。

1 DVR 情報

「その他」メニューの「DVR 情報」では、DVR の基本的なシステム情報を表示します。



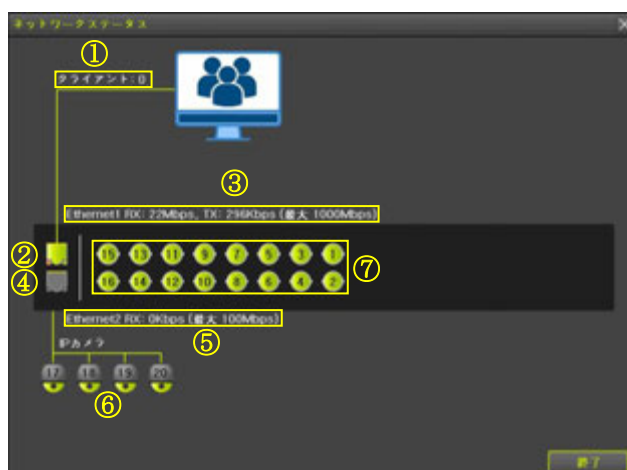
	項目	説明
1	DVR 名	本機に登録されている DVR 名を表示します。登録は「システム」設定メニューでおこなうことができます。 参照→94 ページ
2	ファームウェアバージョン	本機のファームウェアバージョンを表示します。アップデートは「システム」設定メニューでおこなうことができます。 参照→98 ページ
3	ハードウェアバージョン	本機のハードウェアバージョンを表示します。
4	ビデオモード	本機のビデオモードを表示します。ビデオモードの表記は左側が対応する SD 信号のカメラの信号方式と SD SPOT の信号方式を示し、右側が VGA 及び HDMI 出力の解像度を示します。 SD の信号方式は工場出荷時に予め「NTSC」に設定されているので、お客様が変更することはできません。VGA 及び HDMI 出力の解像度はリアパネルのディップスイッチを変更後に本機を再起動することで、変更可能です。

	4. ビデオモード: NTSC, UHD 工場出荷時に予め「NTSC」に設定されています。お客様による変更はできません。 VGA 及び HDMI 出力の解像度はリアパネルのディップスイッチを変更後、本機を再起動することで可能です。 参照→13 ページ VGA 及び HDMI 出力解像度の表記は次表の通りです。 <table><tr><th>表記</th><th>解像度</th></tr><tr><td>Full HD</td><td>1920 × 1080 (1080p)</td></tr><tr><td>XGA</td><td>1027 × 768</td></tr><tr><td>SXGA</td><td>1280 × 1024</td></tr><tr><td>UHD</td><td>3840 × 2160 (4K)</td></tr></table>	表記	解像度	Full HD	1920 × 1080 (1080p)	XGA	1027 × 768	SXGA	1280 × 1024	UHD	3840 × 2160 (4K)								
表記	解像度																		
Full HD	1920 × 1080 (1080p)																		
XGA	1027 × 768																		
SXGA	1280 × 1024																		
UHD	3840 × 2160 (4K)																		
CH 01 ～ 06 (IRV-HV8004) CH 01 ～ 12 (IRV-HV8008) CH 01 ～ 20 (IRV-HV8016) CH 01 ～ 24 (IRV-HV8016)	本機の各チャンネルに接続されたカメラ映像信号に関する情報及びネットワーク情報 (IP カメラの場合) を表示します。 同軸接続のカメラの場合 CH 04: A-4MP15(AD) ① ② ③ ④ ⑤ <table><tr><th>番号</th><th>項目</th><th>説明</th></tr><tr><td>①</td><td>チャンネル番号</td><td>チャンネル番号を示します。</td></tr><tr><td>②</td><td>信号方式</td><td>「A・」: AHD 方式の信号を示します。 「T・」: TVI 方式の信号を示します。 「C・」: CVI 方式の信号を示します。 「なし」: 映像信号を検出していないことを示します。 NTSC 方式の信号の場合、この項目の表記は省略されます。</td></tr><tr><td>③</td><td>解像度</td><td>4 M P: 解像度 4M Pixel の信号であることを示します。 3 M P: 解像度 3M Pixel の信号であることを示します。 1 0 8 0: 解像度 2M Pixel の信号であることを示します。 7 2 0: 解像度 1M Pixel の信号であることを示します。 9 6 0 H: NTSC 方式の信号であることを示します。</td></tr><tr><td>④</td><td>フレームレート</td><td>15: フレームレート 15 FPS の信号であることを示します。 18: フレームレート 18 FPS の信号であることを示します。 30 または 25 FPS の場合、この表記は省略されます。</td></tr><tr><td>⑤</td><td>自動検出</td><td>「(AD)」の表記がある場合は本機の自動検出機能が信号の種類を自動的に識別していることを示します。</td></tr></table> IP カメラの場合	番号	項目	説明	①	チャンネル番号	チャンネル番号を示します。	②	信号方式	「A・」: AHD 方式の信号を示します。 「T・」: TVI 方式の信号を示します。 「C・」: CVI 方式の信号を示します。 「なし」: 映像信号を検出していないことを示します。 NTSC 方式の信号の場合、この項目の表記は省略されます。	③	解像度	4 M P: 解像度 4M Pixel の信号であることを示します。 3 M P: 解像度 3M Pixel の信号であることを示します。 1 0 8 0: 解像度 2M Pixel の信号であることを示します。 7 2 0: 解像度 1M Pixel の信号であることを示します。 9 6 0 H: NTSC 方式の信号であることを示します。	④	フレームレート	15: フレームレート 15 FPS の信号であることを示します。 18: フレームレート 18 FPS の信号であることを示します。 30 または 25 FPS の場合、この表記は省略されます。	⑤	自動検出	「(AD)」の表記がある場合は本機の自動検出機能が信号の種類を自動的に識別していることを示します。
番号	項目	説明																	
①	チャンネル番号	チャンネル番号を示します。																	
②	信号方式	「A・」: AHD 方式の信号を示します。 「T・」: TVI 方式の信号を示します。 「C・」: CVI 方式の信号を示します。 「なし」: 映像信号を検出していないことを示します。 NTSC 方式の信号の場合、この項目の表記は省略されます。																	
③	解像度	4 M P: 解像度 4M Pixel の信号であることを示します。 3 M P: 解像度 3M Pixel の信号であることを示します。 1 0 8 0: 解像度 2M Pixel の信号であることを示します。 7 2 0: 解像度 1M Pixel の信号であることを示します。 9 6 0 H: NTSC 方式の信号であることを示します。																	
④	フレームレート	15: フレームレート 15 FPS の信号であることを示します。 18: フレームレート 18 FPS の信号であることを示します。 30 または 25 FPS の場合、この表記は省略されます。																	
⑤	自動検出	「(AD)」の表記がある場合は本機の自動検出機能が信号の種類を自動的に識別していることを示します。																	

		CH 20: 172.16.0.105(13fps)
		① ② ③
	番号	項目
	①	チャンネル番号
	②	IP アドレス
	③	フレームレート
		説明
	①	チャンネル番号を示します。
	②	IP カメラの IP アドレスを示します。
	③	IP カメラの録画用に選択されているストリームの「DVR 情報」ウィンドウを開いた時点で検出された第1ストリームの実際のフレームレートを示します。 (設定値ではありません)
5	ハードディスク情報	上書き録画機能の状態を「オン」「オフ」で示します。
	合計容量	録画用 HDD の全容量を示します。
	空き容量	録画用 HDD の空き容量を示します。
	開始日時	録画用 HDD に残っている最も古い情報の日時を示します。
	終了日時	録画用 HDD に残っている最も新しい情報の日時を示します。
6	ネットワークタイプ	本機の ETHERNET 1 ポートに IP アドレスを割り当てる方法を示します。 静的：本機のネットワーク設定に従って IP アドレスが割り当てられる設定になっていることを示します。 DHCP：本機が接続されているネットワーク内にある DHCP サーバから本機の IP アドレスが割り当てられる設定になっていることを示します。
	IP アドレス	本機の ETHERNET 1 ポートの IP アドレスを示します。
	クライアントポート	本機に遠隔接続するための TCP サービスポート番号を示します。
	Web ポート	本機に Web ブラウザでアクセスするための TCP サービスポート番号を示します。
	UPnP	本機の UpnP 設定の状態及び「オン」の場合は動作状態を示します。
	MAC アドレス	本機の ETHERNET 1 ポートの MAC アドレスを示します。

2 ネットワークステータス

本機のネットワークの接続状態並びにカメラの接続状態をリアルタイムで図示します。



番号	項目	説明
①	クライアント	本機に遠隔接続している PC やスマートフォンの数を示します。
②	ETHERNET 1 ポート	ETHERNET 1 ポートのリンク状態を示します。 リンクしている状態を示します。 リンクしていない状態を示します。

③	ETHERNET 1 速度	ETHERNET 1 ポートの通信速度を示します。
④	ETHERNET 2 ポート	ETHERNET 2 ポートのリンク状態を示します。  アイコンが緑色の場合、リンクしている状態を示します。  アイコンが灰色の場合、リンクしていない状態を示します。
⑤	ETHERNET 2 速度	ETHERNET 1 ポートの通信速度を示します。
⑥	IP カメラ	IP カメラとの通信状態を示します。  アイコンが緑色の場合、IP カメラとの通信は良好です。  アイコンが橙色の場合、IP カメラとの通信が途切れています。
⑦	カメラ	同軸ケーブルで接続された AHD / TVI / CVI / NTSC 各方式のカメラからの信号の状態を示します。  アイコンが緑色の場合、カメラからの信号を受信しています。  アイコンが灰色の場合、カメラからの信号を受信していません。

< 注 意 >

- IP カメラは ETHERNET 1 ポートに繋いだ場合でも、IP カメラのアイコンはウィンドウの下側に表示されます。

3 IP カメラ情報

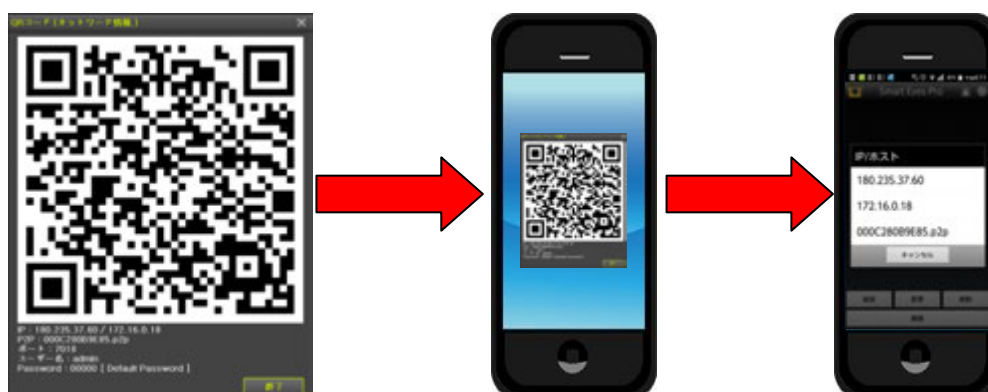
IP カメラに関する技術情報を表示します。このウィンドウは「設定」メニューの「IP カメラ」で表示される IP カメラ情報と同じものです。

[参照](#) → 72 ページ



4 QRコード（ネットワーク情報）

本機の遠隔接続に必要なネットワーク情報を QR コードで出力することができます。本機に接続されたモニターに表示された QR コードをスマートフォンやタブレット端末のカメラで読み取ることで、ネットワーク設定を容易におこなうことができます。



QR コードには次の 7 つの情報が含まれます。

情報	説明
グローバル IP アドレス	本機が使用しているインターネット上の IP アドレスです。
プライベート IP アドレス	本機が接続されている LAN 内での本機の IP アドレスです。
DDNS 名	DDNS サイトに登録されている本機のホスト名とドメイン名です。
クライアントポート	上記の 3 種類のアドレスを使用して遠隔監視ソフトで本機に接続する場合のポート番号です。
P2P アドレス	P2P 方式で本機に接続する場合のアドレスです。
ユーザー名	管理者ユーザーである“admin”
パスワード	管理者ユーザーである“admin”の初期パスワード

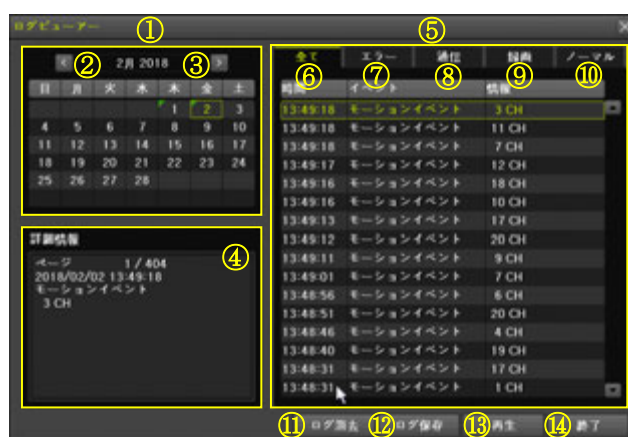


＜ 注 意 ＞

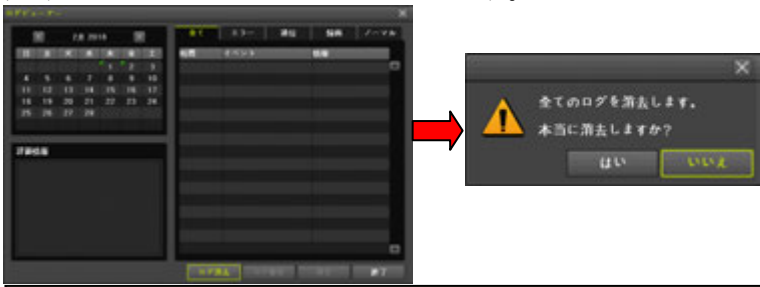
- QR コードに含まれているユーザー名とパスワードの情報は、DVR に初期設定された管理者アカウントの値です。実際の登録作業時には実際の正しいユーザー名とパスワードに修正してから登録を完了してください。
- 本機が接続されている LAN がインターネットに接続されていない場合や ETHERNET 1 ポートの設定が正しくない等の場合にはグローバル IP アドレスが表示されない場合があります。LAN ケーブルの接続と設定を確認してください。
- 本機の DDNS 設定がオフの場合には DDNS 名は表示されません。
- スマートフォンやタブレット端末から P2P アドレスで接続しようとする場合、本機と遠隔監視ソフトが複数の接続方法の中から、その時に応じて適した接続方法を自動的に選択します。

5 ログビューアー

ログビューアーは、本機の動作状態やイベント等を記録したログを見ることができます。また、この画面からログを USB メモリーにバックアップするための「ログ保存」ウィンドウを開く事ができます。



番号	名称	説明
①	カレンダー	ログを抽出する日付を選択するためのカレンダーです。必要に応じて②「月戻し」③「月送り」を左クリックして月を選択した後に日付をダブルクリックすると、⑤「ログリスト」欄にその日のログが表示されます。
②	月戻し	1回左クリックする毎に、カレンダーに表示されている年月を現在表示されている年月より1月古い月に戻します。
③	月送り	1回左クリックする毎に、カレンダーに表示されている年月を現在表示されている年月より1月新しい月に送ります。
④	詳細情報	⑤「ログリスト」に表示されている行を左クリックすると、その詳細情報をここに表示します。
⑤	ログリスト	①「カレンダー」で選択(ダブルクリック)した日付のログを表形式で表示します。
⑥	全て	このタブを選択すると、①「カレンダー」で選択した日付のログリストを全て表示します。
⑦	エラー	このタブを選択すると、①「カレンダー」で選択した日付のログから、ビデオロスを含む機器の異常に関するログだけを抽出してログリストを表示します。
⑧	通信	このタブを選択すると、①「カレンダー」で選択した日付のログから、遠隔接続に関するログだけを抽出してログリストを表示します。
⑨	録画	このタブを選択すると、①「カレンダー」で選択した日付のログから、イベント録

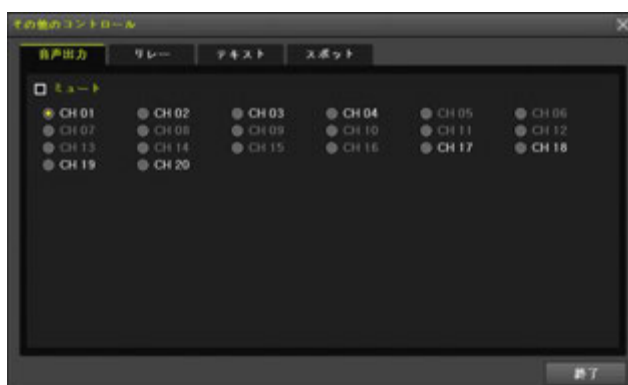
		画に関するログだけを抽出してログリストを表示します。
⑩	ノーマル	このタブを選択すると、①「カレンダー」で選択した日付のログから、「エラー」「通信」「録画」に含まれなかったログだけを抽出してログリストを表示します。実際には一般的な操作の記録等です。
⑪	ログ消去	記録されている全てのログを消去します。  ＜ 注 意 ＞ ● ログ消去はログリストが表示されている状態では実行できません。 ● 一旦消去したログを復元する機能はありません。
⑫	ログ保存	ログリストを表示している日付で「ログ保存」ウィンドウを開きます。日付の範囲を変更したい場合は「ログ保存」ウィンドウ内で変更することも可能です。ログ保存機能に関しては「バックアップ」メニューの「ログ保存」を参照してください。 参照→52 ページ
⑬	再生	ログリストで選択されているログに記録されている日時から再生を開始します。
⑭	終了	ログビューアーを閉じます。

6 その他のコントロール

このメニューには**保存**や**適用**のようなボタンはありません。画面上のスイッチの切り換えは即座に動作に反映されます。

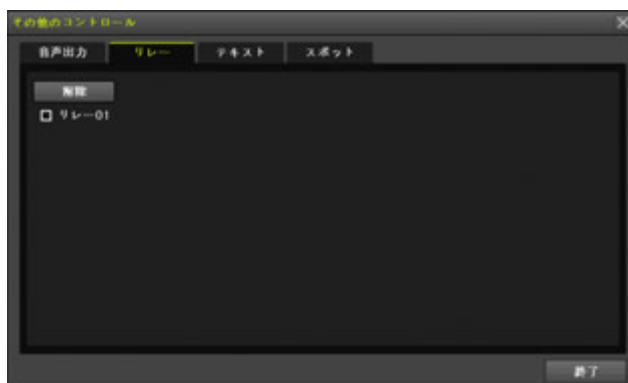
1. 音声出力

ライブモード時の出力する音声チャンネルを選択できます。「ミュート」がチェックされている場合は音声を出力しません。



2. リレー

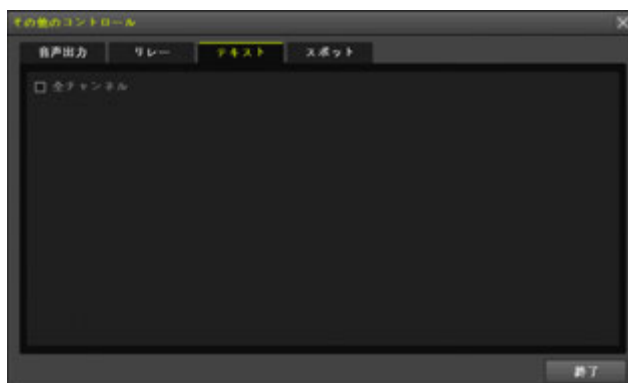
本機のアラームリレー出力を制御できます。



項目	説明
解除	「設定」メニューの「システム」で「アラーム保持期間」として「ラッチ」が選択されている場合に、リレー出力を解除（復帰）します。 参照→105 ページ
リレー01	リレー出力のオンとオフの操作を手動で実行できます。周辺機器の動作確認や訓練等のために利用ください。本機にはアラーム出力は 1 系統しかありませんので、番号は 01 のみです。

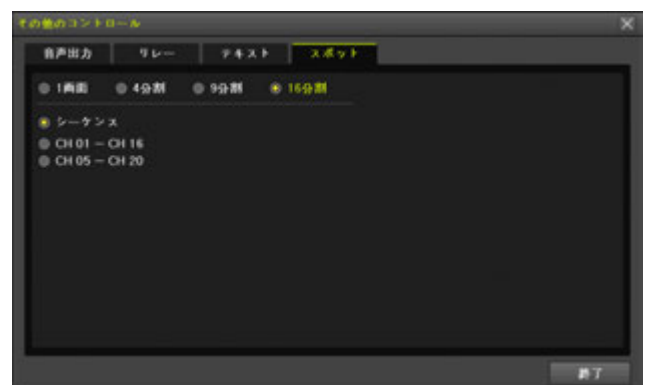
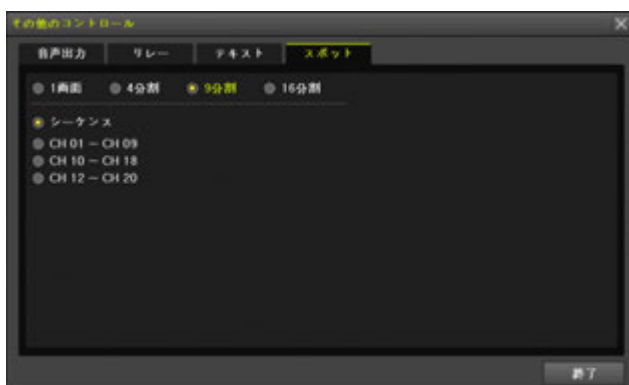
3. テキスト

< 予定機能 > この機能はご利用いただけません。



4. スポット

スポット出力の分割方法と表示チャンネルを選択できます。「シーケンス」がチェックされている場合は、それぞれの分割数の状態で自動切り換えを実行します。



7 ディスプレイ設定

このメニューでは、画面表示に関する設定ができます。



項目		説明
カメラ名称		ライブ及び再生モード時にカメラ名称を表示するかどうかを オン と オフ で選択できます。
IP カメラ & 再生解像度		ライブモード時には IP カメラのみ、再生モード時には全てのチャンネルで解像度を表示するかどうかを オン と オフ で選択できます。
コントロールバー		ライブ及び再生モード時にコントロールバーを表示するかどうかを オン と オフ で選択できます。ただし、オフの場合でもマウスポインターを画面下部の本来コントロールバーが表示されるべき位置に合わせると、コントロールバーは表示されます。
ボタン音		ボタン操作時のビープ音（「ピッ、ピッ」音）の オン と オフ を切り換えます。
HD 周波数		HD SPOT 出力及び CONFIG ディップスイッチを 1080P に設定（1 と 2 の両方が上）した場合の VGA と HDMI 出力の垂直周波数を「 1080P 60Hz 」と「1080P 50Hz」から選択できます。
境界線	表示	分割画面表示時の境界線の有無を オン と オフ で選択できます。
	幅	境界線の表示が オン に設定されている場合に、境界線の幅を「 2 ピクセル 」と「4 ピクセル」から選択できます。
	色	境界線の表示が オン に設定されている場合に、境界線の色を「黒」「 白 」「赤」「緑」「青」から選択できます。
スクリーンセーバー		スクリーンセーバーの設定ウィンドウを開きます。スクリーンセーバー機能については「スクリーンセーバー」機能をご覧ください。初期値： オフ 参照 →123 ページ
スポットシーケンス		「スポット」の設定でシーケンスが選択された場合のシーケンス動作の詳細設定ができます。詳細設定については「シーケンスの詳細設定」をご覧ください。初期値： 5 秒 参照 →124 ページ
メインシーケンス		メインモニターでシーケンスを実行した場合のシーケンス動作の詳細設定ができます。詳細設定については「シーケンスの詳細設定」をご覧ください。初期値： 5 秒 参照 →124 ページ

1. スクリーンセーバー

本機のスクリーンセーバー機能は、1 日のうち指定した時刻（正時）から指定した時間（1 時間刻み）一定時間操作をしなかった場合に HDMI 及び VGA 出力を休止することができます。また、休止時間中であってもマウスやボタンを操作すると、画面表示を復帰させます。

例えば、警備室に設置したモニターを警備員が常駐する時間帯は常時表示させ、警備員が帰宅する時間帯はスクリーンセーバーを設定するといったような使い方ができます。



項目		説明
有効		スクリーンセーバー機能の オン と オフ を切り換えます。
動作	継続時間	スクリーンセーバーが動作することができる時間の範囲を「開始時間」から 1 ～ 24 [時間] の時間数で選択します。 ＜ 注 意 ＞ ● 「有効」の項目が「オフ」の場合にはこの値は選択できません。
	開始時間	スクリーンセーバーが動作することができる時間の開始時刻を 1 時間刻みで選択します。 ＜ 注 意 ＞ ● 「有効」の項目が「オフ」の場合にはこの値は選択できません。 ● 「継続時間」の項目が「24」の場合にはこの値は選択できません。
待機時間		スクリーンセーバーが動作している時間帯に、本機を操作しなかった場合にモニター出力を休止するまでの時間を 1 ～ 10 [分] の範囲で 1 分刻みで選択できます。 初期値： 5 [分] ＜ 注 意 ＞ ● 「有効」の項目が「オフ」の場合にはこの値は選択できません。
終了		「スクリーンセーバー」ウィンドウを閉じます。

2. シーケンスの詳細設定

「ディスプレイ設定」から **スポットシーケンス** または **メインシーケンス** ボタンをクリックすると、メイン及びスポット出力における画面の自動切り換え動作の詳細を設定することができます。

自動切り換え動作には、通常の「シーケンス」動作と「イベントシーケンス」動作の 2 種類の動作パターンがあります。

動作	説明
シーケンス	「シーケンス順序」の設定に従って「シーケンス時間」毎に自動的にカメラチャンネルを切換えて表示します。
イベントシーケンス	「イベントシーケンス」が「オン」の場合、試験中動作中にイベントを検出すると、そのチャンネルの映像の 1 画面表示（ポップアップ）に自動的に切り換え、「モニター切換保持時間」経過までその状態を保持し、「モニター切換解除」の条件に従って通常のシーケンス動作に戻ります。

項目	説明
シーケンス時間	通常のシーケンス動作時の切換え時間を 1 ～ 10 [秒] の範囲で 1 秒刻みで選択できます。初期値： 5 [秒]
モニター切換保持時間	イベントシーケンス動作時の切換え時間を「ラッチ」「5」「10」「30」「ユーザー設定(5 ～ 300) [秒]」から選択できます。「ユーザー設定(5 ～ 300)」を選択した場合は 1 秒刻みで時間指定ができます。 初期値：スポットシーケンス→ ラッチ メインシーケンス→ 5 [秒]
モニター切換解除	イベントシーケンスを解除する条件を選択します。 初期値： なし
イベントシーケンス	イベントシーケンスを使用するかどうかを オン オフ で選択します。
シーケンス順序	シーケンス時の切換え順序を選択します。 初期値：スポットシーケンス→ オフ メインシーケンス→ オン
リセット	メイン／スポットシーケンスウィンドウの設定を工場出荷時の状態に戻します。
終了	メイン／スポットシーケンスウィンドウを閉じます。

8 システムシャットダウン

本機の電源を切ることができる状態にします。操作方法はⅢ章の「シャットダウン」の項目をご覧ください。

参照 → 19 ページ

VI 付録

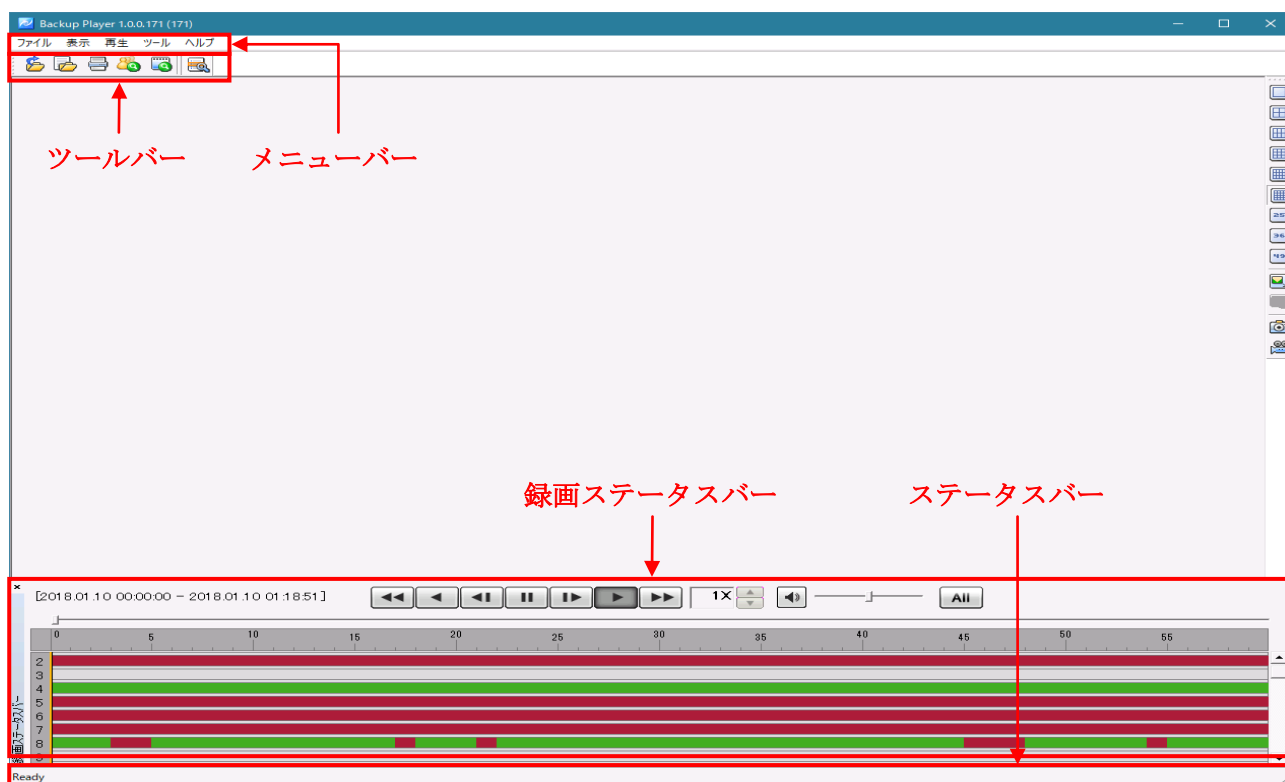
1 RMS 形式バックアップデータの再生

本機でバックアップされた RMS 形式動画のバックアップデータの入った USB メモリーには、バックアップデータとともにバックアップデータを再生するための “BackupPlayer.exe” が入っています。

RMS 形式の動画データは、Windows 環境でこのプレーヤーを使って再生します。

1 BackupPlayer の画面構成

ソフトウェアの操作はメニューメニューバー内のメニューやツールバーや録画ステータスバー内のボタンでおこないます。なお、メニューバーが最も基本的な操作になるので、メニューバーを非表示にすることはできません。



2 操作と機能

“BackupPlayer.exe”の各操作と機能の概要を次表に示します。

操作名	メニュー	ボタン	説明
フォルダを開く	ファイル→フォルダを開く		RMS ファイルのあるフォルダを指定して全チャンネルのファイルを同時に開きます。
ファイルを開く	ファイル→ファイルを開く		RMS ファイルを指定して特定のチャンネルのファイルを開きます。
閉じる	ファイル→閉じる	なし	開いたフォルダまたはファイルを閉じます。
印刷	ファイル→印刷		<予定機能>現在は利用できません。
終了	ファイル→終了		“BackupPlayer.exe”を終了します。ボタンはタイトルバー右上です。
ツール	表示→ツール	なし	ツールバーの表示と非表示を切り換えます。
ステータスバー	表示→ステータスバー	なし	ステータスバーの表示と非表示を切り換えます。
録画ステータスバー	表示→録画ステータスバー	なし	録画ステータスバーの表示と非表示を切り換えます。
1画面表示	表示→1画面		1画面表示に切り換えます。
4分割画面表示	表示→4分割画面		4分割画面表示に切り換えます。
6分割画面表示	表示→6分割画面		6分割画面表示に切り換えます。
9分割画面表示	表示→9分割画面		9分割画面表示に切り換えます。
12分割画面表示	表示→12分割画面		12分割画面表示に切り換えます。
16分割画面表示	表示→16分割画面		16分割画面表示に切り換えます。
25分割画面表示	表示→25分割画面		25分割画面表示に切り換えます。
36分割画面表示	表示→36分割画面		36分割画面表示に切り換えます。
49分割画面表示	表示→49分割画面		49分割画面表示に切り換えます。
全画面表示	表示→フルスクリーンモード		再生映像を全画面表示に切り換えます。元のウィンドウ表示に戻す時は、キーボードの ESC ボタンを押します。
再生	再生→再生		通常速度の再生を実行します。
逆再生	再生→逆再生		通常速度の逆再生を実行します。
早送り	再生→早送り		早送り再生を実行します。
早戻し	再生→早戻し		早戻し再生を実行します。
コマ送り	再生→コマ送り		コマ送り再生を実行します。
コマ戻し	再生→コマ戻し		コマ戻し再生を実行します。
一時停止	なし		一時停止を実行します。
再生スピード	再生→再生スピード		1画面表示時に再生スピーを実行します。
音量調整	再生→音量調整→音量大(小)	スライダ	再生音量を上げ下げします。
ミュート	再生→音量調整→ミュート		消音の実行と解除を切り替えます。ボタンの表示は現在の消音状態を示します。 ☐消音していない状態。 ■消音している状態。
スマート検索	ツール→スマート検索		スマート検索を実行します。
ウォーターマーク検索	ツール→ウォーターマーク検索		<予定機能>

キャプチャー	ツール→キャプチャー		<予定機能>現在は利用できません。
録画	ツール→録画		現再生中の映像を別のフォルダに RMS 形式のままバックアップします。 この操作は開始と停止を交互に繰り返します。
録画イベント	なし		録画ステータスバーに表示するイベントの種類を選択します。 メニューからは、この操作はできません。 ボタンの表示で現在選択されているイベントの種類を確認できます。 All 全てのイベントが選択されています。 C 連続録画が選択されています。 M モーションが選択されています。 S センサーが選択されています。 A 音声を選択されています。 P PCD タイムが選択されています。 T テキストが選択されています。

2 遠隔監視の接続方法と接続方法毎の注意点

スマートフォン・タブレット端末・PC 等から遠隔監視ソフトで本機に接続しようとする場合、接続先の指定方法として、次表のような方法があり、それぞれに長所・短所・注意事項がありますので、それぞれの特徴をよく理解してからご利用ください。

指定方法	説明
グローバル IP アドレス	インターネットサービスプロバイダから本機が接続されているルーターに割り当てられたインターネット上の IP アドレスを指定する方法です。 長所 ① DNS による名前解決を必要としませんので、インターネットを経由しての接続では最も確実性の高い接続方法です。 短所 ① 一般的な契約のインターネット接続サービスでは、IP アドレスは接続毎に毎回変化するので、グローバル IP アドレスを指定して接続する場合には予め「固定 IP 契約」をしておく必要があります。(一般的に有料) ② 本機を設置している同一の LAN 内から本機に接続する場合にこのアドレスを使用すると、LAN 内からの接続もポートフォワーディングの対象とされるため LAN 内接続であってもルーターの負担が高まります。また、パケットも最短ルートではなく迂回してルーターを経由します。 注意事項 ① この方法で接続するためには、ルーターのポートフォワーディング設定が必要になります。 ② ルーターの機種によっては同一 LAN 内から接続できない場合があります。
プライベート IP アドレス	同一の LAN 内だけで使用するための IP アドレスで接続する方法です。 長所 ① 同一の LAN 内で接続する場合、最も確実に接続できる方法です。 ② ルーターに特別な設定は必要なく、ルーターに与える負担も他の接続方法より低くなります。

	短所 ① インターネットを通る接続はできません。(VPN を除く) 注意事項 ① 遠隔監視のデータを VPN トンネルに通したい場合は、必ずこの方法で接続してください。
DDNS 名	インターネットサービスプロバイダとの接続毎に変化するグローバル IP アドレスに追従して一定のホスト名とドメイン名で接続できるようにする接続方法です。 長所 ① 最も一般的な動的 IP アドレス契約でのインターネット接続サービスでも、いつも同じ名前(接続設定)で接続できます。 短所 ① グローバル IP アドレスが変化してから DDNS に反映されるまで、数分から数十分程度の時間が必要で、その間は接続できない時間が発生します。 注意事項 ① 上記以外の特徴については、基本的にはグローバル IP アドレスを利用する場合と同じです。
P2P アドレス	複数の接続方法を自動的に切り換えて接続する方法です。接続のためにクラウドサービスを利用しますので、インターネットが利用できる環境が必ず必要です。 長所 ① 遠隔監視端末と本機が、クラウドサービスを利用して、ネットワーク環境を自動的に識別し最適な接続方法を選択します。 ② 設定が簡単です。 ③ インターネットを通した遠隔監視も、ルーターのポートフォワーディング設定を必要としません。 短所 ① 接続に成功するまで、数分程度の試行時間を要する場合があります。 ② DVR の遠隔設定等、一部の機能が利用できません。 ③ 自動的に選択された接続方法によって通信経路や遅延時間が大きく異なるため、トラフィック管理や機密性の管理が困難です。 ④ 複数の通信経路を自動的に使い分けているため、通信障害発生時に原因を切り分けることが非常に困難です。 ⑤ 中継サーバーを経由する接続が自動選択された場合、映像情報は一旦海外のサーバーで中継されるため、遅延時間が長くなります。 注意事項 ① 機能の基本的な制御にクラウドサービスを利用するため、たとえ LAN 内の接続が選択されるようなケースであったとしてもインターネット環境が必要になります。

輸入卸元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3249-1

TEL: 0985-55-0752

FAX: 0985-55-0815

<http://www.interluck.co.jp>

問い合わせ先販売店